

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査

報告書

平成 26 年 3 月

東久留米市子ども家庭部

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査期間.....	1
5. 回収状況.....	1
6. 集計値や図表の表記について.....	2
II. 就学前児童調査の結果	3
1. お住まいの地域.....	3
2. お子さんご家族の状況について.....	5
3. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	8
4. 保護者の働き方について.....	12
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	18
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	28
7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について.....	34
8. お子さんの病気の際の対応について.....	39
9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について.....	44
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	50
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	57
12. 子育て支援への満足度やご意見について.....	66
III. 就学児童（小学校2年生）調査の結果	75
1. お住まいの地域.....	75
2. お子さんご家族の状況について.....	76
3. 保護者の働き方について.....	78
4. お子さんの病気の際の対応について.....	84
5. 一時預かり等の利用状況について.....	89

6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	94
7. 子育て支援への満足度やご意見について	101

IV. 資料（調査票） 105

1. 就学前児童調査	105
2. 就学児童（小学校2年生）調査	117

I . 調査の概要

1. 調査目的

平成 27 年度の子ども・子育て支援新制度の実施にあたって、子ども・子育て支援事業計画（5 年間）を作成することとなりました。事業計画は、子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等および地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向、子どもとその保護者が置かれている環境、その他の事情を正確に把握した上で、これらを勘案して作成するものです。

東久留米市では、適切な事業計画を作成する上で、地域の実情を把握する必要があることから、利用希望把握調査を実施しました。

2. 調査対象

①就学前児童調査

市内に居住する 0 歳～就学前の子どもを持つ保護者 2,000 人（抽出）

②就学児童（小学校 2 年生）調査

市立小学校 2 年生の子どもを持つ保護者 848 人（悉皆）

3. 調査方法

①就学前児童調査

郵送によるアンケート調査

②就学児童（小学校 2 年生）調査

学校配布・学校回収によるアンケート調査

4. 調査期間

①就学前児童調査

平成 25 年 10 月 18 日から 11 月 5 日まで

②就学児童（小学校 2 年生）調査

平成 25 年 10 月 18 日から 10 月 29 日まで

5. 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童調査	2,000	895	44.8%
②就学児童（小学校 2 年生）調査	848	655	77.2%

6. 集計値や図表の表記について

- ・集計した数値 (%) は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値 (%) をすべて合計しても、四捨五入の関係で 100%にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合 (%) を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を超えます。
- ・表中、図中に「-」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ・回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、調査結果には参考値として記載しています。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。

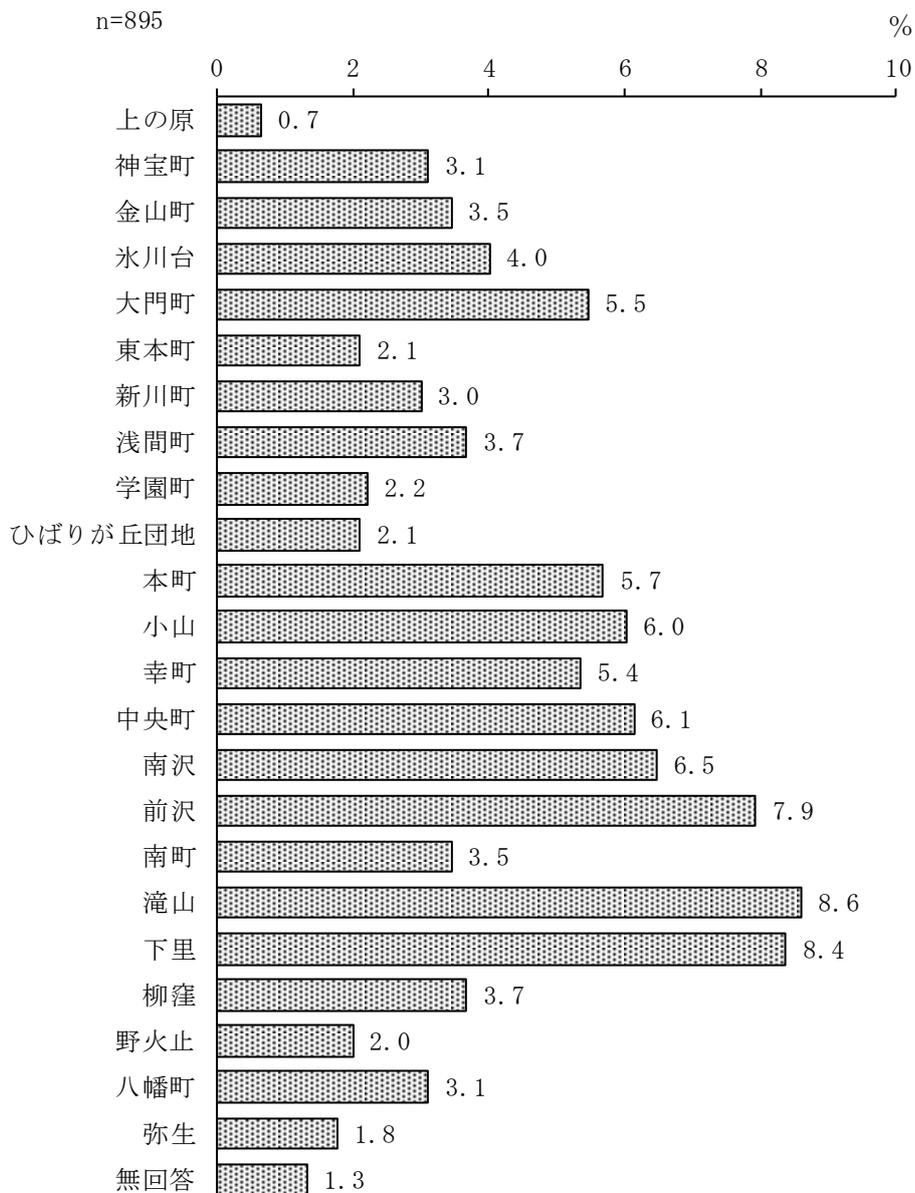
Ⅱ. 就学前児童調査の結果

1. お住まいの地域

(1) お住まいの地域

問1-1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけて、□目目に数字でご記入ください。

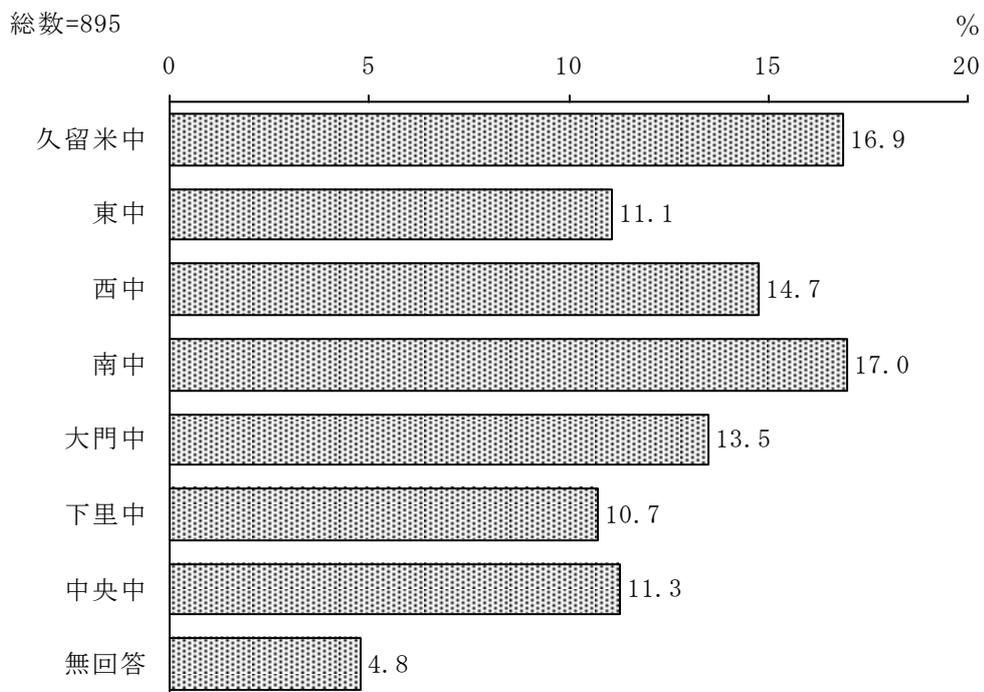
「滝山」が最も多く、8.6%となっています。次いで「下里」が8.4%、「前沢」が7.9%、「南沢」が6.5%、「中央町」が6.1%、「小山」が6.0%と続いています。



(2) 中学校区

問1-2 封筒（宛名ラベルの右端）に記載のあるアルファベットをご記入ください。

「南中」が最も多く、17.0%となっています。次いで「久留米中」が16.9%、「西中」が14.7%、「大門中」が13.5%と続いています。

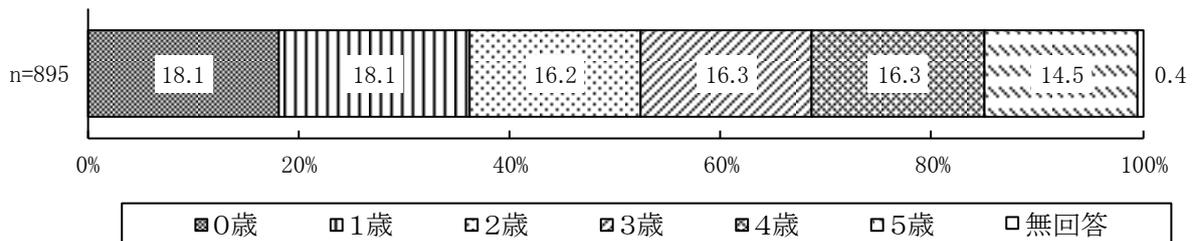


2. お子さんとご家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。(平成もしくは西暦に○をつけてください)

「0歳」と「1歳」が最も多く、18.1%となっています。次いで「3歳」と「4歳」が16.3%、「2歳」が16.2%と続いています。

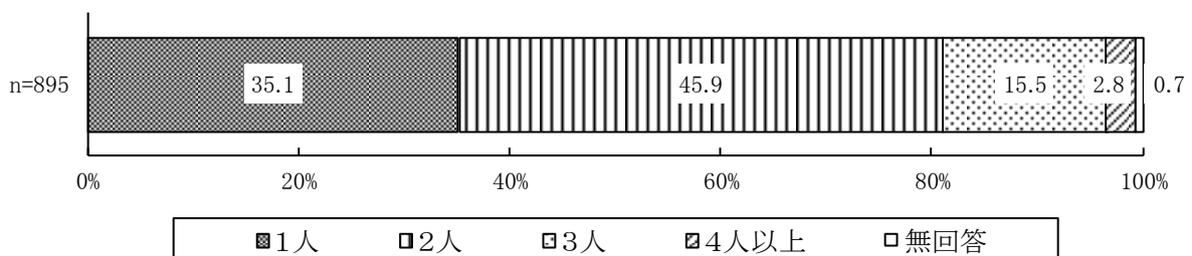


(2) きょうだいの数・末子の年齢

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください(「ひとりっ子」は「1」)。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

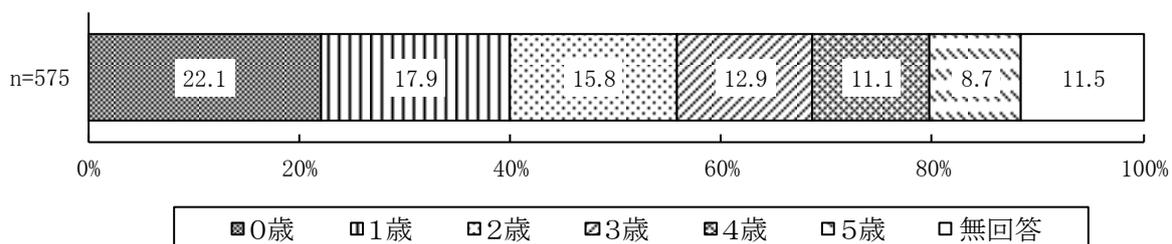
①きょうだいの数

「2人」が最も多く、45.9%となっています。次いで「1人」が35.1%、「3人」が15.5%と続いています。



②末子の年齢

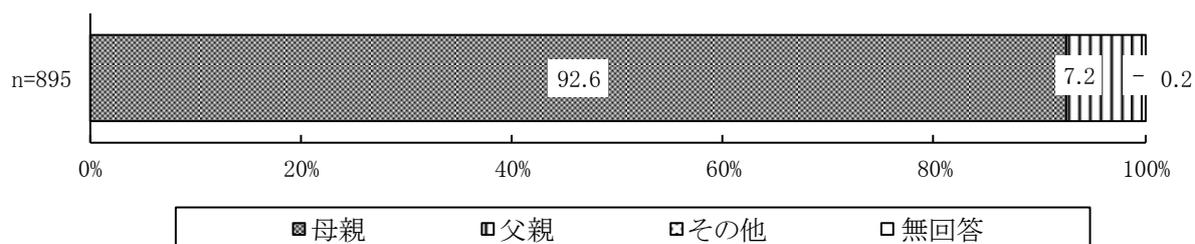
「0歳」が最も多く、22.1%となっています。次いで「1歳」が17.9%、「2歳」が15.8%、「3歳」が12.9%、「4歳」が11.1%と続いています。



(3) 調査票の回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

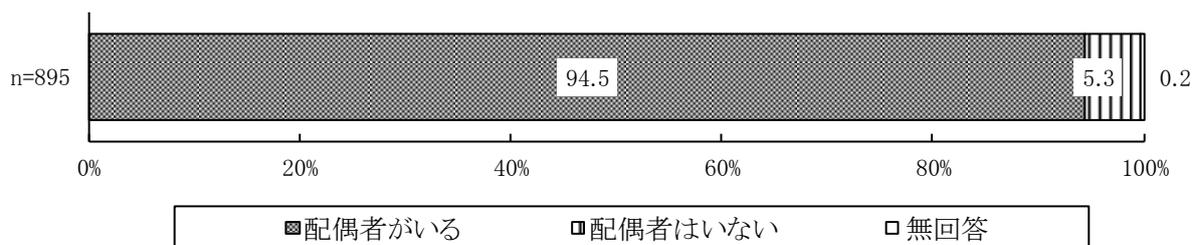
「母親」が92.6%、「父親」が7.2%となっています。



(4) 調査票の回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

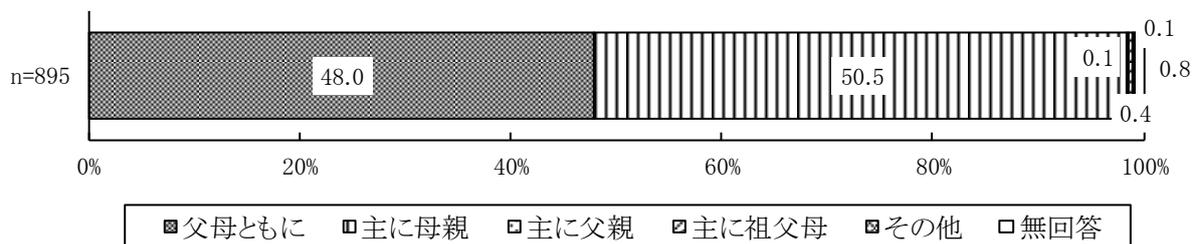
「配偶者がいる」が94.5%、「配偶者はいない」が5.3%となっています。



(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「主に母親」が最も多く、50.5%となっています。次いで「父母ともに」が48.0%と続いています。

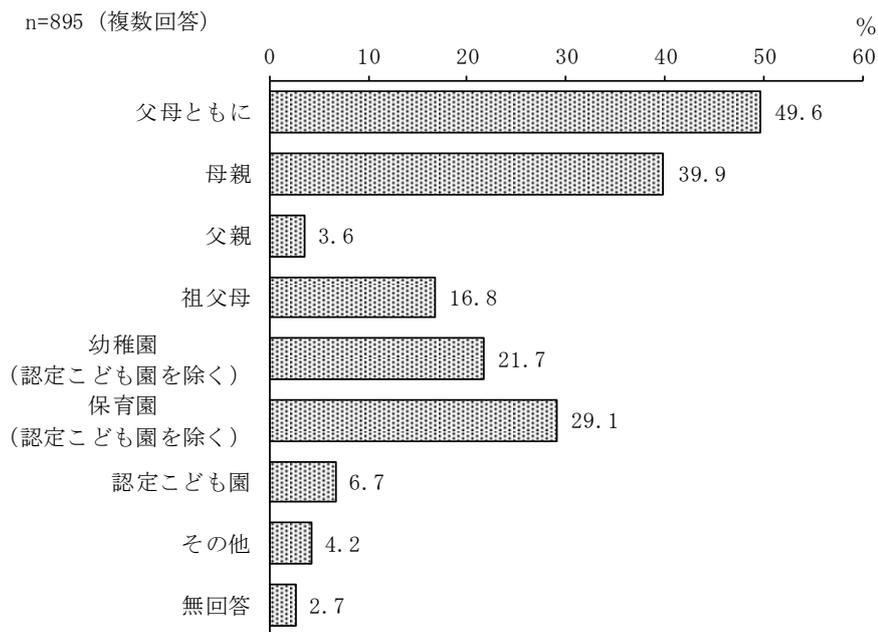


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人や施設

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

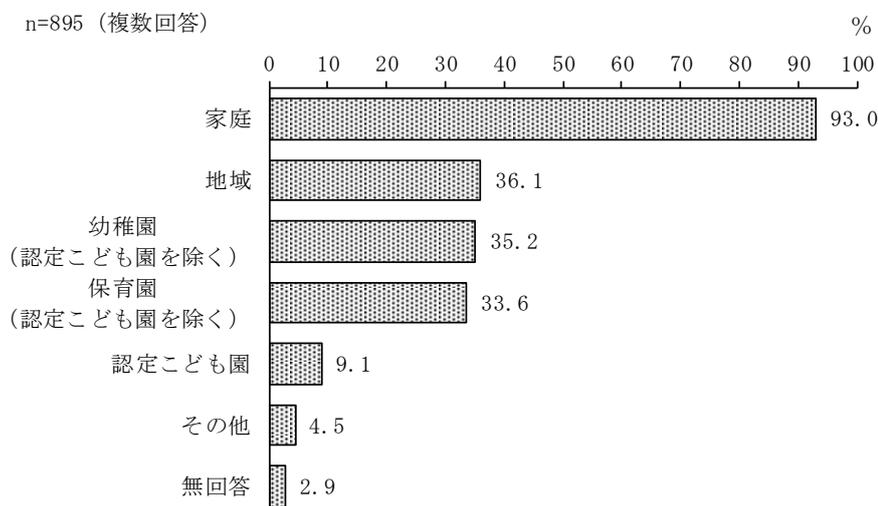
「父母ともに」が最も多く、49.6%となっています。次いで「母親」が39.9%、「保育園（認定こども園を除く）」が29.1%、「幼稚園（認定こども園を除く）」が21.7%と続いています。



(2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

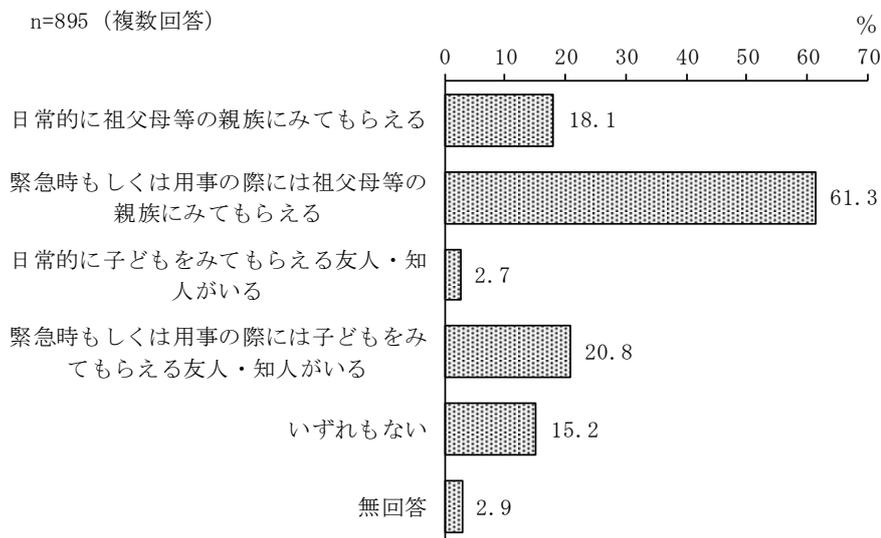
「家庭」が最も多く、93.0%となっています。次いで「地域」が36.1%、「幼稚園（認定こども園を除く）」が35.2%、「保育園（認定こども園を除く）」が33.6%と続いています。



(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、61.3%となっています。次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が20.8%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が18.1%、「いずれもない」が15.2%と続いています。

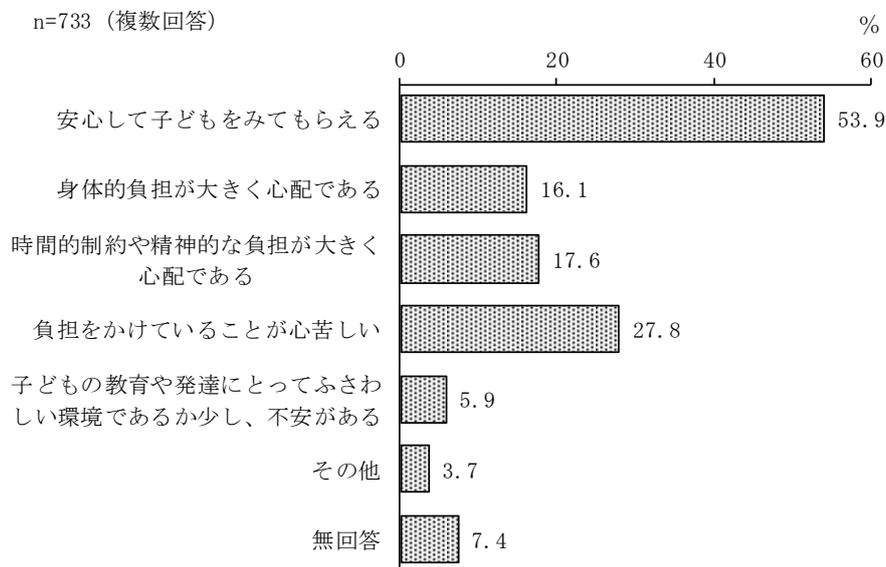


(4) 子どもをみてもらえる親族・知人の負担等

※問9で「1」から「4」のいずれか（祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている）に○をつけた方だけがいました。

問9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

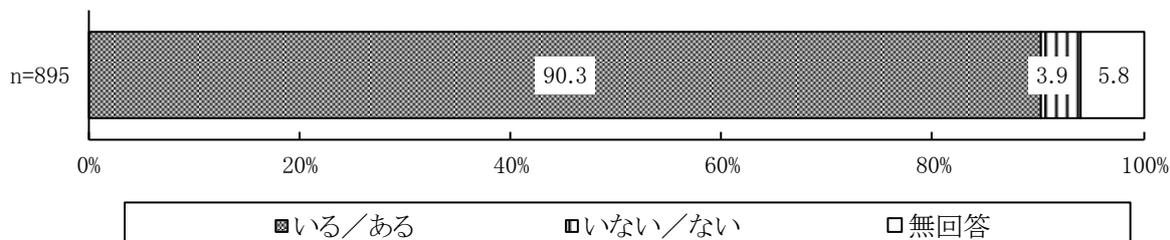
「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、53.9%となっています。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が27.8%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.6%、「身体的負担が大きく心配である」が16.1%と続いています。



(5) 気軽に相談できる人の有無

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」が90.3%、「いない／ない」が3.9%となっています。

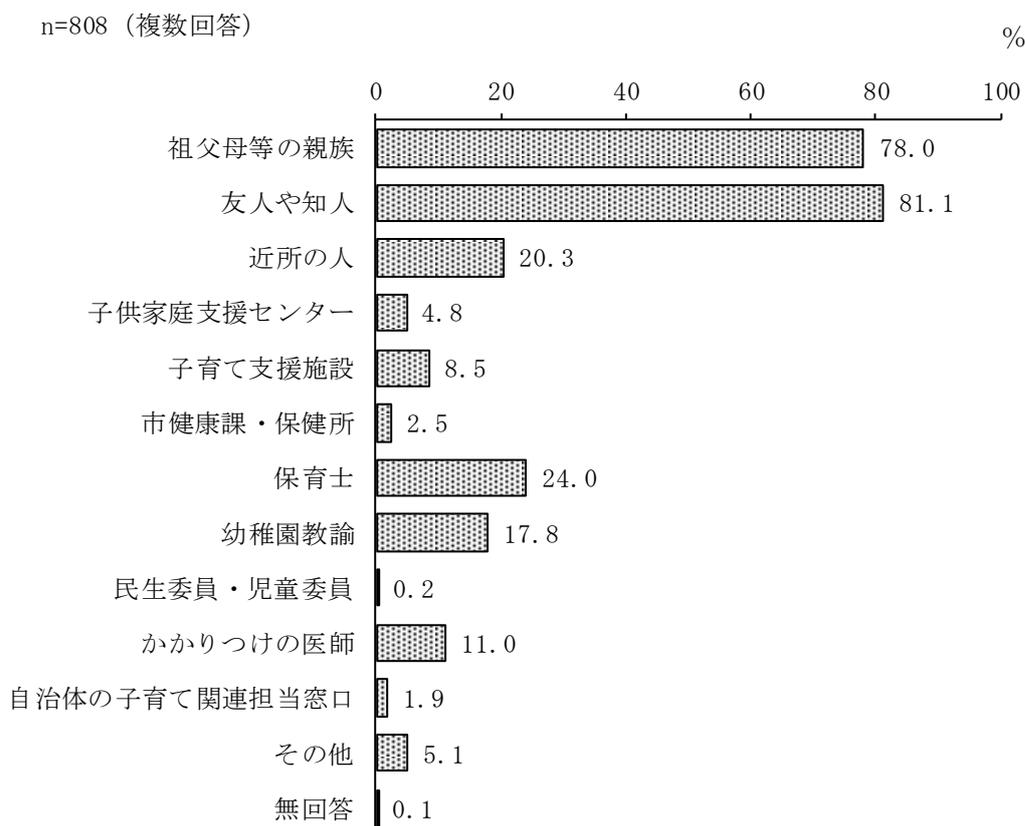


(6) 気軽に相談できる人や機関

※問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいました。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」が最も多く、81.1%となっています。次いで「祖父母等の親族」が78.0%、「保育士」が24.0%、「近所の人」が20.3%、「幼稚園教諭」が17.8%と続いています。



(7) 子育てをする上で必要な支援

問11 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

368 件の意見が寄せられました。主な意見を掲載します（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

- ・日頃から専業主婦で子育てしていると、保育園等の一時保育は少し敷居が高く感じる。もう少し気軽に預けられる場所がほしい。また急な母親の体調不良時、預かっていただける所があればいいと思う。
- ・現在、私が婦人科にかかっており、月3・4回の受診はいずれも休日で、どうしても子供を連れて病院へ行かなければなりません（主人は仕事、祖父母は地方、友人は頼りづらい）。ぐずるのでとても肩身が狭く、かと言って預ける人もおらず困っています。一時預かりも考えたいですが、金銭的余裕ありません。受診の1時間程度、預かるもしくは見て頂けるサポートがあればと思います（一時保育より安くで）。
- ・実家が遠方にあるため、子育ては主に母が一人で行っています。ファミリーサポート等には登録し、いざという時は利用させてもらいたいと思いつつ、なんとなく一人で踏んばってしまう状況です。サポート、という意味とはちがってしまうのですが、地域の方々、特に高齢者の方々（在宅している方もおおいはず…とおもうのですが）とのふれあいがいいなあ…と感じています。児童館などは利用させてもらっていますが、どうしても同世代ばかりになりがち。子育ての先達の方々とふれあう機会は、親子にとって得るものが大きいように思います。たとえば、市内の高齢者施設の一室を、子育て中の親子も利用できるよう開放したり、ふれあいデーを設けるなどはどうでしょうか？吉本隆明も、最晩年の著書で、「老人にとって、幼い子と過ごす時は楽しく、必要である」というようなことを語っていました。地域に知り合いがふえれば、閉塞感を抱きがちな子育ての質も高まるように思います。
- ・登校・登園の前に、集団でもいいので、短時間見守ってくれる場所（児童館など）があると早目に出勤しなくてはならない時などに大変ありがたい。送迎システムがあるとなおよい。
- ・母親が急病になった時、即子どもを預けたり、家に誰か来てもらえる（主に上の子の見守り）ようなサポート（利用しやすい）。預ける時にいろいろ理由を聞かれたり書かされたりするのが面倒だし、ただ「休みたい」だけで預けてはいけないの？と乳児の時に感じた。ファミリーサポートがあるのは知っているが利用した事はない。
- ・私は実家が遠いので、サポートというよりも育児相談などで対応してくださる方が、経験豊富な母親の様に安心できる方だと思います。
- ・祖父母と同居ではあるが、体調が不安定であるため、自身に緊急の用や、病気等、不意な事が発生した場合、簡単な家事などのサポートをして頂けると心強いです（今の所そう言うことはないが、出来ると分かっていると安心）。
- ・元気な時は特別不自由を感じません。ただ、冬場などインフルエンザや長期に出席停止になる病気の時、預けられる所（一時的でも）があると助かります。姉妹が同時に病気になる事は少なく、逆にズレるため、フルタイムの自分には、親とローテーションを組んでも難しい時があります。
- ・日中の預かり先はあるけれど、夕方～夜に預かってくれる近隣の施設があれば良い（上の子が大き

くなると、保護者会や塾の説明会等が夜等にあるらしいので)。

- ・住んでいる地域では自治会のようなものに所属していないので、災害時などに不安を感じています。同年代の知人だけでなく、幅広い年代の人たちと交流の機会があればよいなと思っています。

4. 保護者の働き方について

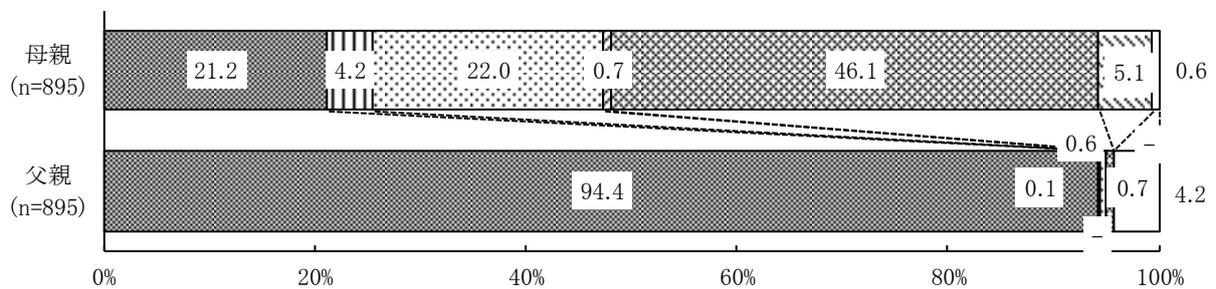
(1) 保護者の就労状況

①就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多く、46.1%となっています。次いで「パート・アルバイト等で就労している」が22.0%、「フルタイムで就労している」が21.2%と続いています。

父親では「フルタイムで就労している」が最も多く、94.4%となっています。



- フルタイム(就労している)
- フルタイム(産休・育休・介護休業中)
- パート・アルバイト等(就労している)
- パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)
- 現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

②就労日数・就労時間

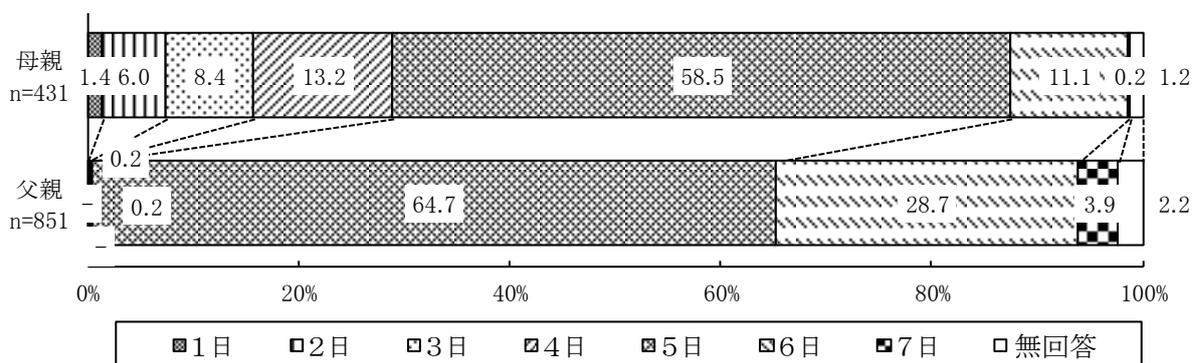
※問12で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

問12-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【1週当たりの就労日数】

母親では「5日」が最も多く、58.5%となっています。次いで「4日」が13.2%、「6日」が11.1%と続いています。

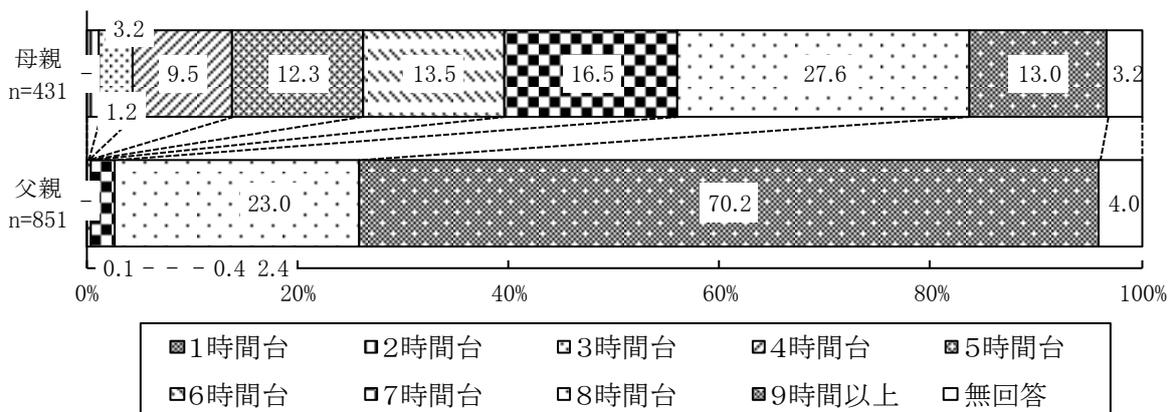
父親では「5日」が最も多く、64.7%となっています。次いで「6日」が28.7%と続いています。



【1日当たりの就労時間】

母親では「8時間台」が最も多く、27.6%となっています。次いで「7時間台」が16.5%、「6時間台」が13.5%、「5時間台」が12.3%と続いています。

父親では「9時間以上」が最も多く、70.2%となっています。次いで「8時間台」が23.0%と続いています。



③家を出る時間と帰宅時間

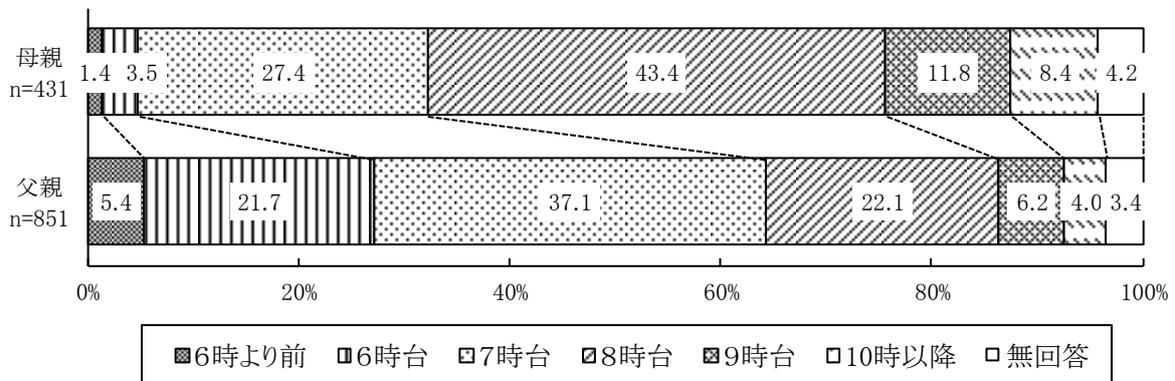
※問12で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

問12-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように、24時間制でお答えください。

【家を出る時間】

母親では「8時台」が最も多く、43.4%となっています。次いで「7時台」が27.4%、「9時台」が11.8%と続いています。

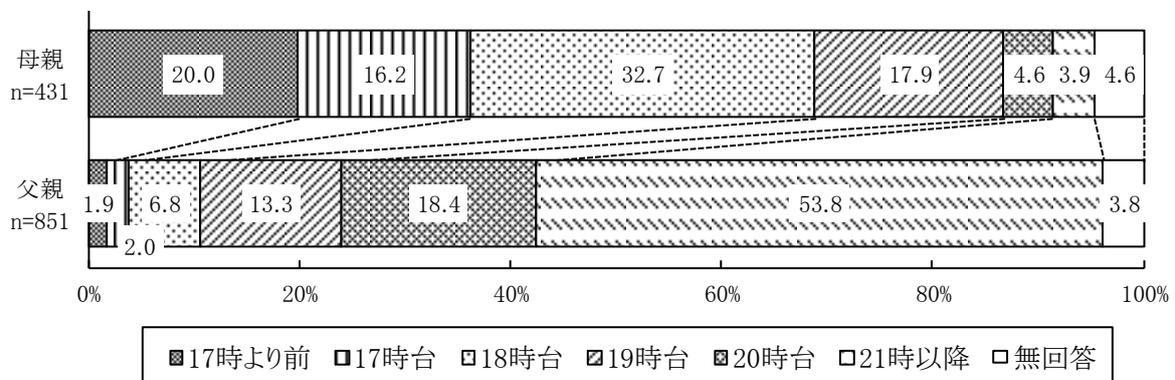
父親では「7時台」が最も多く、37.1%となっています。次いで「8時台」が22.1%、「6時台」が21.7%と続いています。



【帰宅時間】

母親では「18時台」が最も多く、32.7%となっています。次いで「17時より前」が20.0%、「19時台」が17.9%、「17時台」が16.2%と続いています。

父親では「21時以降」が最も多く、53.8%となっています。次いで「20時台」が18.4%、「19時台」が13.3%と続いています。



(2) フルタイムへの転換希望

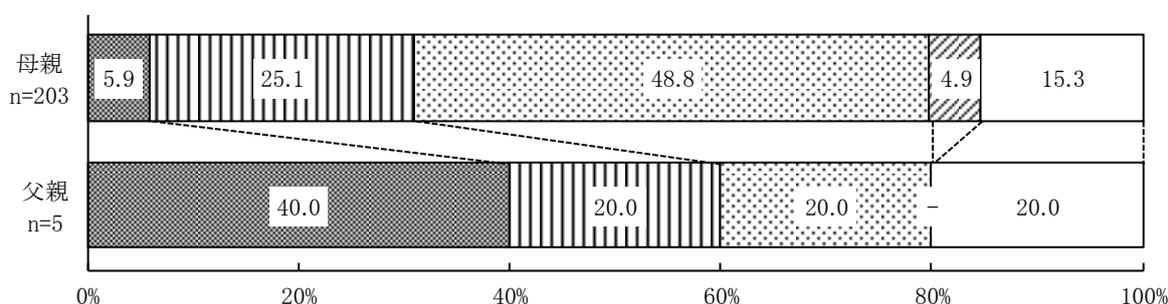
※問 12 で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中」に○をつけた方にかがいました。

問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、48.8%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.1%と続いています。

父親では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が最も多く、40%（5人中2人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▤ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(3) 就労希望

※問12で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方がうかがいました。

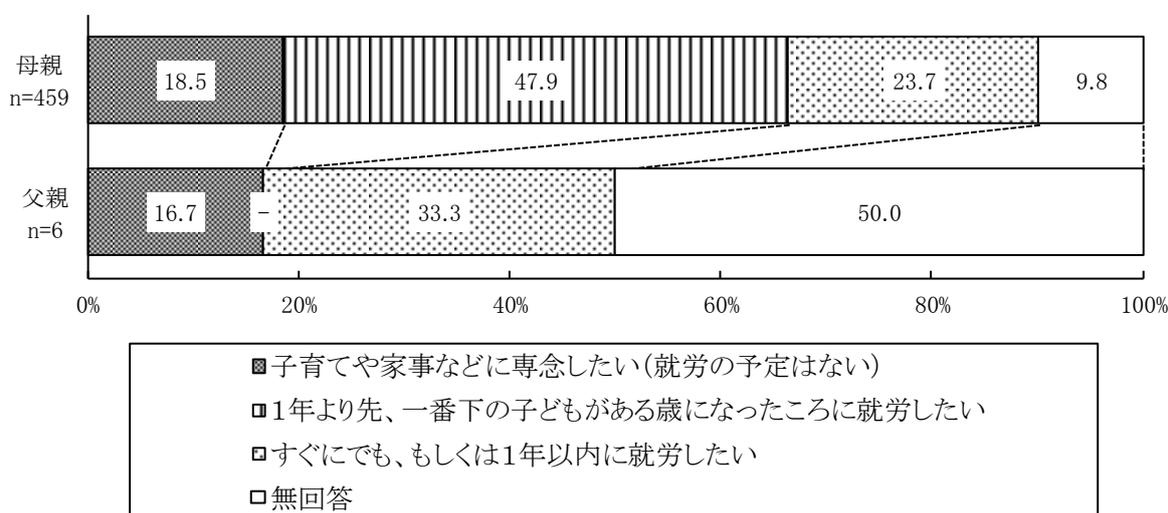
問14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

①就労希望

母親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」が最も多く、47.9%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が18.5%と続いています。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、33.3%（6人中2人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

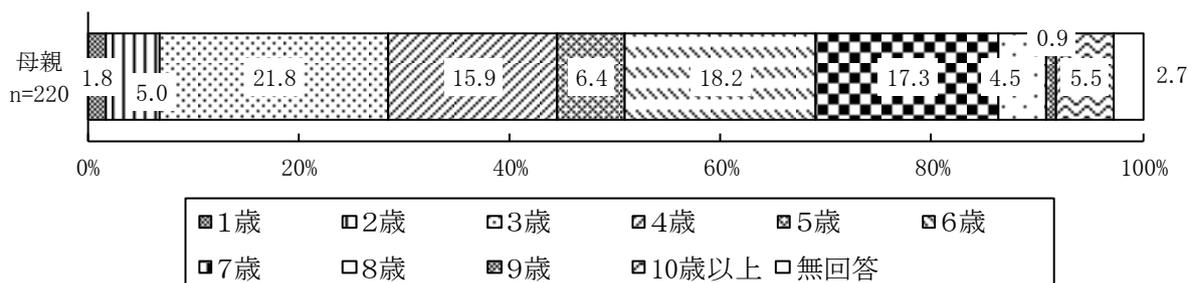


【一番下の子どもが何歳になったころに仕事に就きたい】

※①で「1年より先、または一番下の子どもがある年齢になったころに仕事に就きたい」に○をつけた方がうかがいました。

母親では「3歳」が最も多く、21.8%となっています。次いで「6歳」が18.2%、「7歳」が17.3%、「4歳」が15.9%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。



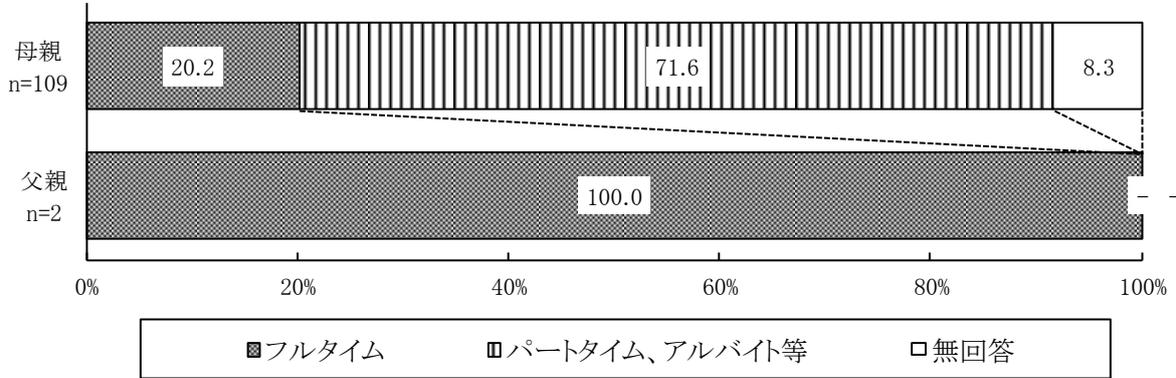
②就労形態

※①で「すぐにも、もしくは1年以内に仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、71.6%となっています。次いで「フルタイム」が20.2%と続いています。

父親では「フルタイム」が100%（2人中2人）でした。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

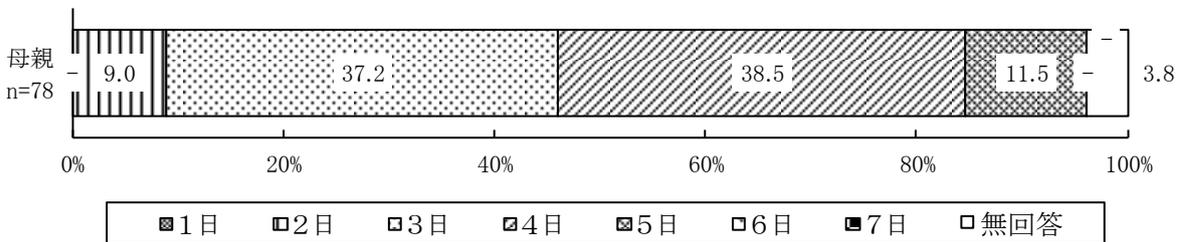


【パートタイム、アルバイト等の1週当たりの就労日数】

※②で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「4日」が最も多く、38.5%となっています。次いで「3日」が37.2%、「5日」が11.5%、「2日」が9.0%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。

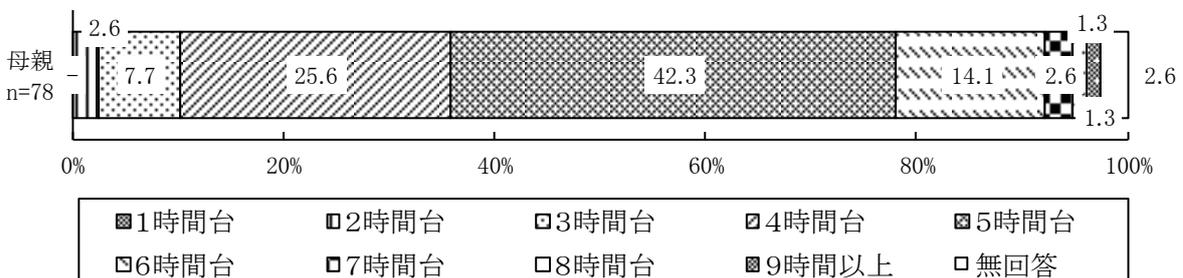


【パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間】

※②で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「5時間台」が最も多く、42.3%となっています。次いで「4時間台」が25.6%、「6時間台」が14.1%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。

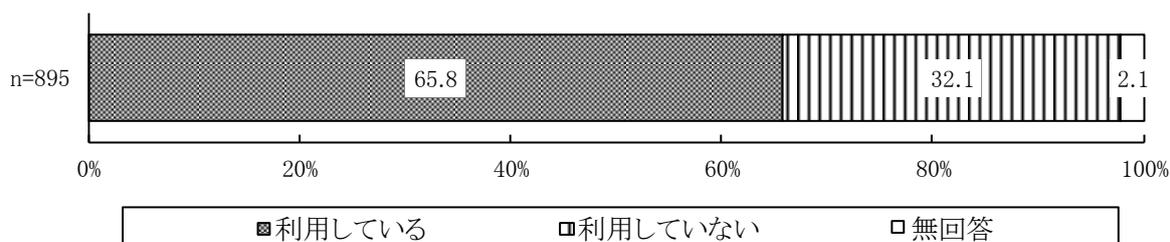


5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 利用の有無

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」が65.8%、「利用していない」が32.1%となっています。



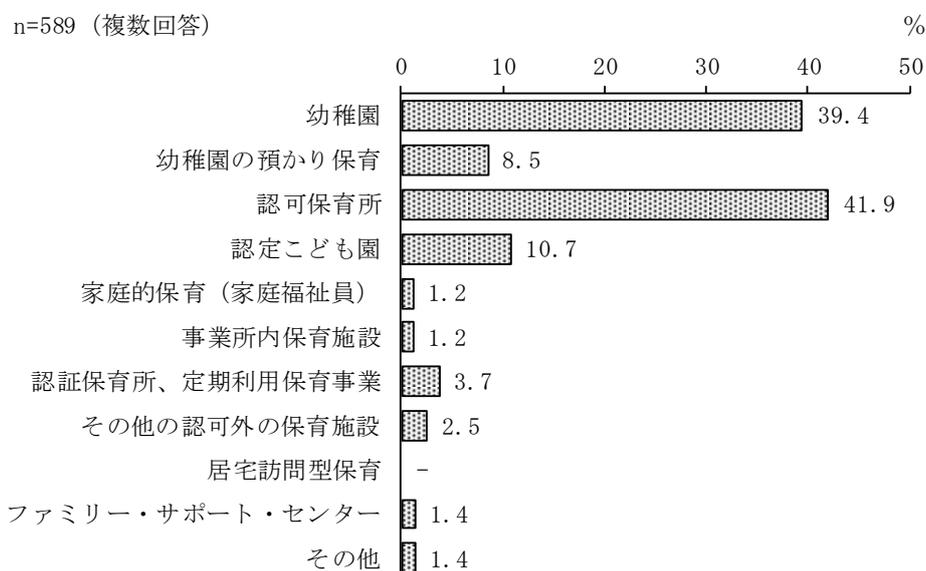
(2) 現在の利用状況と今後の利用希望

※問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを定期的にとどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「18」時のように24時間制でご記入ください。

①現在の利用している事業

「認可保育所」が最も多く、41.9%となっています。次いで「幼稚園」が39.4%、「認定こども園」が10.7%、「幼稚園の預かり保育」が8.5%と続いています。

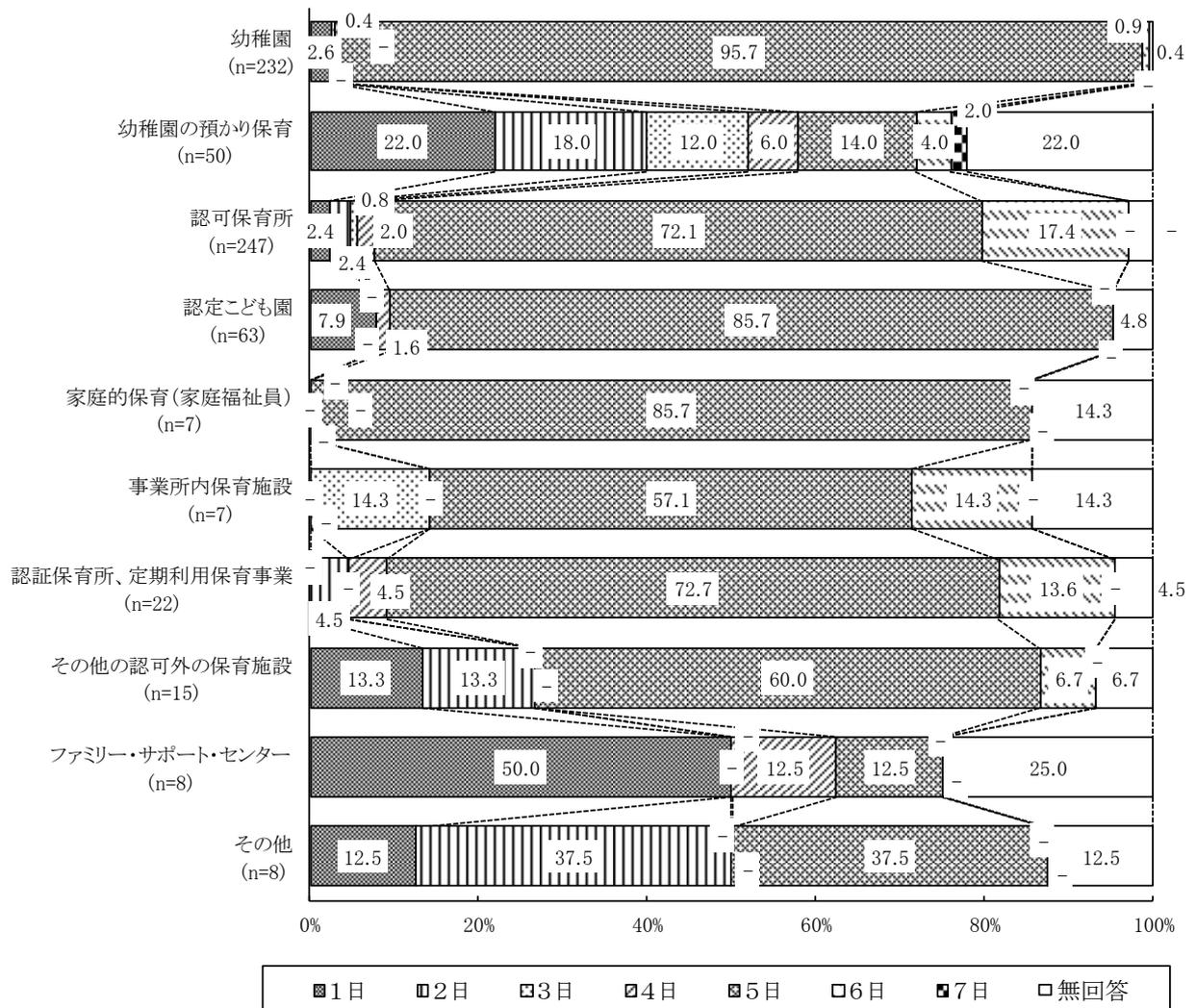


②現在の利用状況

【1週当たりの利用日数】

“幼稚園”“認可保育所”“認定こども園”は「5日」が最も多く、70%を超えており、特に“幼稚園”では95.7%と多くなっています。“幼稚園の預かり保育”は、「1日」が最も多く、22.0%となっており、「2日」が18.0%、「5日」が14.0%と続いています。

※居宅訪問型保育は、回答対象者がいませんでした。

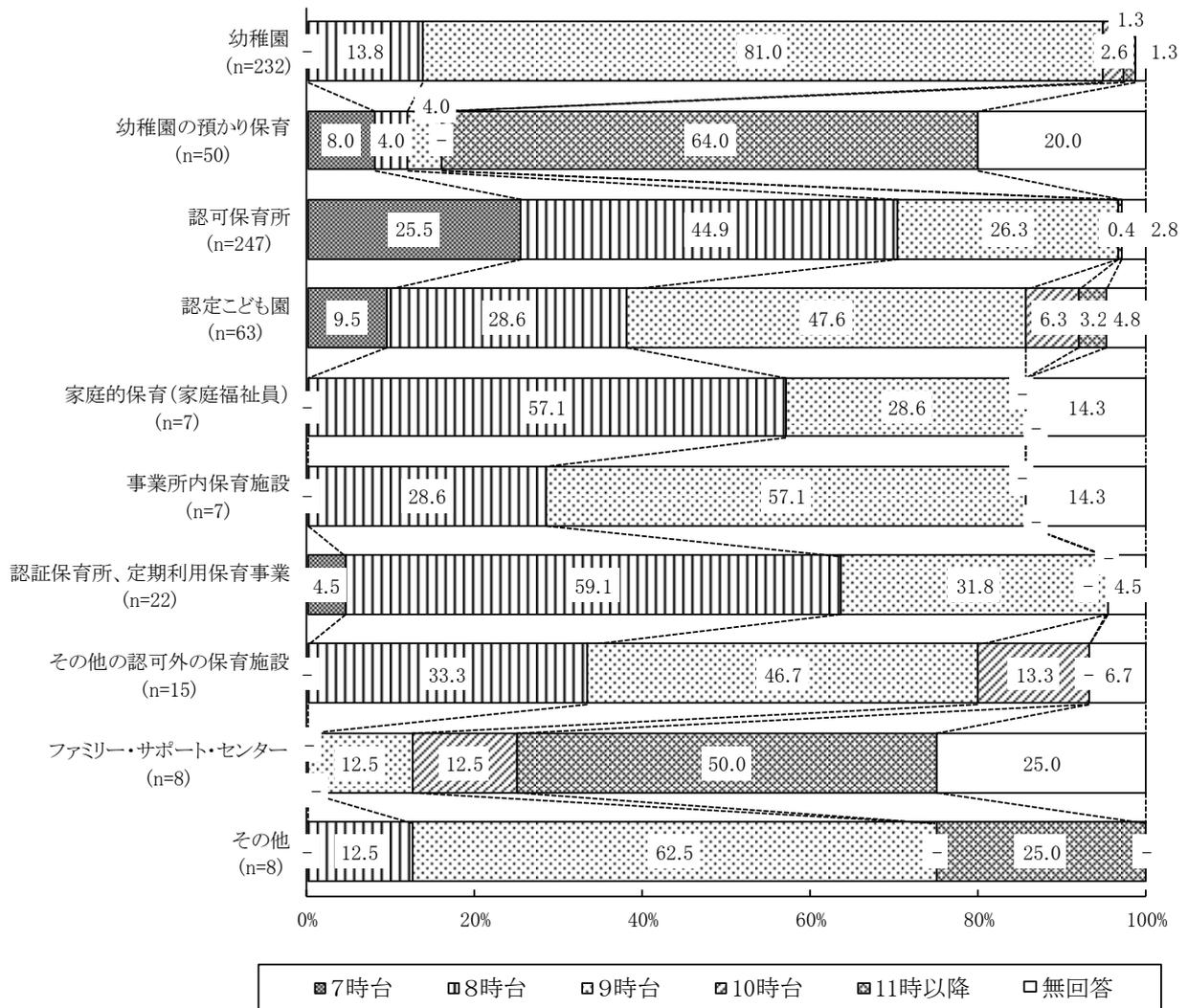


※ “家庭的保育（家庭福祉員）” “事業所内保育施設” “認証保育所、定期利用保育事業” “その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

【1日当たりの利用時間：開始時間】

“幼稚園”は「9時台」が最も多く、81.0%となっています。“幼稚園の預かり保育”は、「11時以降」が最も多く、64.0%となっています。“認可保育所”は「8時台」が最も多く、44.9%となっており、「9時台」が26.3%、「7時台」が25.5%と続いています。“認定こども園”は、「9時台」が最も多く、47.6%となっており、「8時台」が28.6%と続いています。

※居宅訪問型保育は、回答対象者がいませんでした。

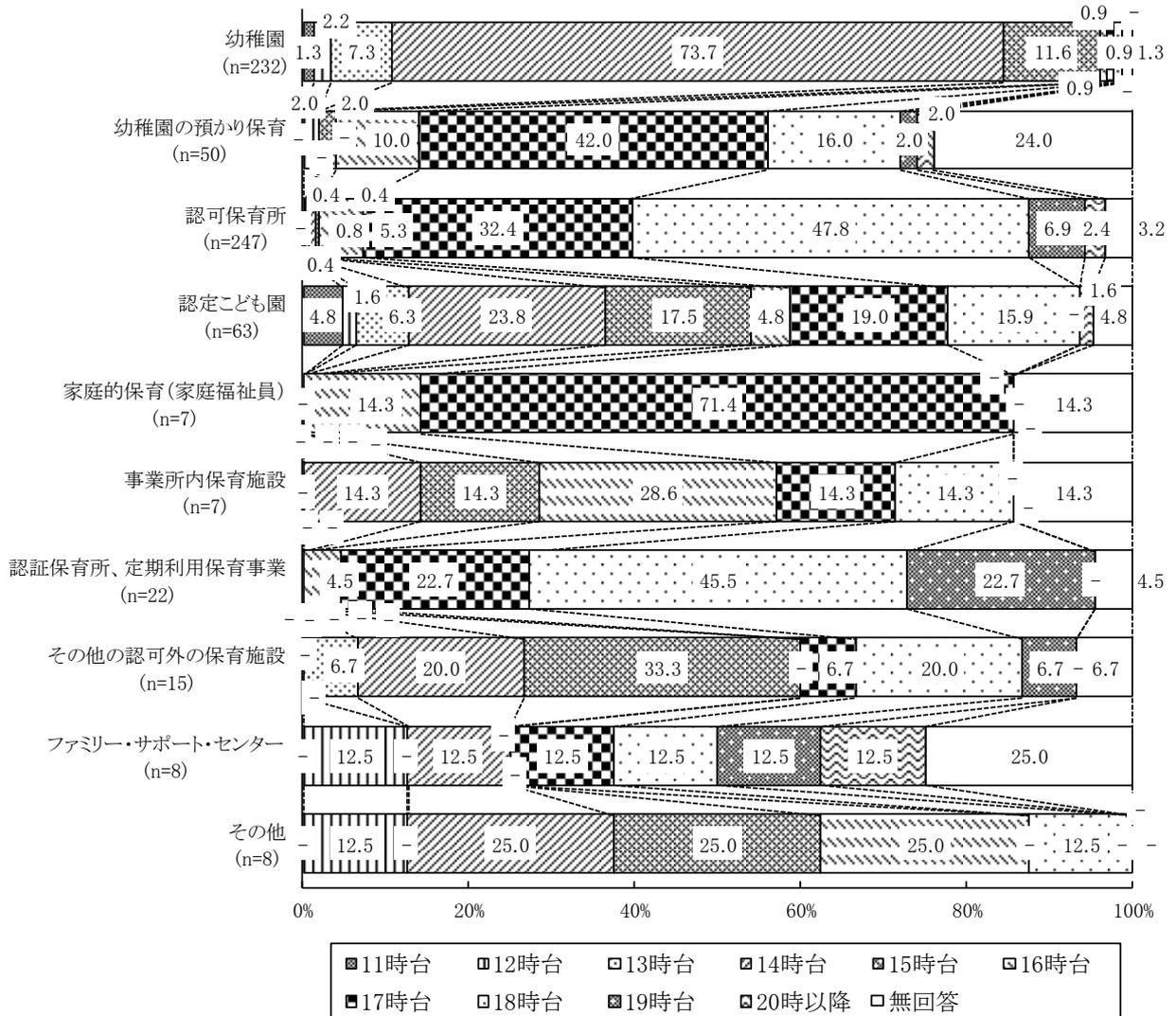


※“家庭的保育(家庭福祉員)”“事業所内保育施設”“認証保育所、定期利用保育事業”“その他の認可外の保育施設”“ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

【1日当たりの利用時間：終了時間】

“幼稚園”は「14時台」が最も多く、73.7%となっています。“幼稚園の預かり保育”は、「17時以降」が最も多く、42.0%となっており、「18時台」が16.0%と続いています。“認可保育所”は「18時台」が最も多く、47.8%となっており、「17時台」が32.4%と続いています。“認定こども園”は、「14時台」が最も多く、23.8%となっており、「17時台」が19.0%、「15時台」が17.5%、「18時台」が15.9%と続いています。

※居宅訪問型保育は、回答対象者がいませんでした。



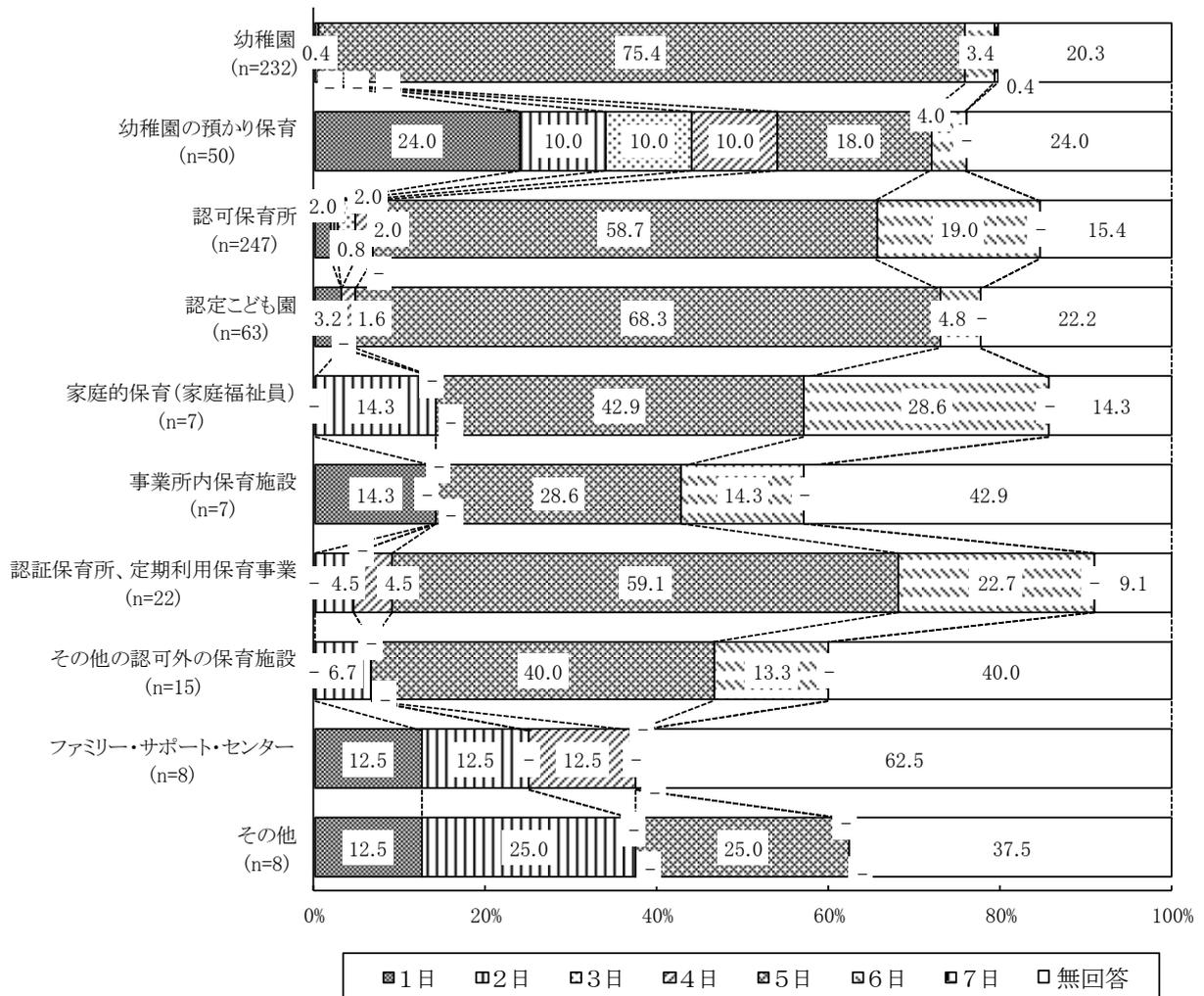
※“家庭的保育(家庭福祉員)”“事業所内保育施設”“認証保育所、定期利用保育事業”“その他の認可外の保育施設”“ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

③今後の利用希望

【1週当たりの利用日数】

“幼稚園” “認可保育所” “認定こども園” は「5日」が最も多く、いずれも50%を超えています。
 “幼稚園の預かり保育” は、「1日」が最も多く、24.0%となっており、「5日」が18.0%と続いています。

※居宅訪問型保育は、回答対象者がいませんでした。

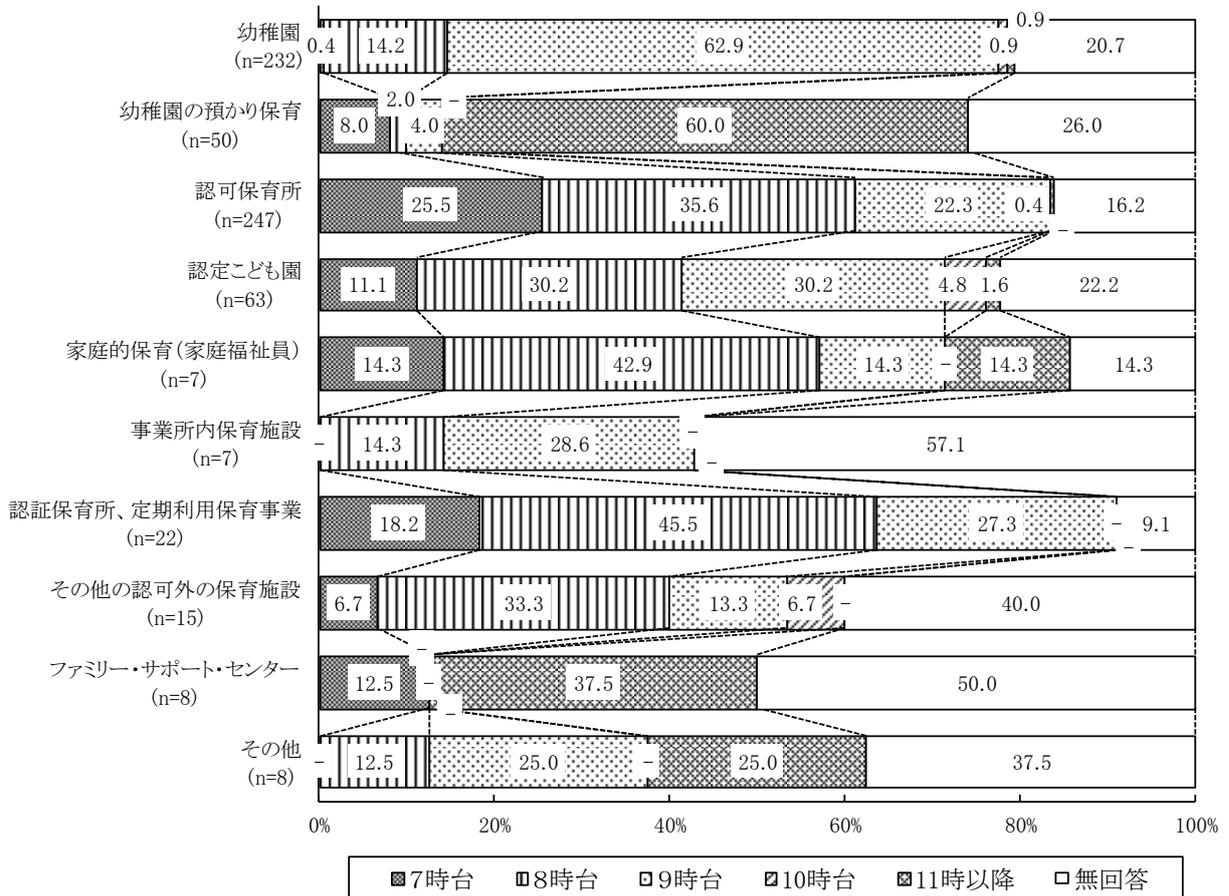


※ “家庭的保育 (家庭福祉員)” “事業所内保育施設” “認証保育所、定期利用保育事業” “その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

【1日当たりの利用時間：開始時間】

“幼稚園”は「9時台」が最も多く、62.9%となっています。“幼稚園の預かり保育”は、「11時以降」が最も多く、60.0%となっています。“認可保育所”は「8時台」が最も多く、35.6%となっており、「7時台」が25.5%、「9時台」が22.3%、と続いています。“認定こども園”は、「8時台」と「9時台」が最も多く、30.2%となっています。

※居宅訪問型保育は、回答対象者がいませんでした。

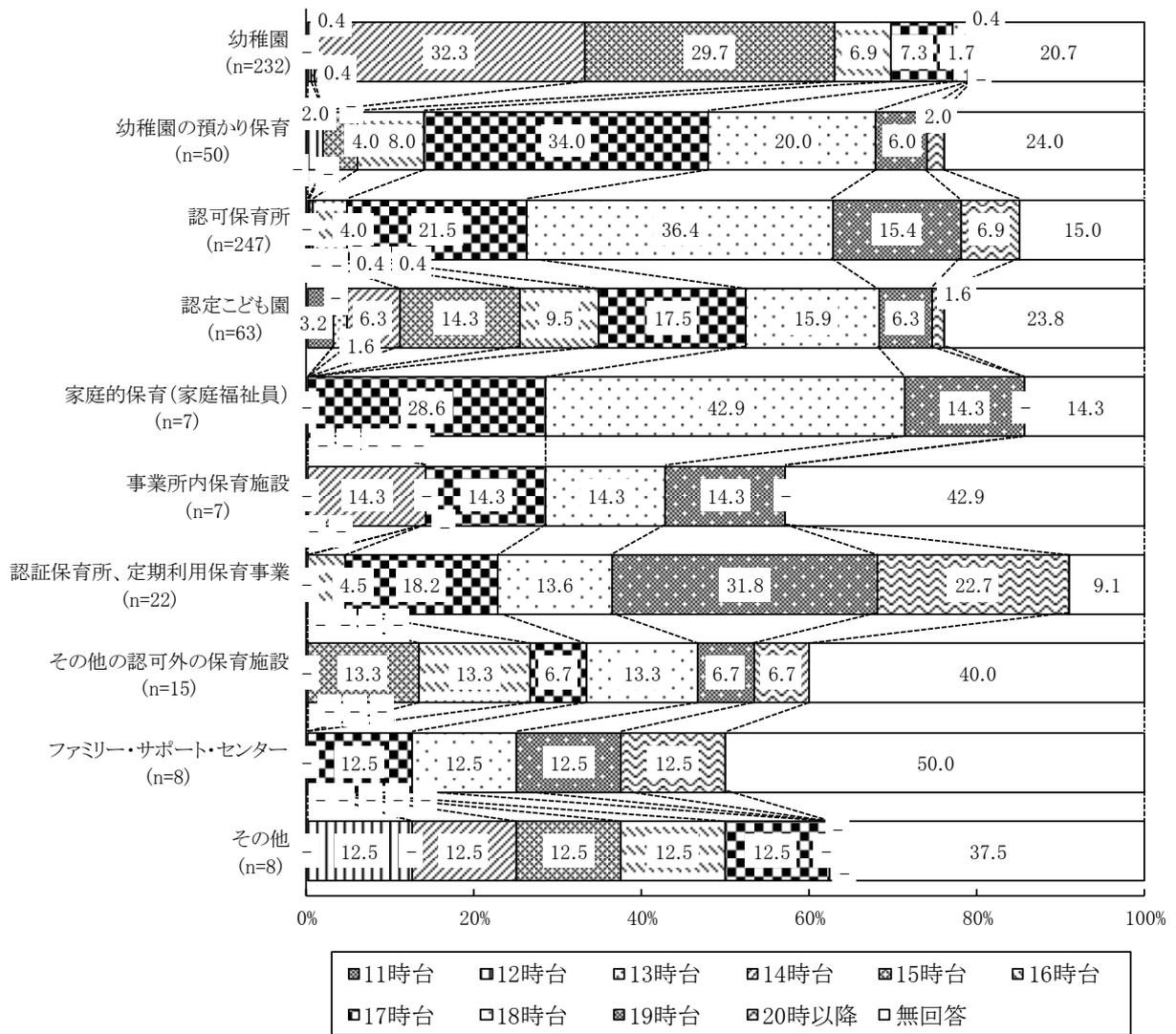


※ “家庭的保育（家庭福祉員）” “事業所内保育施設” “認証保育所、定期利用保育事業” “その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

【1日当たりの利用時間：終了時間】

“幼稚園”は「14時台」が最も多く、32.3%となっており、「15時台」が29.7%と続いています。
 “幼稚園の預かり保育”は、「17時台」が最も多く、34.0%となっており、「18時台」が20.0%と続いています。
 “認可保育所”は「18時台」が最も多く、36.4%となっており、「17時台」が21.5%、「19時台」が15.4%と続いています。
 “認定こども園”は、「17時台」が最も多く、17.5%となっており、「18時台」が15.9%、「15時台」が14.3%と続いています。

※居宅訪問型保育は、回答対象者がいませんでした。



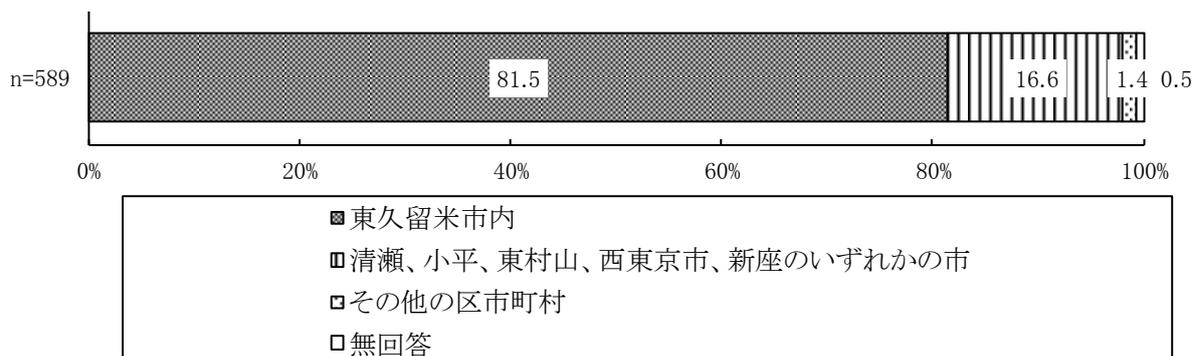
※ “家庭的保育（家庭福祉員）” “事業所内保育施設” “認証保育所、定期利用保育事業” “その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

(3) 利用場所

※問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

問 15-2 問 15-1 であげたような幼稚園や保育園などの現在の利用場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「東久留米市内」が最も多く、81.5%となっています。次いで「清瀬、小平、東村山、西東京市、新座のいずれかの市」が16.6%と続いています。

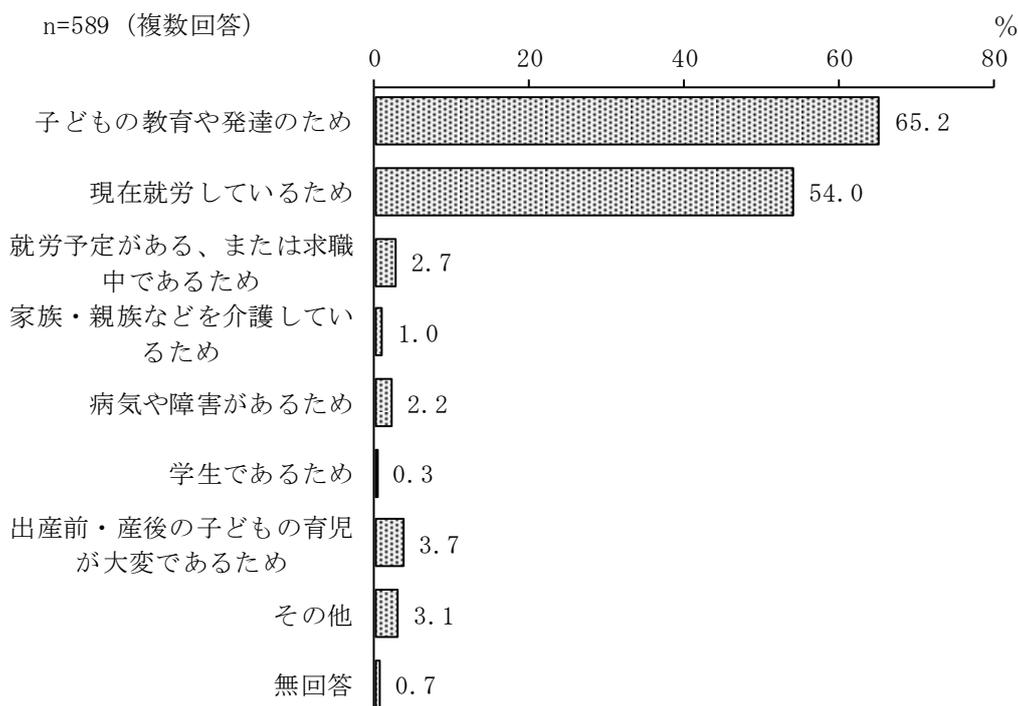


(4) 利用している理由

※問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

問 15-3 子育てをしている方が、平日（月～金）に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」が最も多く、65.2%となっています。次いで「現在就労しているため」が54.0%と続いています。

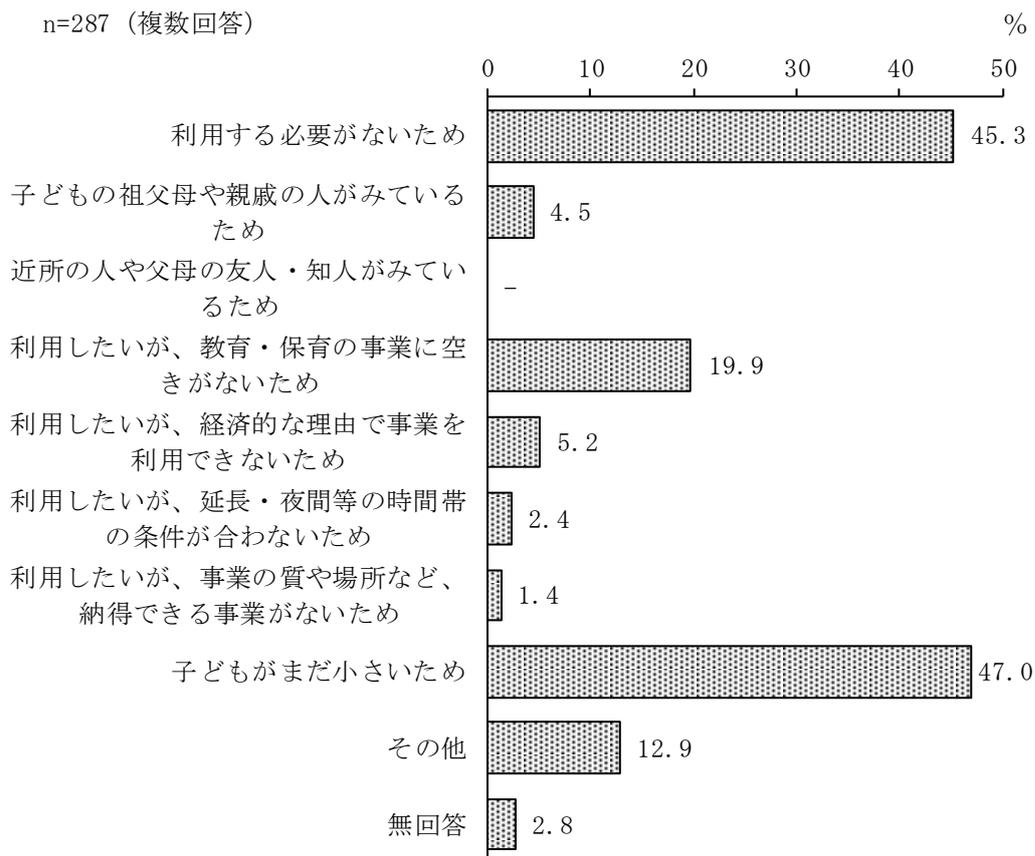


(5) 利用していない理由

※問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問 15-4 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

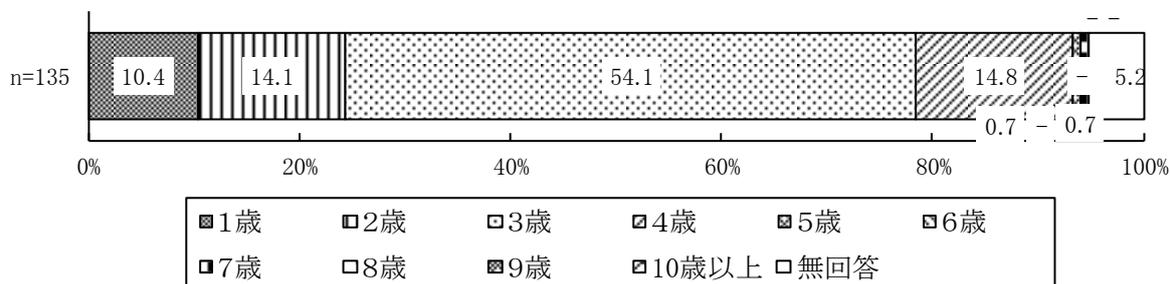
「子どもがまだ小さいため」が最も多く、47.0%となっています。次いで「(子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がないため」が45.3%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがないため」が19.9%と続いています。



【子どもが何歳にくらいなったら利用したいか】

※「子どもがまだ小さいため」に○をつけた方にうかがいました。

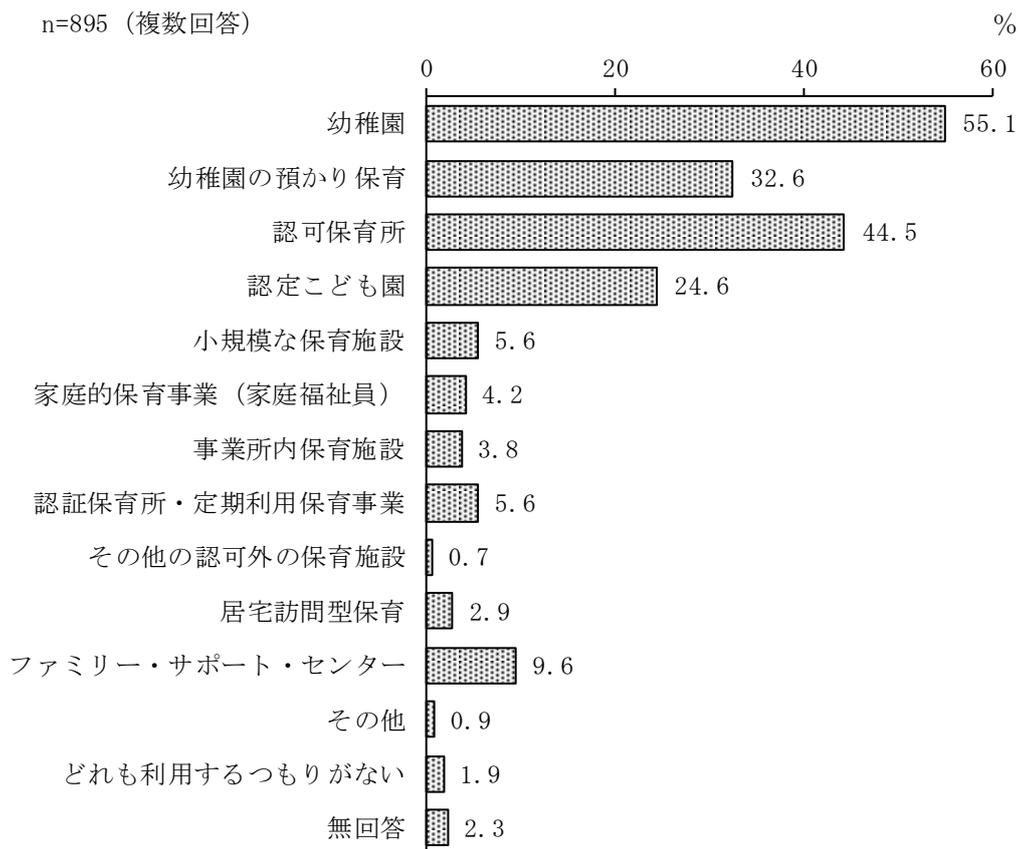
「3歳」が最も多く、54.1%となっています。次いで「4歳」が14.8%、「2歳」が14.1%、「1歳」が10.4%と続いています。



(6) 定期的な教育・保育事業の利用希望

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、利用状況等に応じて利用者負担が発生します。

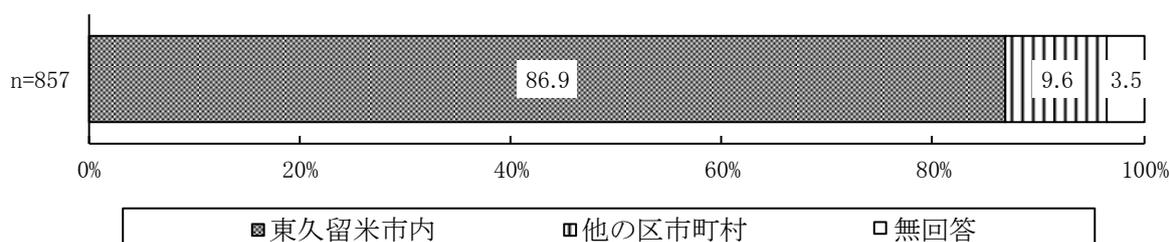
「幼稚園」が最も多く、55.1%となっています。次いで「認可保育所」が44.5%、「幼稚園の預かり保育」が32.6%、「認定こども園」が24.6%と続いています。



(7) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問 16-1 問 16 のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。「1. 東久留米市内」「2. 他の区市町村」のいずれかに○をつけてください。

「東久留米市内」が86.9%、「他の区市町村」が9.6%となっています。



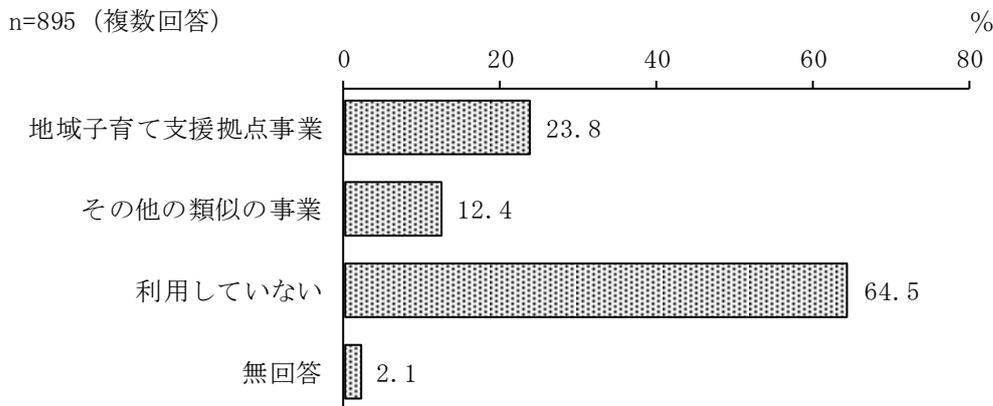
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域こども家庭支援センター上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

①利用状況

「利用していない」が最も多く、64.5%となっています。次いで「地域子育て支援拠点事業」が23.8%、「その他の類似の事業」が12.4%と続いています。

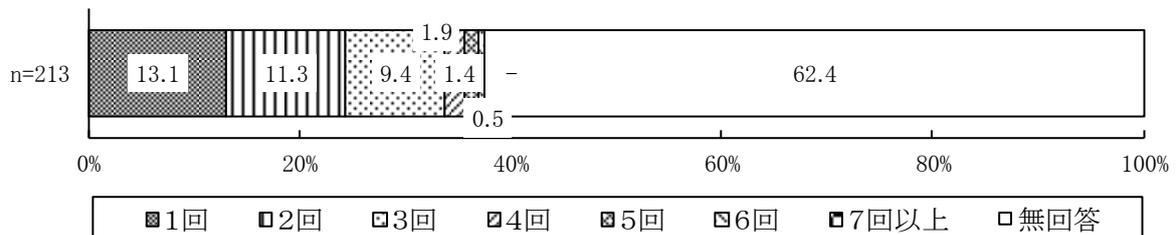


②地域子育て支援拠点事業

※①で「1. 地域子育て支援拠点事業」に○をつけた方にうかがいました。

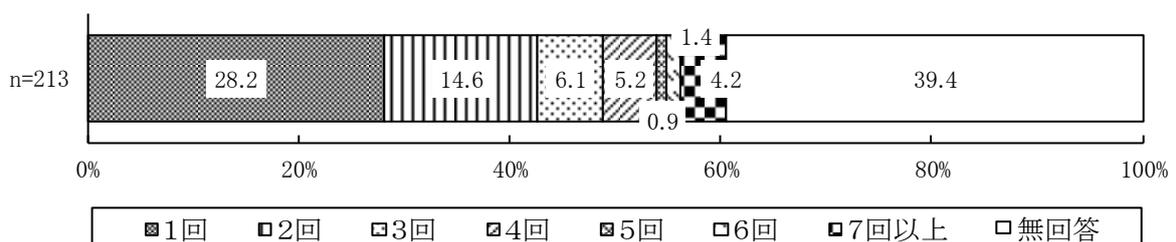
【1週当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、13.1%となっています。次いで「2回」が11.3%、「3回」が9.4%と続いています。



【1ヶ月当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、28.2%となっています。次いで「2回」が14.6%、「3回」が6.1%、「4回」が5.2%と続いています。

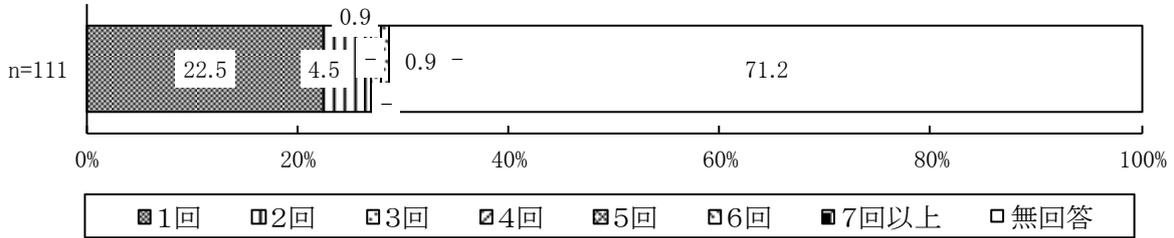


③その他の類似の事業

※①で「2. その他の類似の事業」に○をつけた方にかがいました。

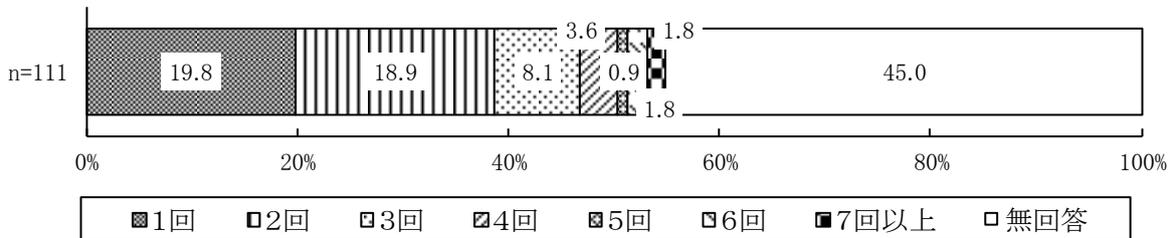
【1週当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、22.5%となっています。次いで「2回」が4.5%と続いています。



【1ヶ月当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、19.8%となっています。次いで「2回」が18.9%と続いています。

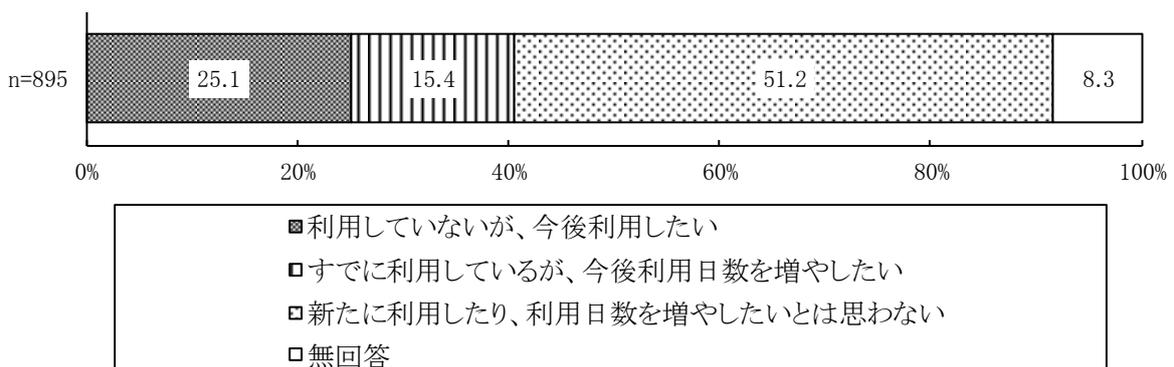


(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

①利用意向

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多く、51.2%となっています。次いで「利用していないが、今後利用したい」が 25.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 15.4%と続いています。

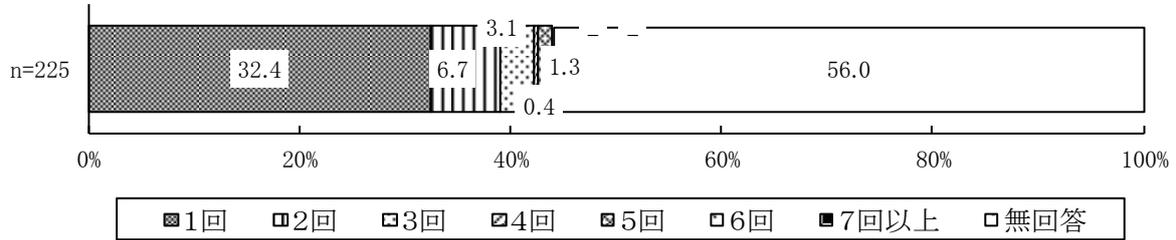


②今後利用したい回数

※①で「1. 利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

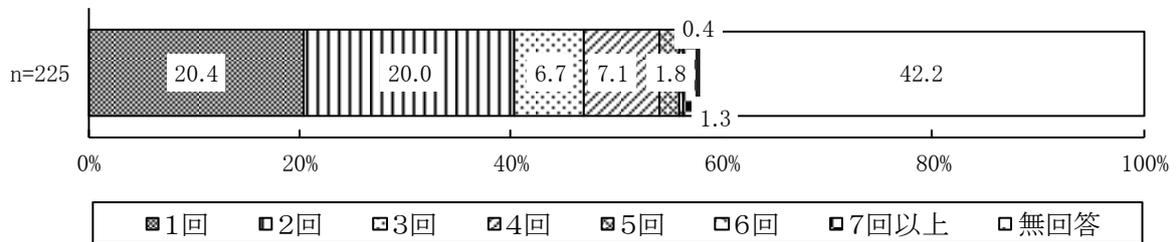
【1週当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、32.4%となっています。次いで「2回」が6.7%と続いています。



【1ヶ月当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、20.4%となっています。次いで「2回」が20.0%と続いています。

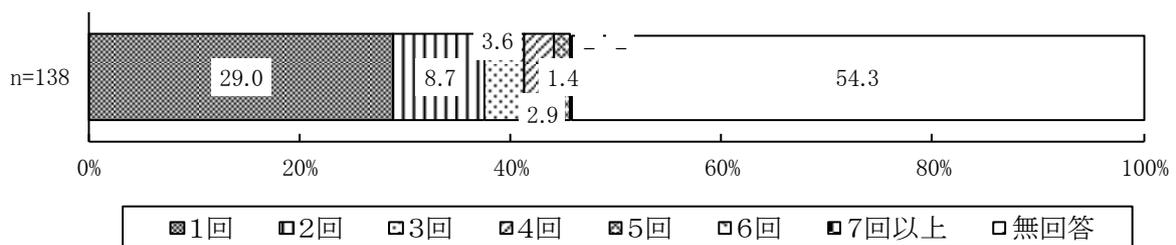


③利用日数を増やしたい回数

※①で「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方にうかがいました。

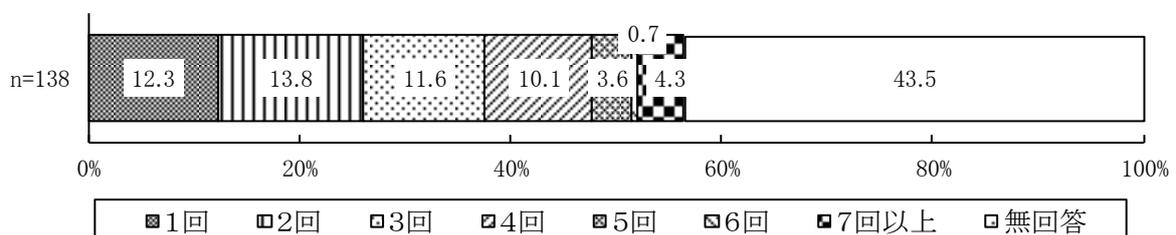
【1週当たりの利用回数】

「1回」が最も多く、29.0%となっています。次いで「2回」が8.7%と続いています。



【1ヶ月当たりの利用回数】

「2回」が最も多く、13.8%となっています。次いで「1回」が12.3%、「3回」が11.6%、「4回」が10.1%と続いています。

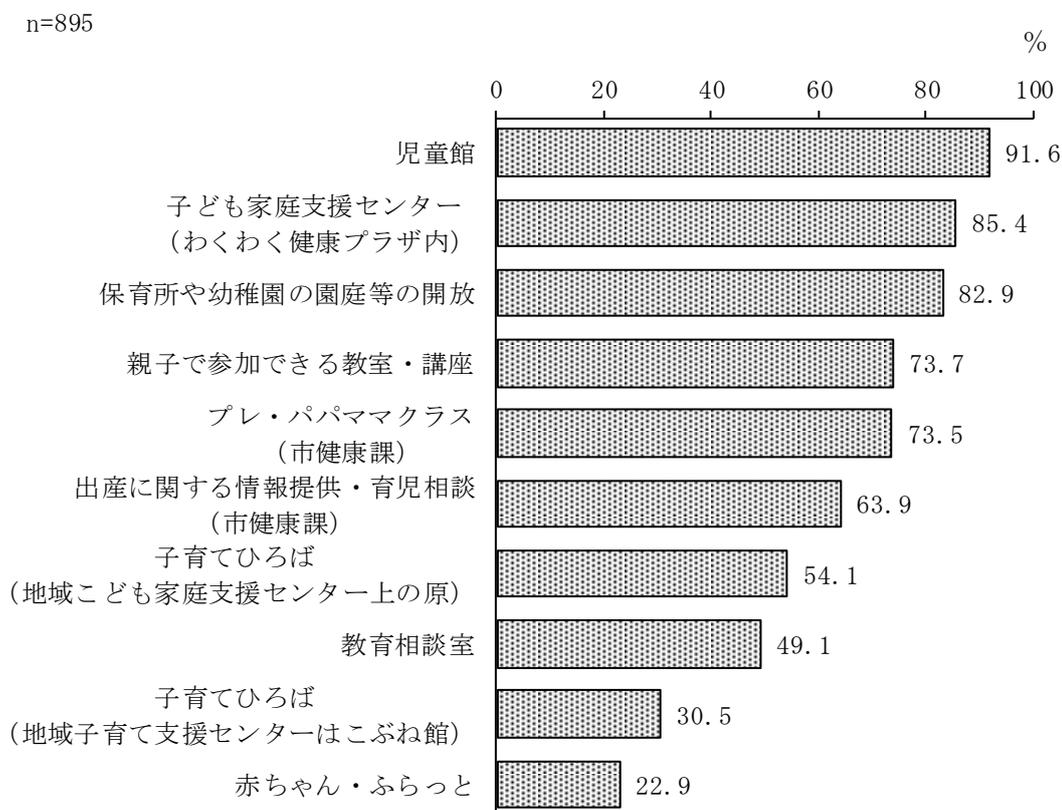


(3) 子育て支援事業の認知状況・利用状況・利用意向

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

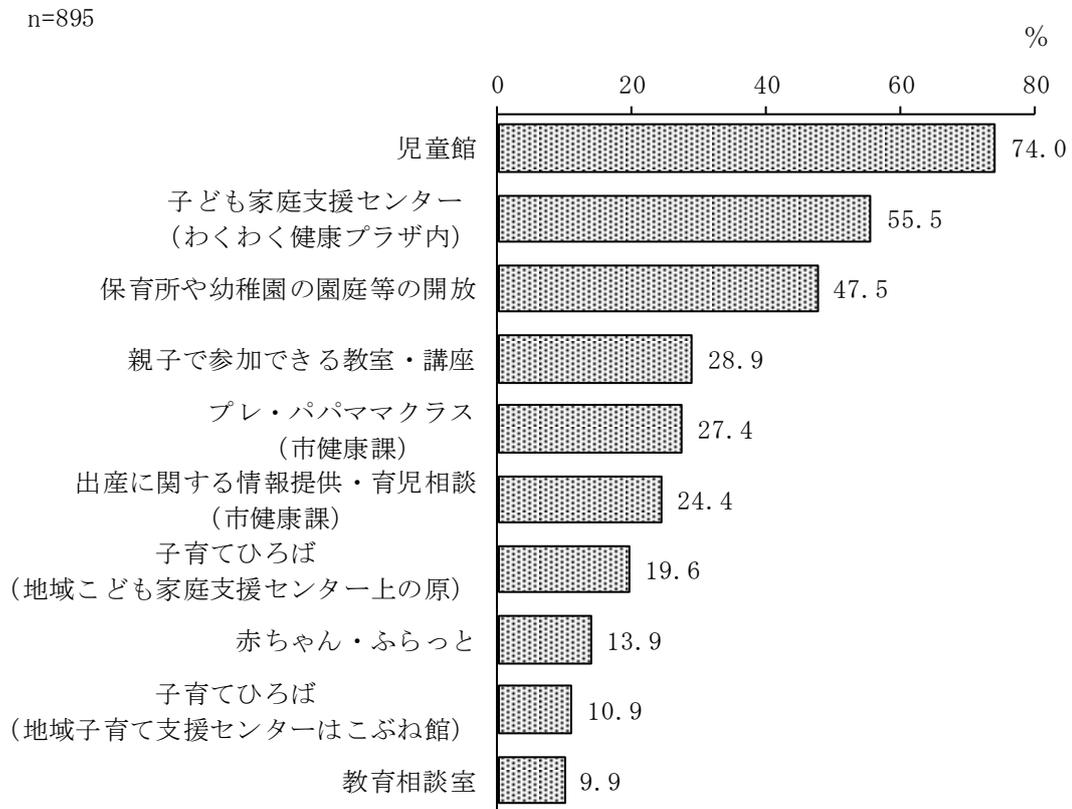
①認知状況

「児童館」が最も多く、91.6%となっています。次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が85.4%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が82.9%、「親子で参加できる教室・講座」が73.7%、「プレ・パパママクラス（市健康課）」が73.5%、「出産に関する情報提供・育児相談（市健康課）」が63.9%続いています。



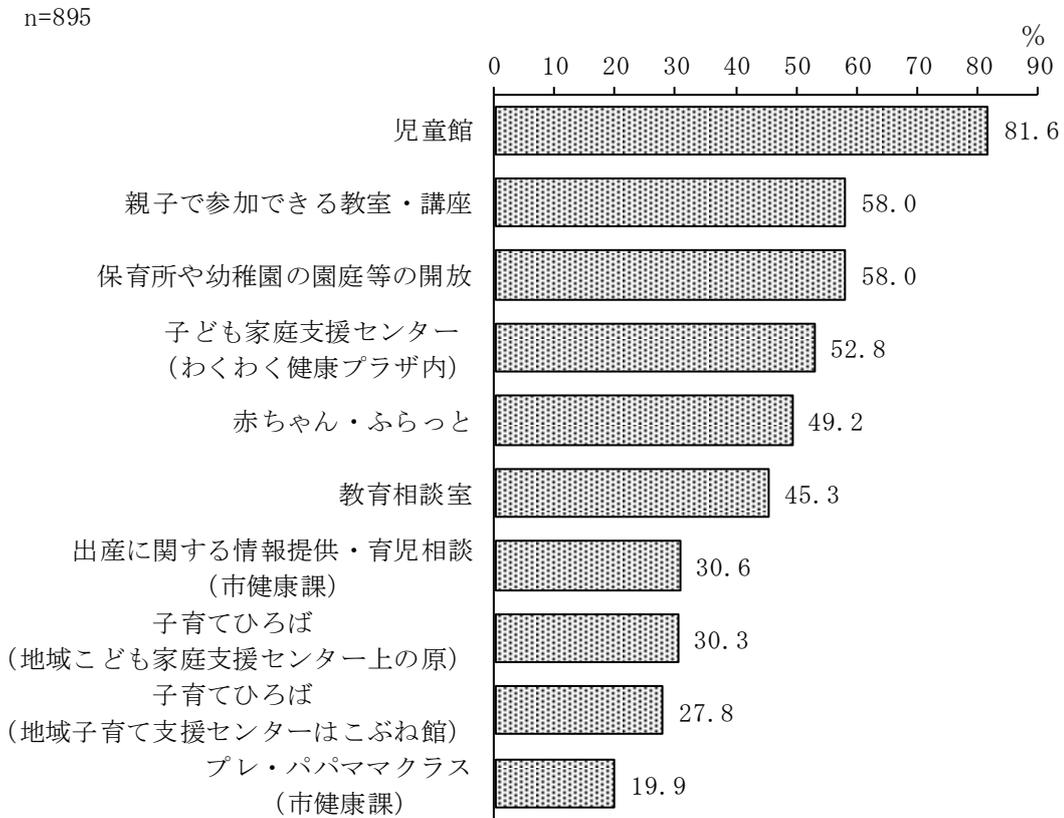
②利用状況

「児童館」が最も多く、74.0%となっています。次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が55.5%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が47.5%、「親子で参加できる教室・講座」が28.9%、「プレ・パパママクラス（市健康課）」が27.4%と続いています。



③利用意向

「児童館」が最も多く、81.6%となっています。次いで「親子で参加できる教室・講座」と「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が58.0%、「子ども家庭支援センター(わくわく健康プラザ内)」が52.8%と続いています。



7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

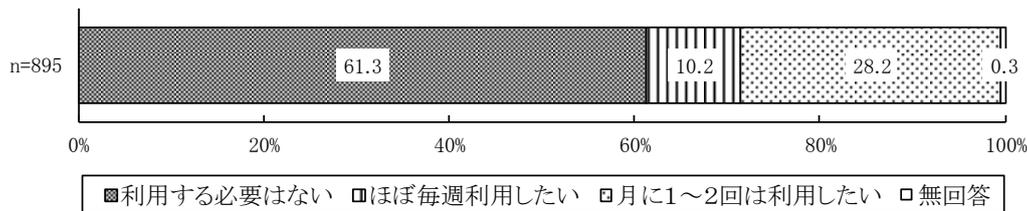
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、利用状況等に応じて利用料がかかります。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

①土曜日

【利用希望】

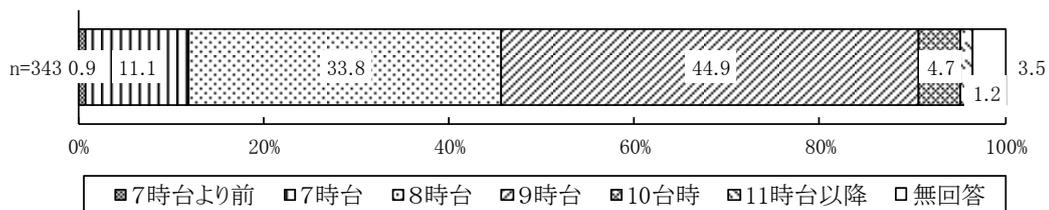
「利用する必要はない」が最も多く、61.3%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」が28.2%、「ほぼ毎週利用したい」が10.2%と続いています。



【利用開始時間】

※「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「9時台」が最も多く、44.9%となっています。次いで「8時台」が33.8%、「7時台」が11.1%と続いています。



【利用終了時間】

※「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

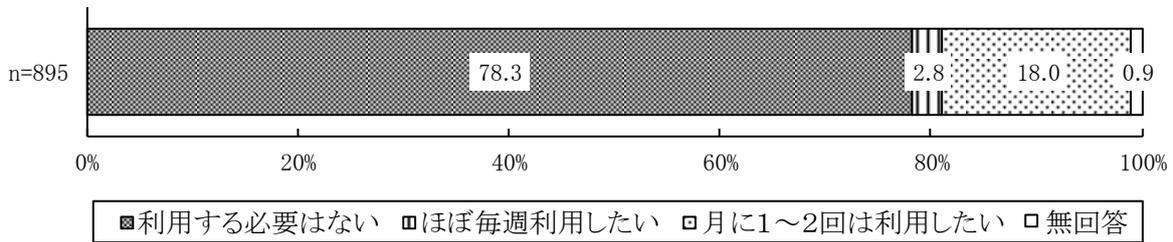
「18時台」が最も多く、31.8%となっています。次いで「17時台」が27.7%、「19時台」が9.0%と続いています。



②日曜日・祝日

【利用希望】

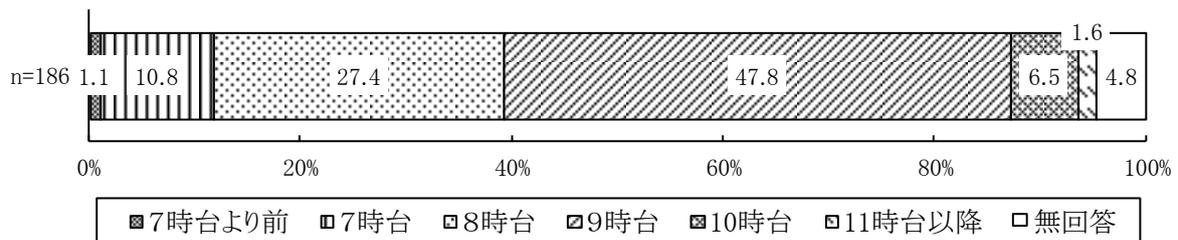
「利用する必要はない」が最も多く、78.3%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」が18.0%、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%と続いています。



【利用開始時間】

※「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

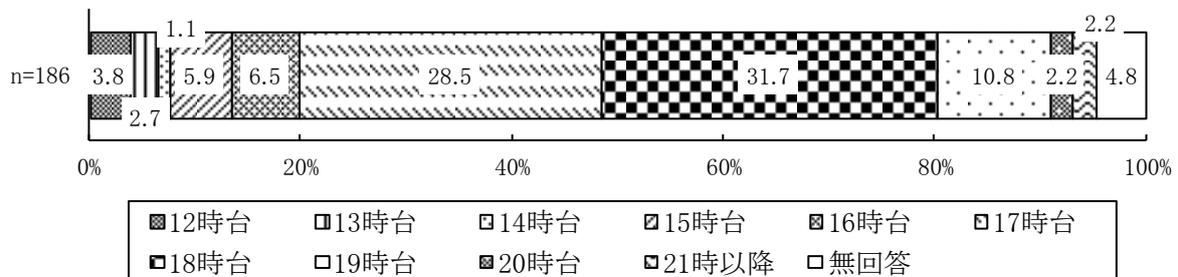
「9時台」が最も多く、47.8%となっています。次いで「8時台」が27.4%、「7時台」が10.8%と続いています。



【利用終了時間】

※「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、31.7%となっています。次いで「17時台」が28.5%、「19時台」が10.8%と続いています。

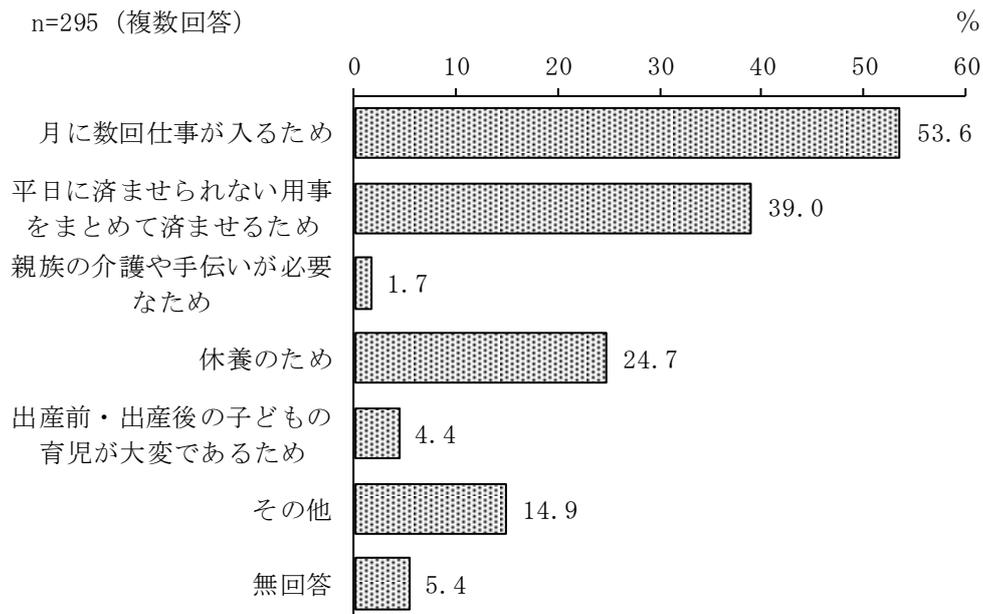


(2) 土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

※問 20 の①または②で「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が最も多く、53.6%となっています。次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が39.0%、「休養のため」が24.7%と続いています。



(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

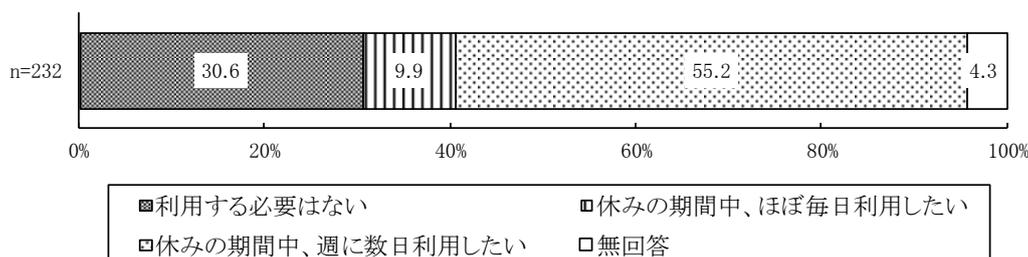
※問 15-1 で「1. 幼稚園」に○をつけた方にかがいました。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、利用状況等に応じて利用料がかかります。

①利用希望

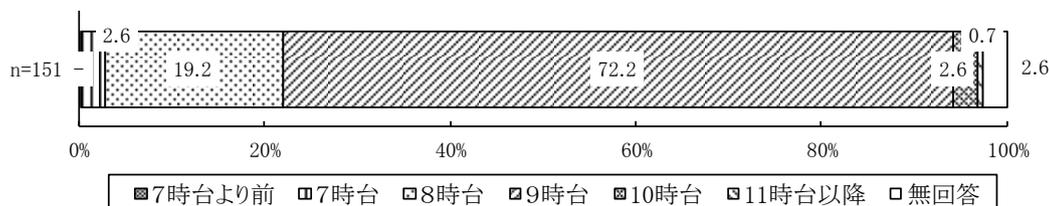
「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多く、55.2%となっています。次いで「利用する必要はない」が30.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が9.9%と続いています。



②利用開始時間

※「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいました。

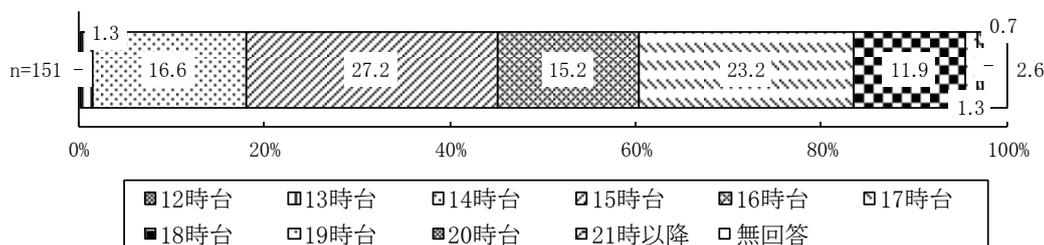
「9時台」が最も多く、72.2%となっています。次いで「8時台」が19.2%と続いています。



③利用終了時間

※「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「15時台」が最も多く、27.2%となっています。次いで「17時台」が23.2%、「14時台」が16.6%、「16時台」が15.2%、「18時台」が11.9%と続いています。

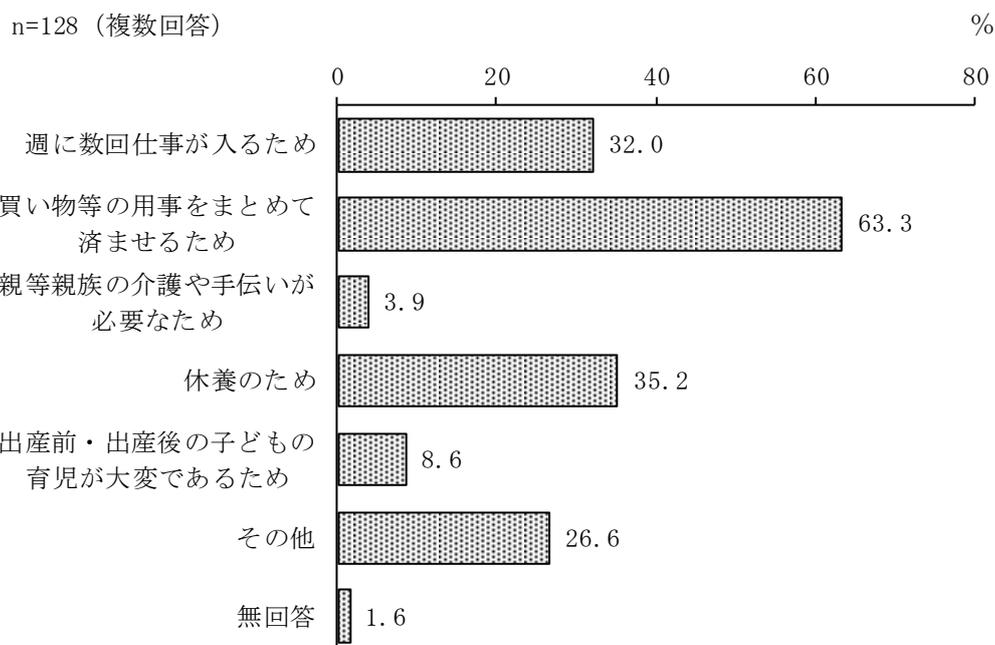


(4) 長期休暇中の教育・保育事業をたまに利用したい理由

※問 21 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方がうかがいました。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が最も多く、63.3%となっています。次いで「休養のため」が35.2%、「週に数回仕事が入るため」が32.0%と続いています。



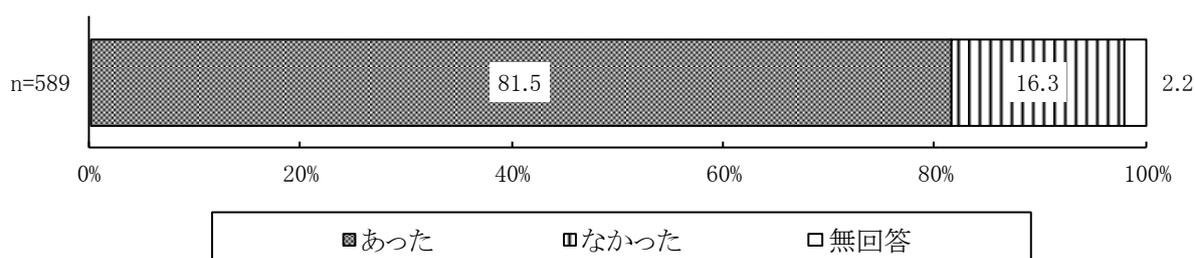
8. お子さんの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無

※平日（月～金）、定期的に幼稚園や保育園などを利用していると答えた保護者の方（問15で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいました。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

「あった」が81.5%、「なかった」が16.3%となっています。



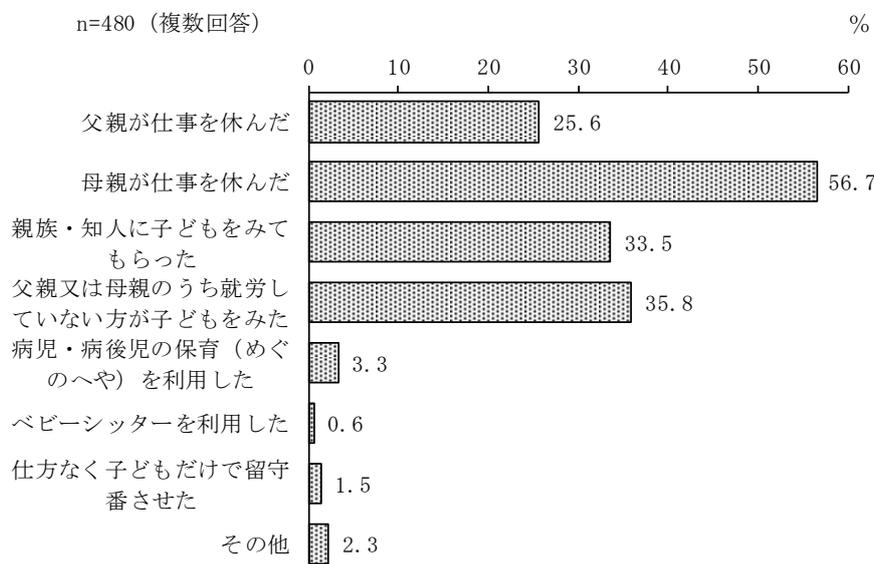
(2) 病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかった場合の対処方法と日数

※問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがでふだん利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

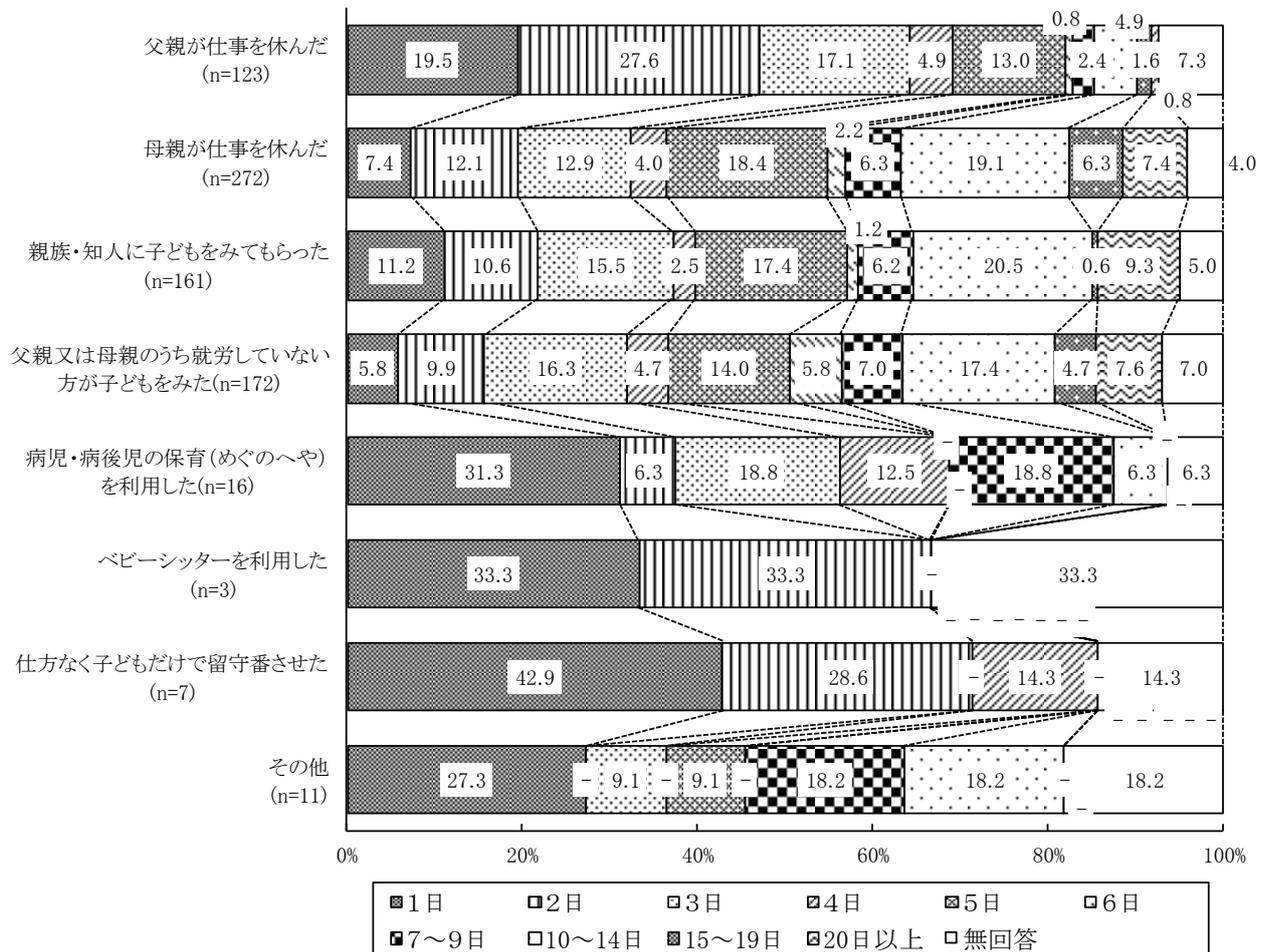
① 対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く、56.7%となっています。次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が35.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が33.5%、「父親が仕事を休んだ」が25.6%と続いています。



②日数

“父親が仕事を休んだ”は、「2日」が最も多く、27.6%となっており、「1日」が19.5%、「3日」が17.1%、「5日」が13.0%と続いています。“母親が仕事を休んだ”“親族・知人に子どもをみてもらった”“父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた”は、「10～14日」が最も多く、20%前後となっており、「5日」と「3日」が10%台と続いています。



※ “病児・病後児の保育(めぐのへや)を利用した” “ベビーシッターを利用した” “仕方なく子どもだけで留守番させた” は回答者数が少ないため、参考値となります。

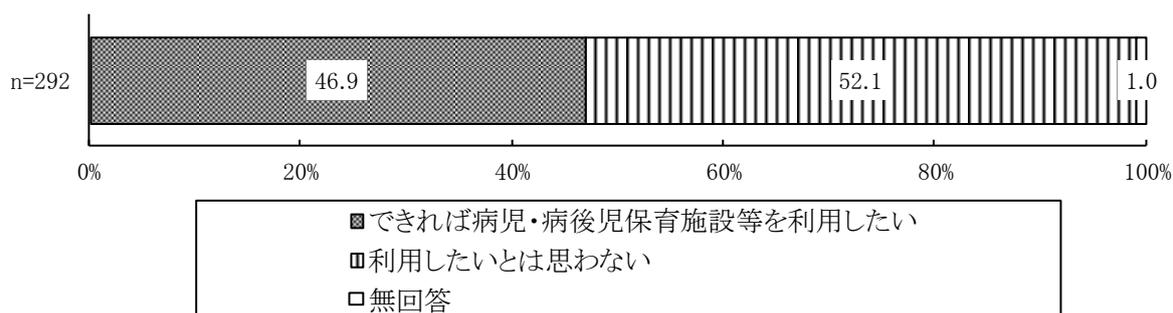
(3) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

※問 22-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にかがいました。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

①利用意向

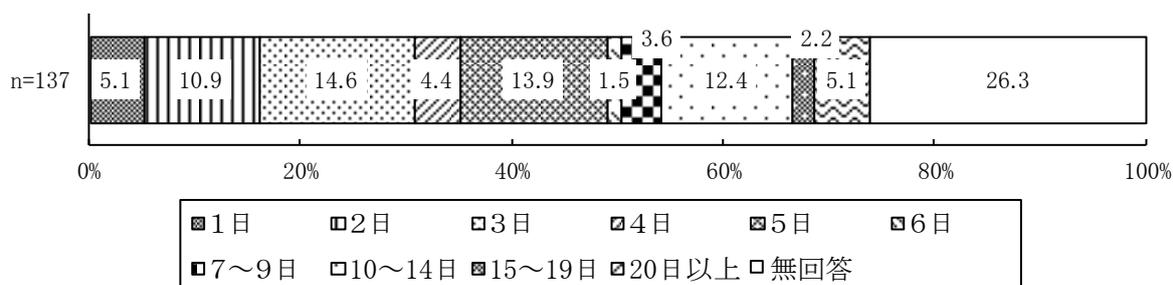
「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が 46.9%、「利用したいとは思わない」が 52.1%となっています。



②利用希望日数

※①で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「3日」が最も多く、14.6%となっています。次いで「5日」が 13.9%、「10～14日」が 12.4%、「2日」が 10.9%と続いています。

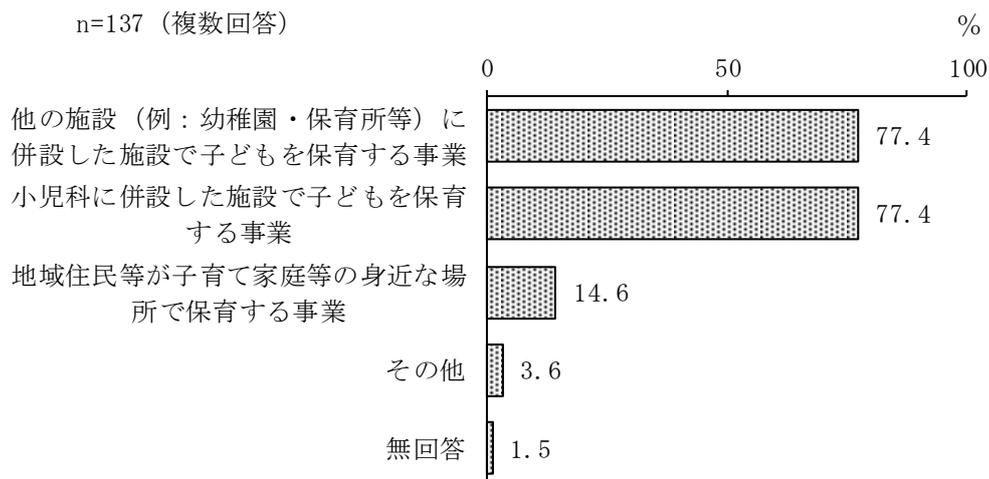


(4) 病児・病後児施設等の事業形態

問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問 22-3 子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」と「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く、77.4%となっています。次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が14.6%と続いています。

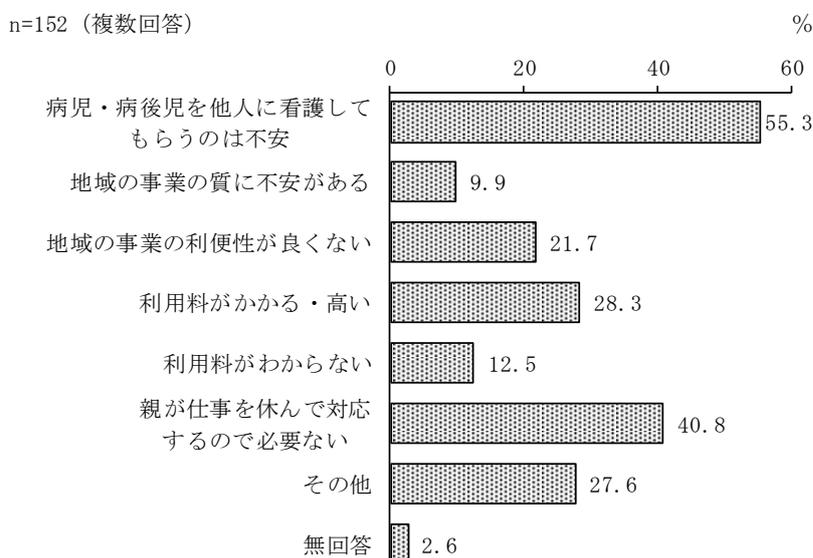


(5) 病児・病後児施設等を利用しない理由

※問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいました。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が最も多く、55.3%となっています。次いで「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が40.8%、「利用料がかかる・高い」が28.3%、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない」が21.7%と続いています。



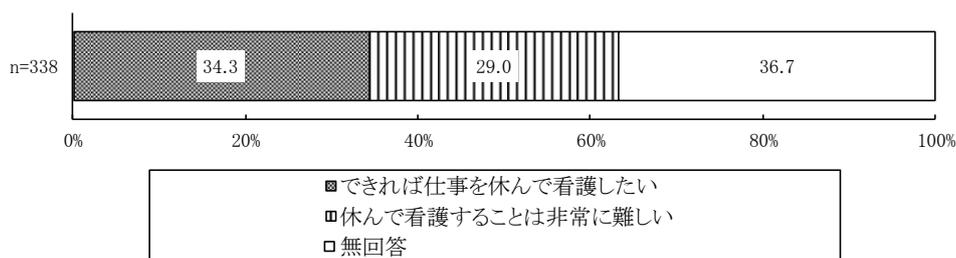
(6) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

※問 22-1 で「ウ」から「ク」のいずれかに○をつけた方うかがいました。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。

①休暇取得希望

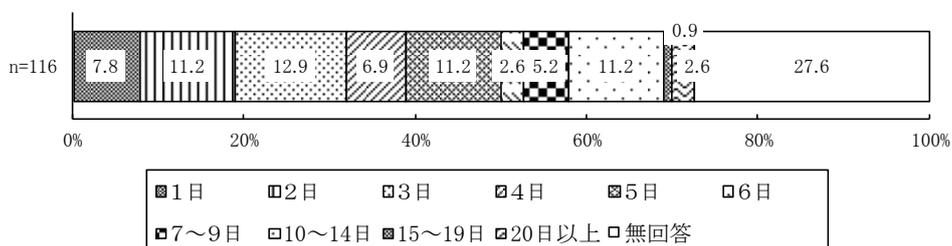
「できれば仕事を休んで看護したい」が34.3%、「休んで看護することは非常に難しい」が29.0%となっています。



②日数

※①で「1. できれば仕事を休んで看護したい」に○をつけた方うかがいました。

「3日」が最も多く、12.9%となっています。次いで「2日」と「5日」と「10～14日」が11.2%と続いています。

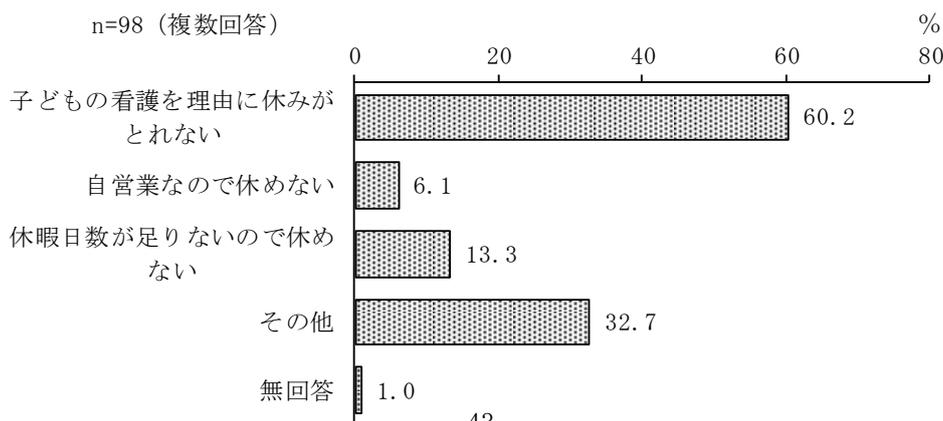


(7) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

※問 22-5 で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方うかがいました。

問 22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、60.2%となっています。次いで「休暇日数が足りないので休めない」が13.3%と続いています。



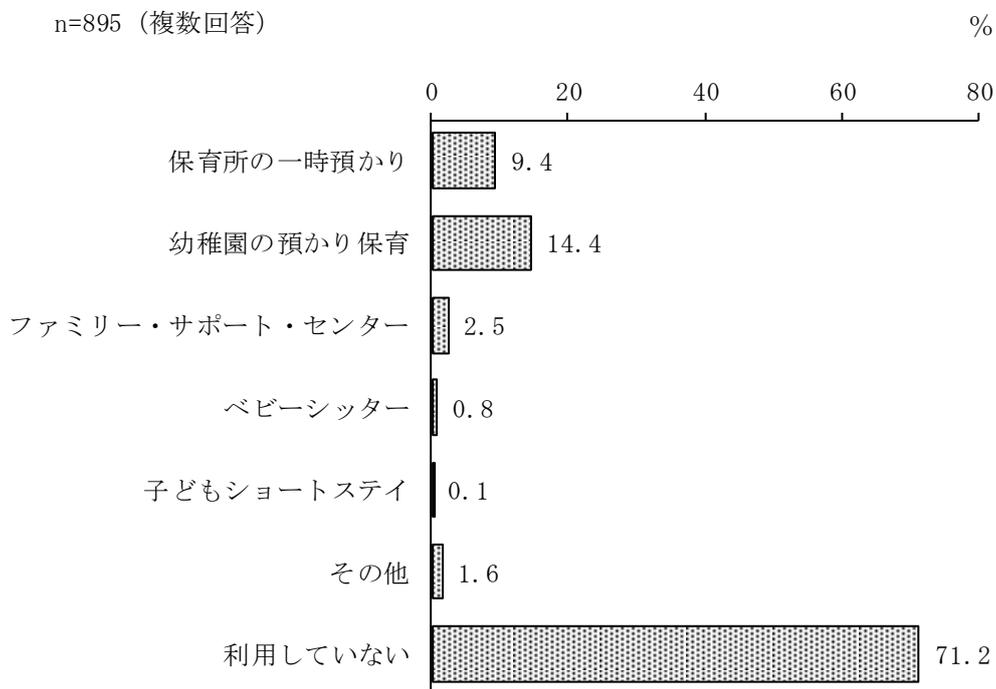
9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について

(1) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況と日数

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

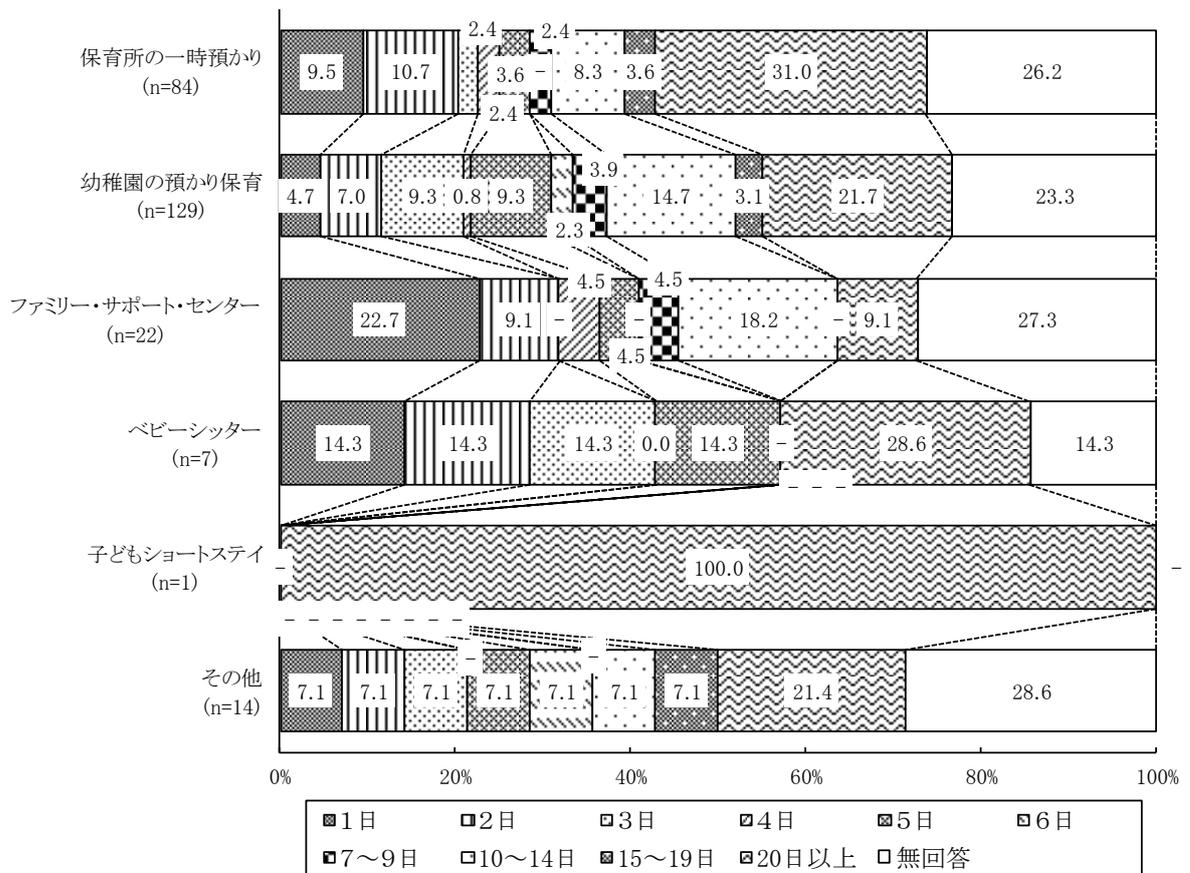
①利用状況

「利用していない」が最も多く、71.2%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が14.4%、「保育所の一時預かり」が9.4%と続いています。



②日数

“保育所の一時預かり” “幼稚園の預かり保育” は「20日以上」が最も多く、20%を超えています。



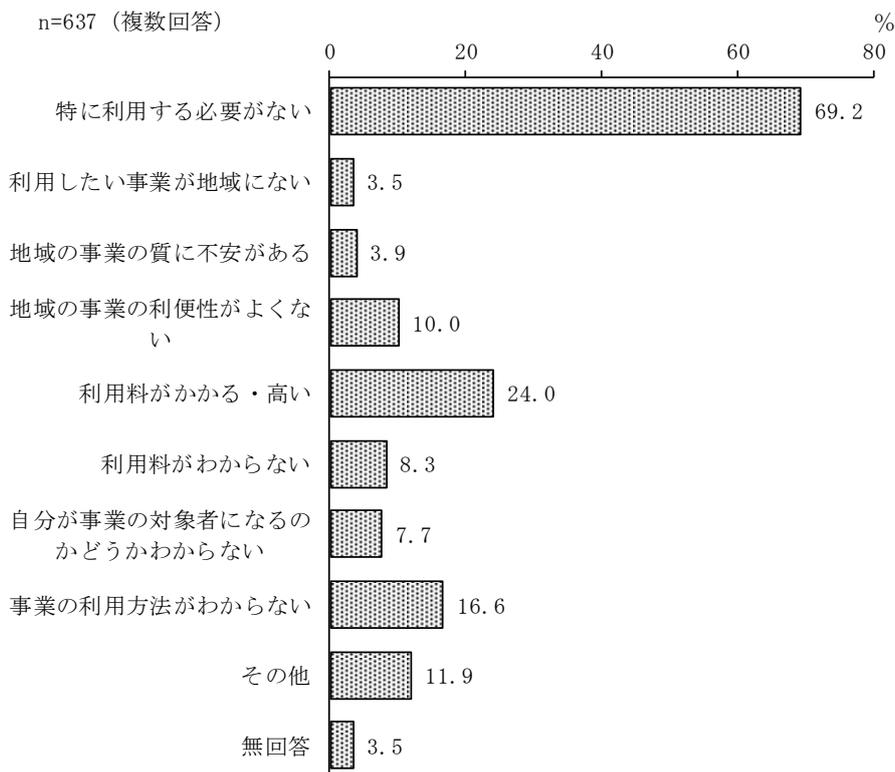
※ “ファミリー・サポート・センター” “ベビーシッター” “子どもショートステイ” は回答者数が少ないため、参考値となります。

(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

※問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が最も多く、69.2%となっています。次いで「利用料がかかる・高い」が24.0%、「事業の利用方法がわからない」が16.6%、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」が10.0%と続いています。

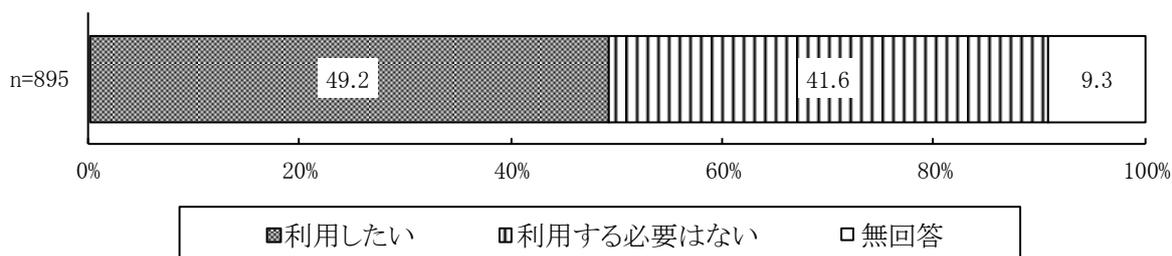


(3) 不定期の教育・保育事業の利用希望と日数

問 24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

①利用希望

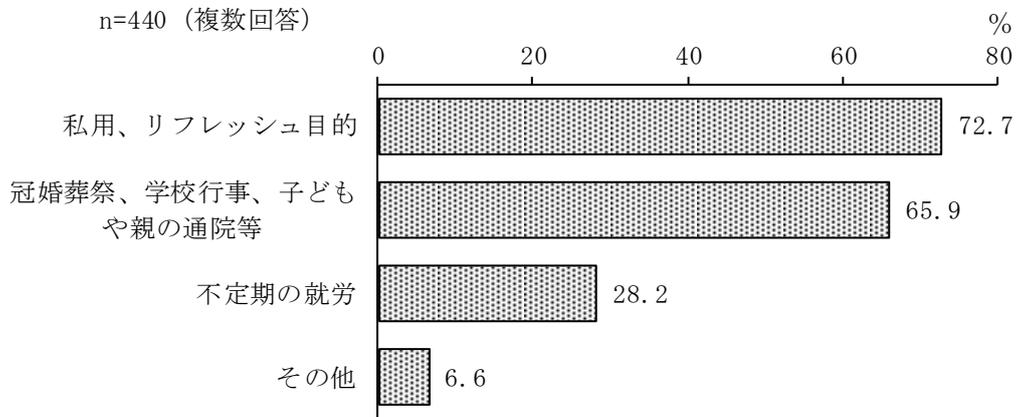
「利用したい」が49.2%、「利用する必要はない」が41.6%となっています。



②利用目的

※①で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

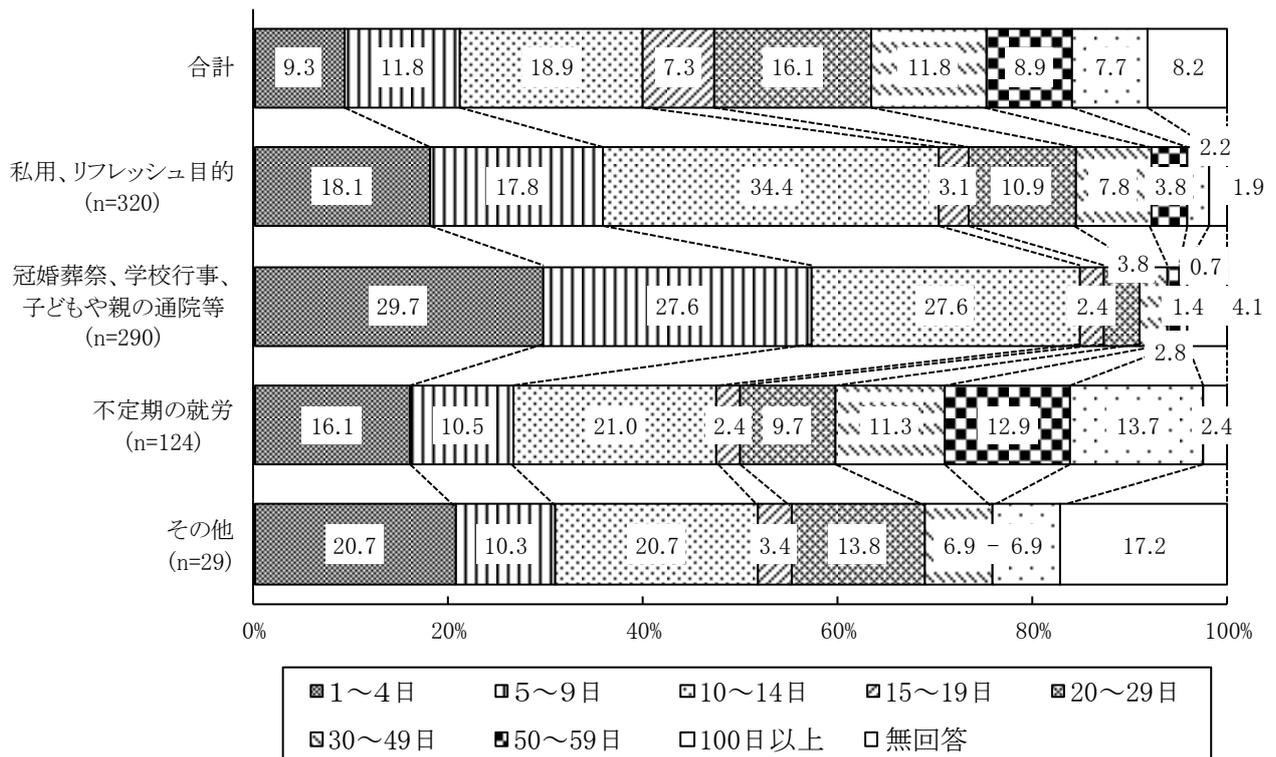
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く、72.7%となっています。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が65.9%、「不定期の就労」が28.2%と続いています。



③日数

※①で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的”は、「10～14日」が最も多く、34.4%となっており、「1～4日」が18.1%、「5～9日」が17.8%と続いています。“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等”は「1～4日」が最も多く、29.7%、「5～9日」と「10～14日」が27.6%と続いています。“不定期の就労”は「10～14日」が最も多く、21.0%となっており、「1～4日」が16.1%、「100日以上」が13.7%と続いています。

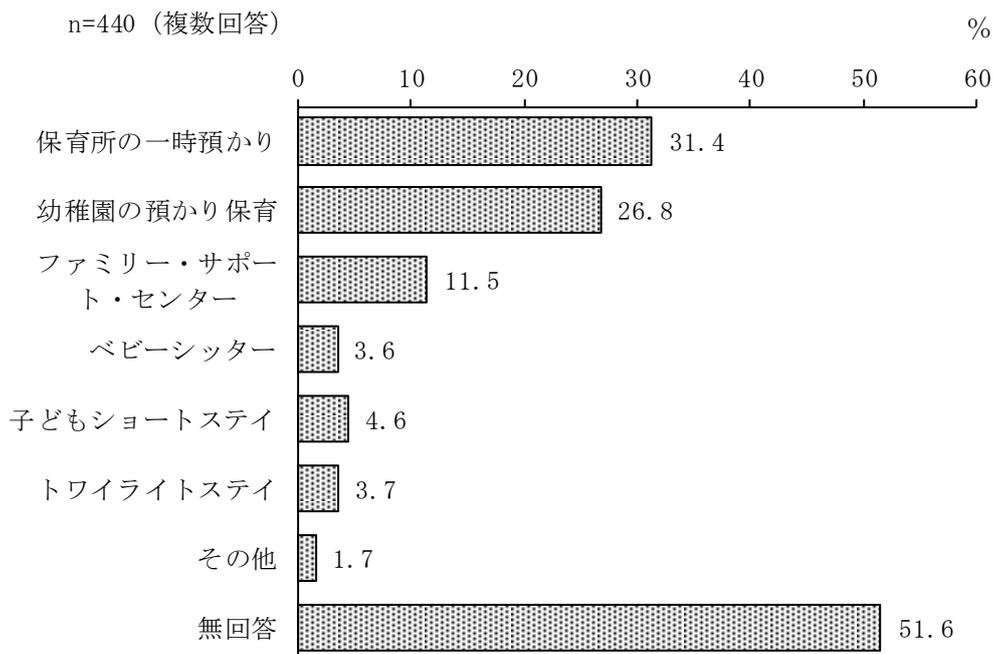


(4) 不特定の教育・保育事業の事業形態

※問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所の一時預かり」が最も多く、31.4%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が26.8%、「ファミリー・サポート・センター」が11.5%と続いています。

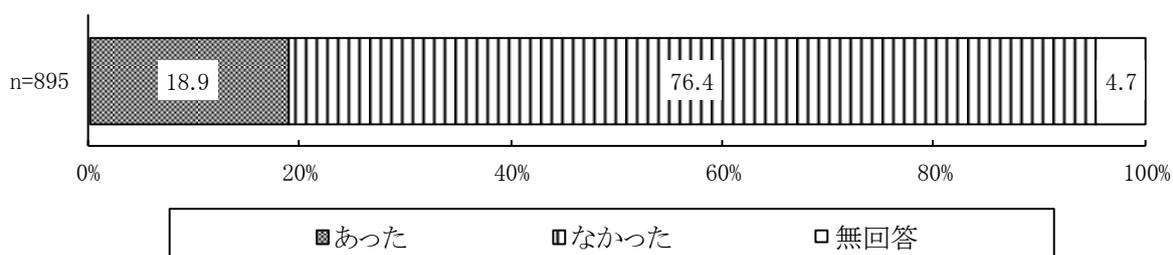


(5) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてアからカの当てはまるものをすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

①一時預かりの有無

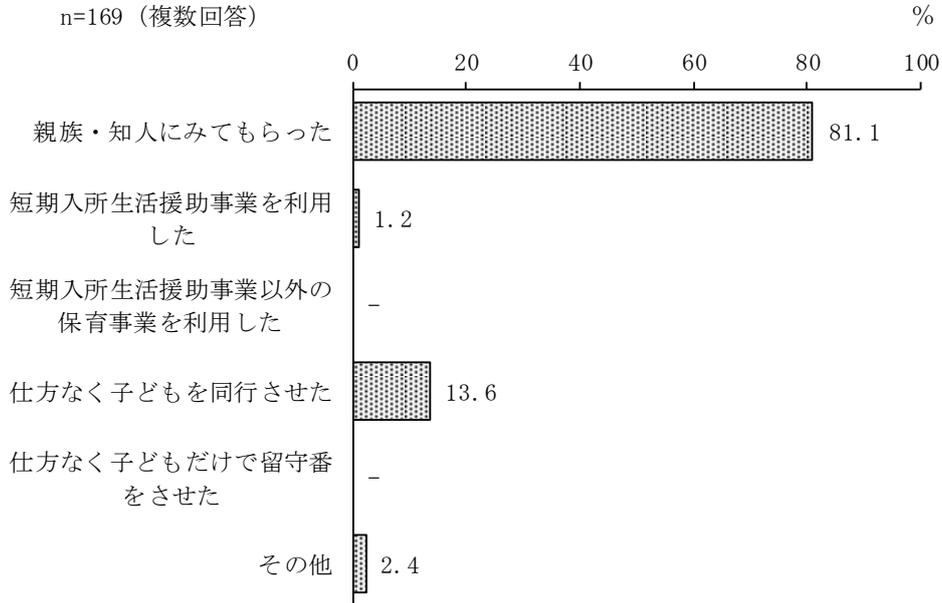
「あった」が18.9%、「なかった」が76.4%となっています。



②対処方法

※①で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も多く、81.1%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.6%と続いています。

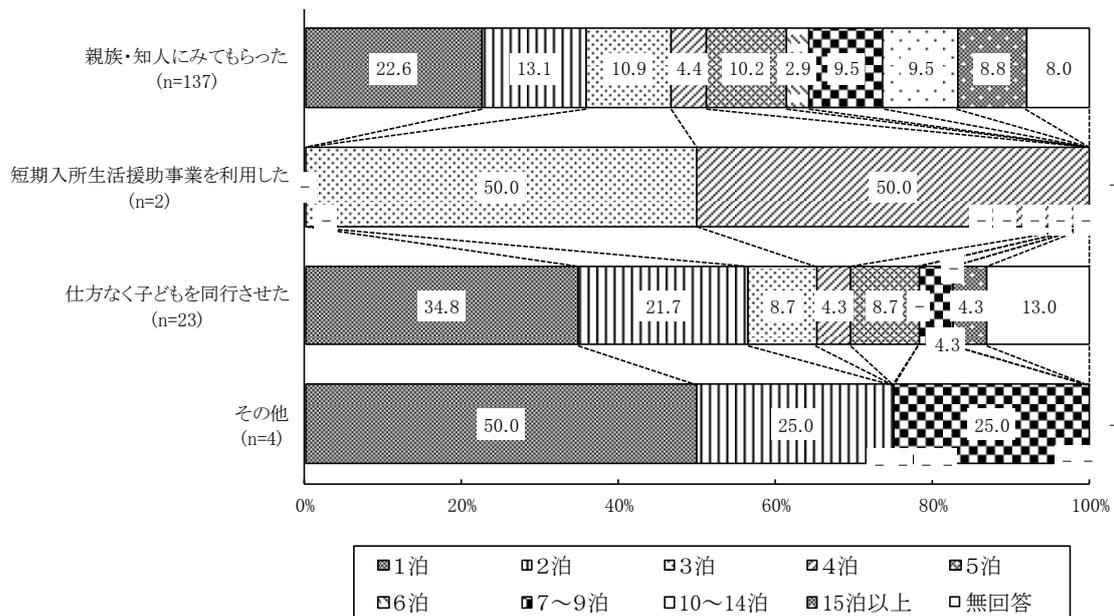


③泊数

※①で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった”は「1泊」が最も多く、22.6%となっており、「2泊」が13.1%、「3泊」が10.9%、「5泊」が10.2%と続いています。

※“短期入所生活援助事業以外の保育事業”と“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”は、回答対象者がいませんでした。



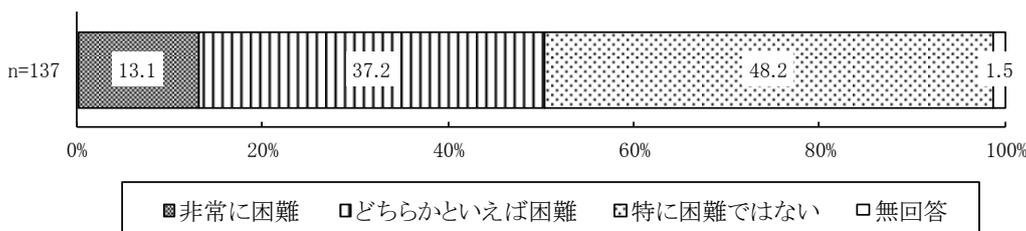
※“短期入所生活援助事業を利用した”“仕方なく子どもを同行させた”は回答者数が少ないため、参考値となります。

(6) 親族・知人に預ける困難さ

※問 25 で「1. あった」のうち「ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいました。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、48.2%となっています。次いで「どちらかといえば困難」が 37.2%、「非常に困難」が 13.1%と続いています。



10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

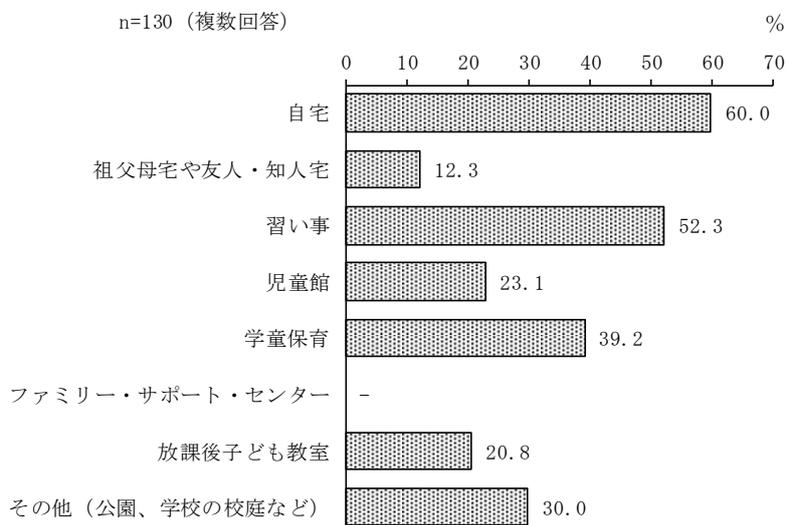
※「10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について」は、平成 19 年 (2007 年) 4 月 2 日～平成 20 年 (2008 年) 4 月 1 日生まれのお子さんを対象としています。

(1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年 (1～3 年生) のうちは、放課後 (平日 (月～金) の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号 すべて に○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を 数字 でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も 下線部 に 数字 でご記入ください。時間は必ず (例) 18 時 のように 24 時間制でご記入ください。

①希望する放課後の過ごし方

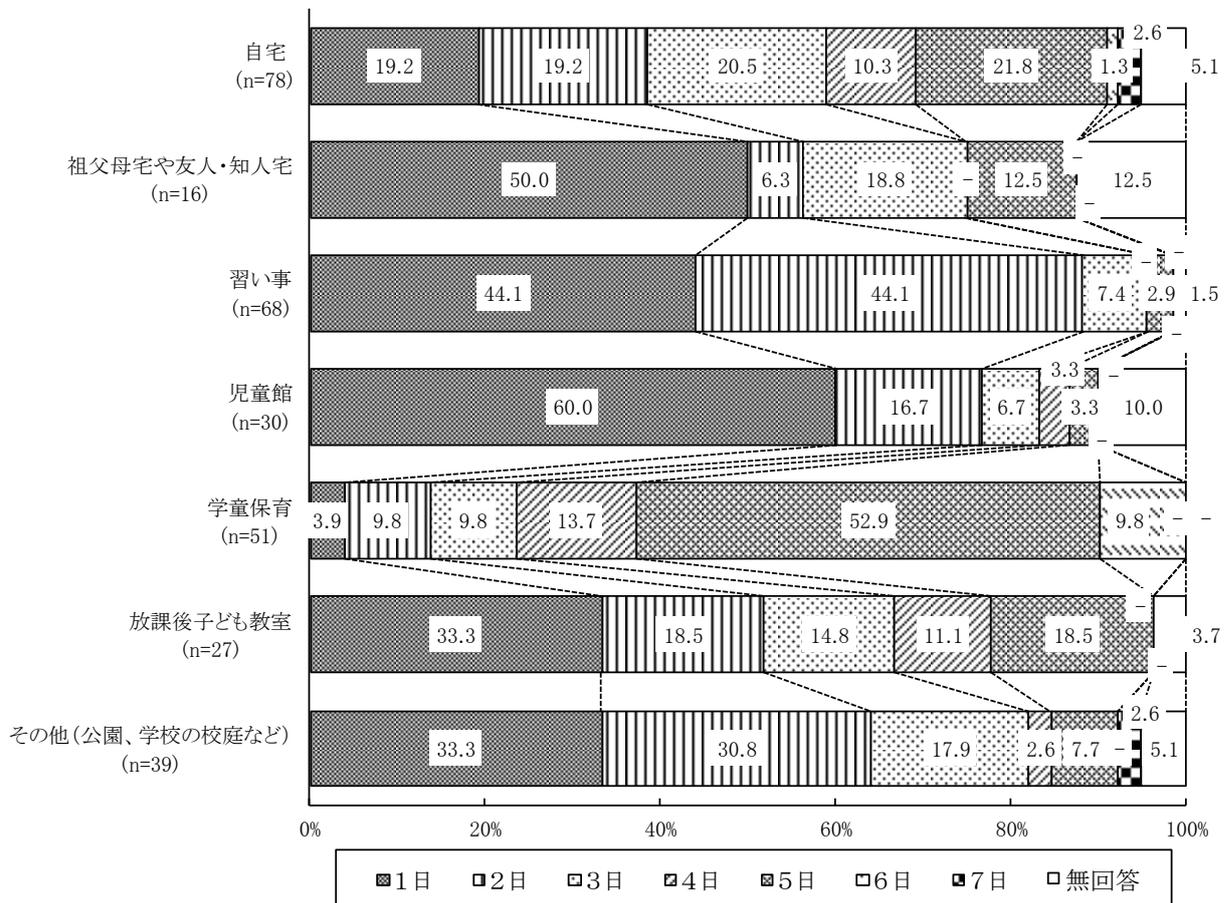
「自宅」が最も多く、60.0%となっています。次いで「習い事」が 52.3%、「学童保育」が 39.2%、「その他 (公園、学校の校庭など)」が 30.0%と続いています。



② 1週当たりの日数

“自宅”は「5日」が最も多く、21.8%となっており、「3日」が20.5%、「1日」と「2日」が19.2%と続いています。“習い事”は「1日」と「2日」が最も多く、44.1%となっています。“児童館”は「1日」が最も多く、60.0%となっており、「2日」が16.7%と続いています。“学童保育”は「5日」が最も多く、52.9%となっており、「4日」が13.7%と続いています。

※ファミリー・サポート・センターは、回答対象者がいませんでした。

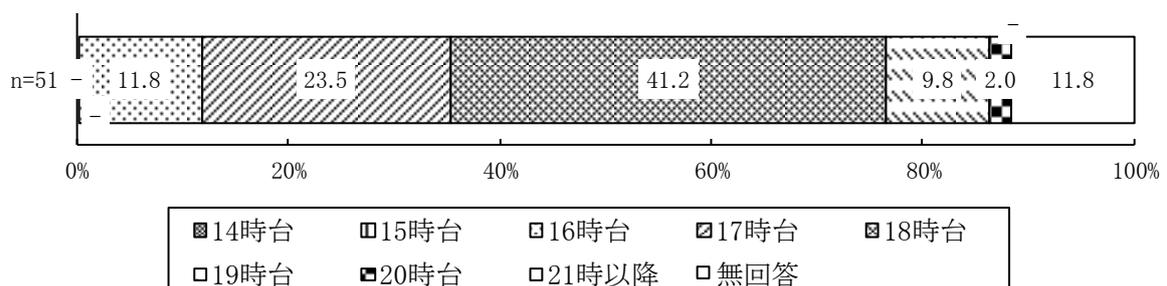


※“祖父母宅や友人・知人宅”“放課後子ども教室”は回答者数が少ないため、参考値となります。

③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※②で「6. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、41.2%となっています。次いで「17時台」が23.5%、「16時台」が11.8%と続いています。

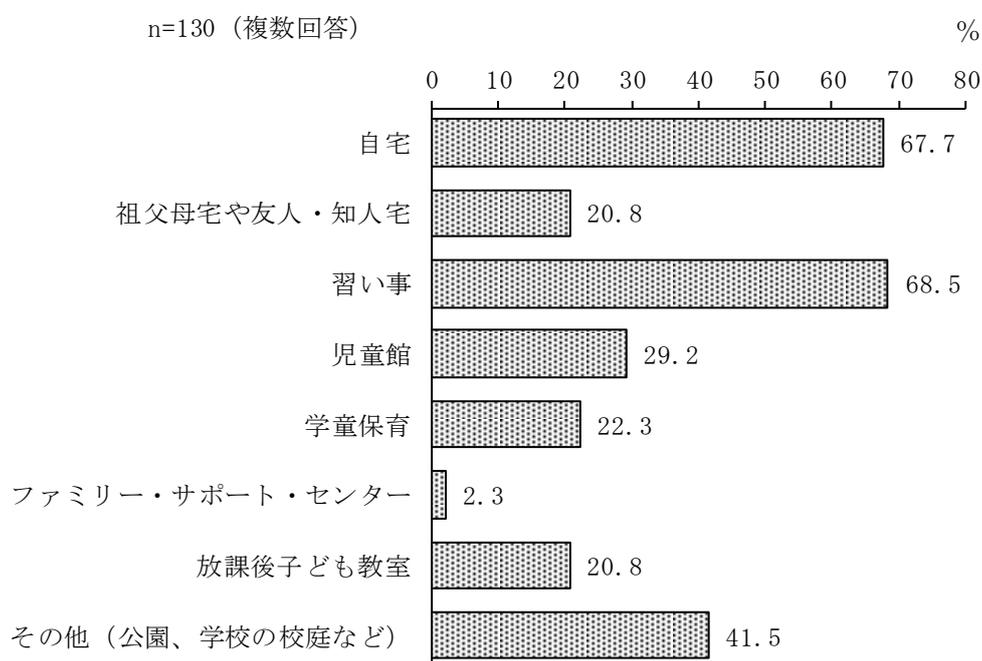


(2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

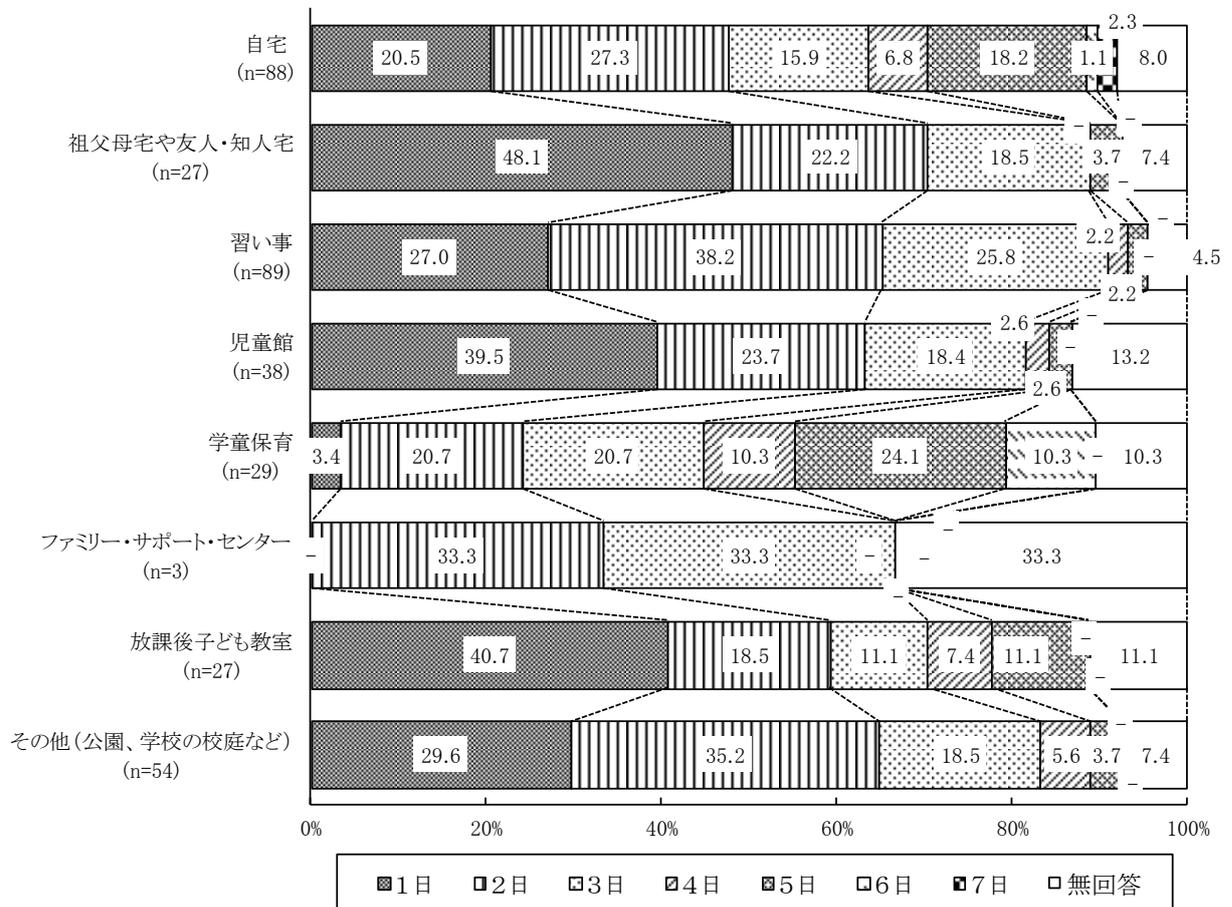
①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、68.5%となっています。次いで「自宅」が67.7%、「その他（公園、学校の校庭など）」が41.5%、「児童館」が29.2%、「学童保育」が22.3%と続いています。



②日数

“自宅”は「2日」が最も多く、27.3%となっており、「1日」が20.5%、「5日」が18.2%、「3日」が15.9%と続いています。“習い事”は「2日」が最も多く、38.2%となっており、「1日」が27.0%、「3日」が25.8%と続いています。“児童館”は「1日」が最も多く、39.5%となっており、「2日」が23.7%、「3日」が18.4%と続いています。



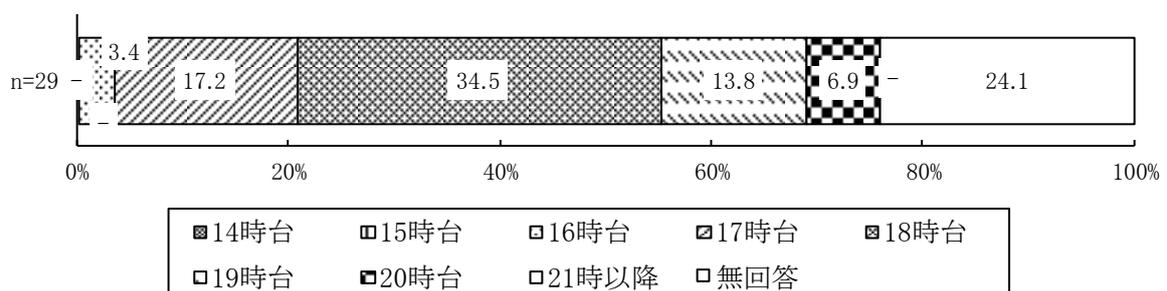
※“祖父母宅や友人・知人宅”“学童保育”“ファミリー・サポート・センター”“放課後子ども教室”は回答者数が少ないため、参考値となります。

③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※②で「6.学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、34.5% (29人中10人) となっています。次いで「17時台」が17.2% (29人中5人)、「19時台」が13.8% (29人中4人) と続いています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望と利用時間

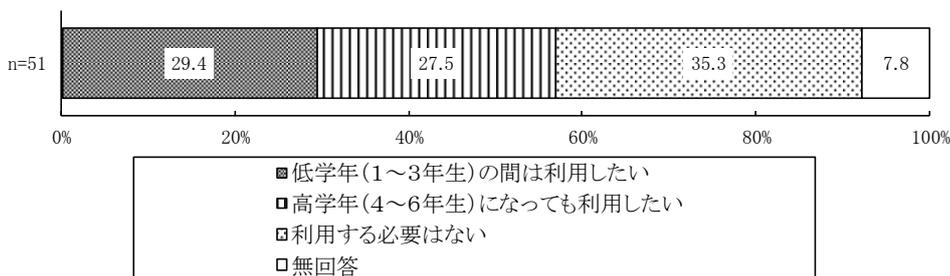
※問 26 または問 27 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。①土曜日、②日曜日それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

①土曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、35.3%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が29.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.5%と続いています。

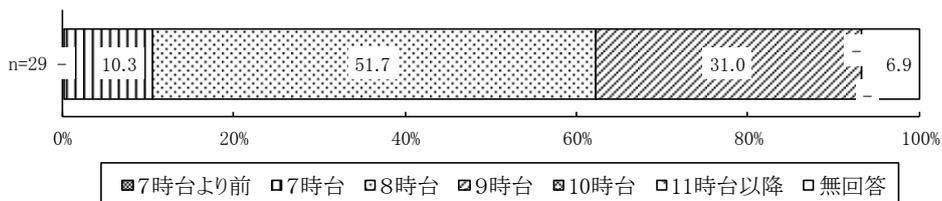


【利用開始時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、51.7%（29人中15人）となっています。次いで「9時台」が31.0%（29人中9人）、「7時台」が10.3%（29人中3人）と続いています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

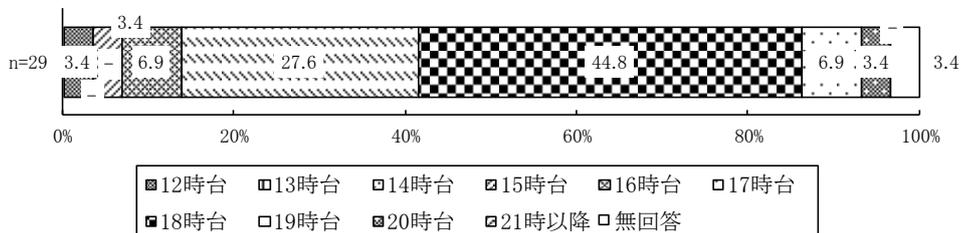


【利用終了時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、44.8%（29人中13人）となっています。次いで「17時台」が27.6%（29人中8人）と続いています。

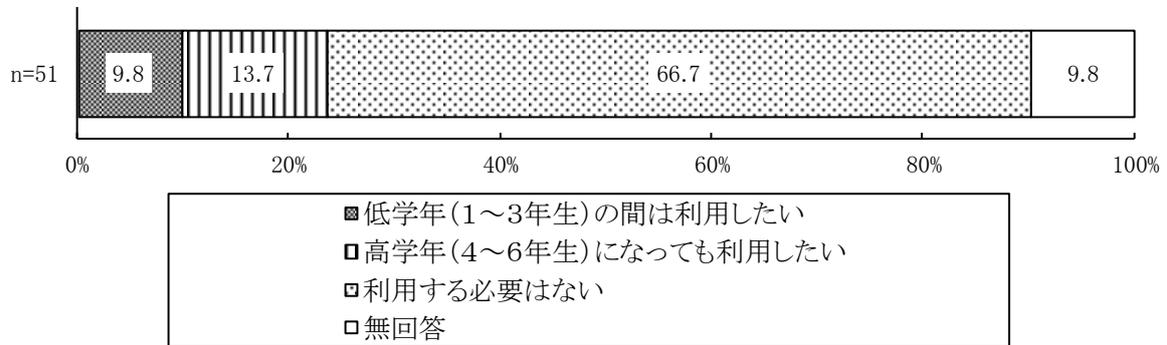
※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



②日曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、66.7%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が13.7%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が9.8%と続いています。

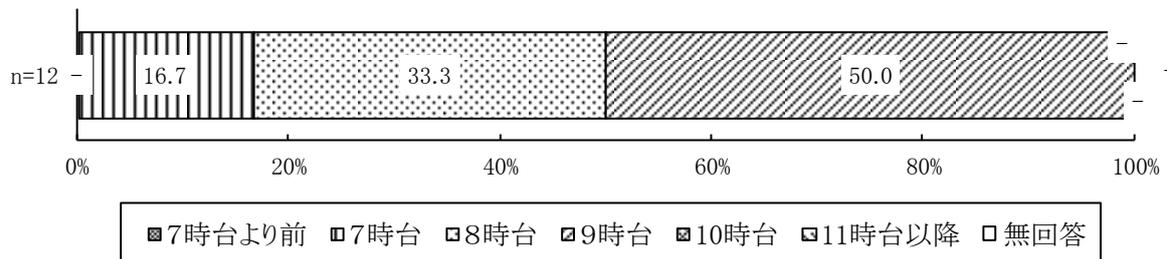


【利用開始時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「9時台」が最も多く、50.0%（12人中9人）となっています。次いで「8時台」が33.3%（12人中4人）、「7時台」が16.7%（12人中2人）と続いています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

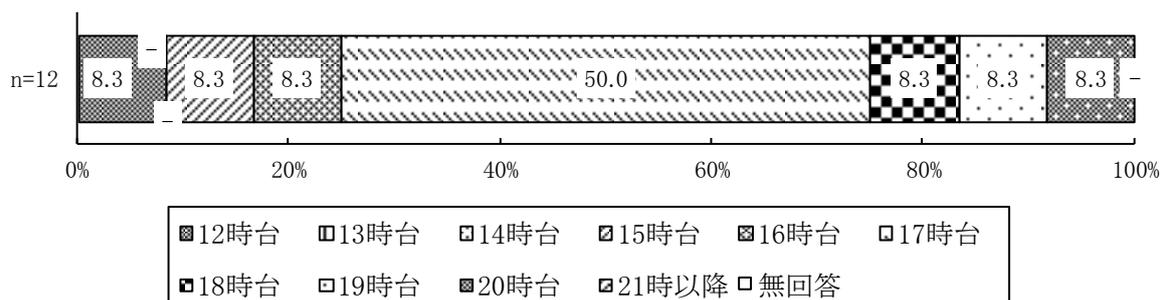


【利用終了時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「17時台」が最も多く、50.0%（12人中6人）となっています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

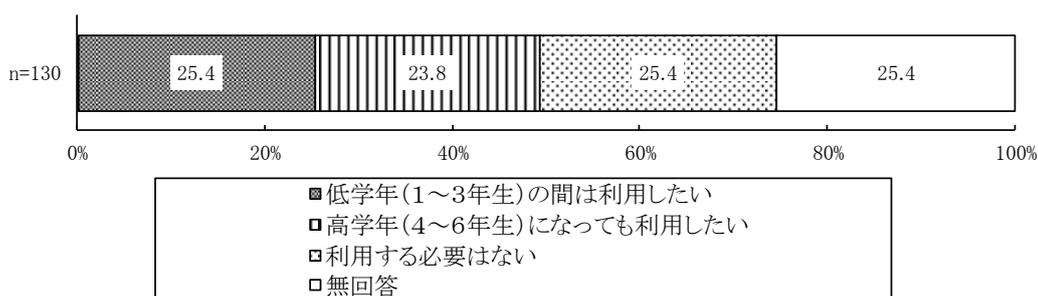


(4) 長期休暇中の学童保育の利用希望

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

①利用希望

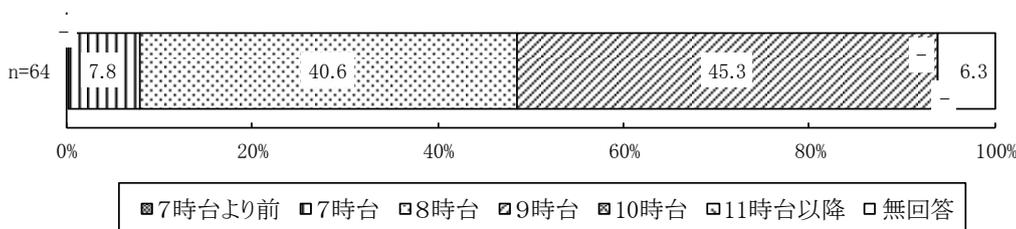
「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「利用する必要はない」が最も多く、25.4%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が23.8%と続いています。



②利用開始時間

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

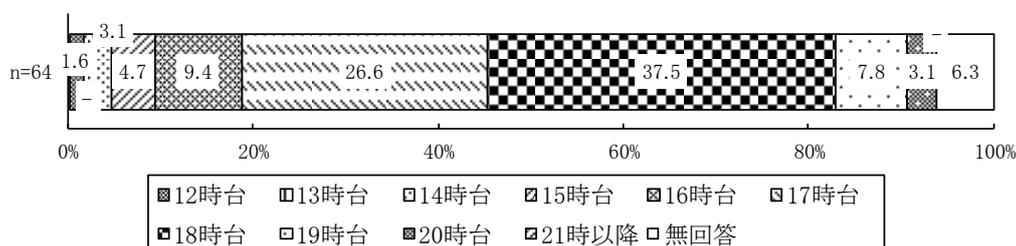
「9時台」が最も多く、45.3%となっています。次いで「8時台」が40.6%、「7時台」が7.8%と続いています。



③利用終了時間

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「18時台」が最も多く、37.5%となっています。次いで「17時台」が26.6%、「16時台」が9.4%と続いています。



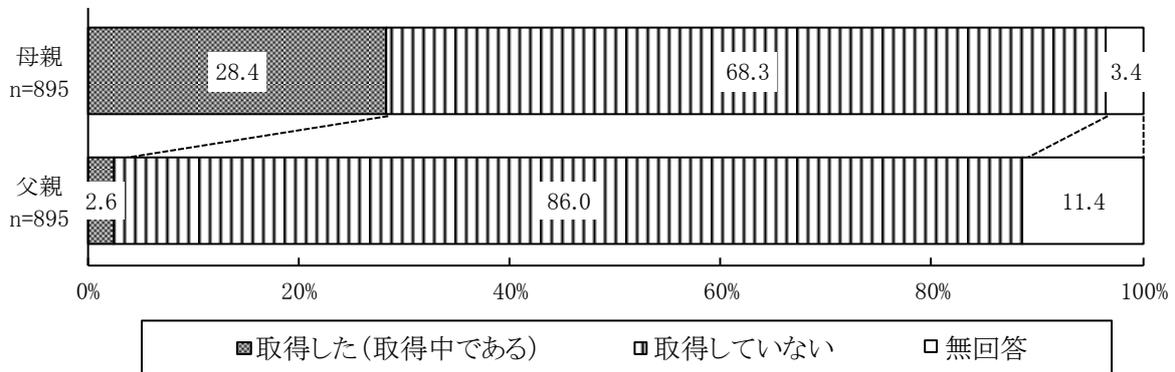
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況・取得していない理由

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、当てはまるものすべてをご記入ください。

①取得状況

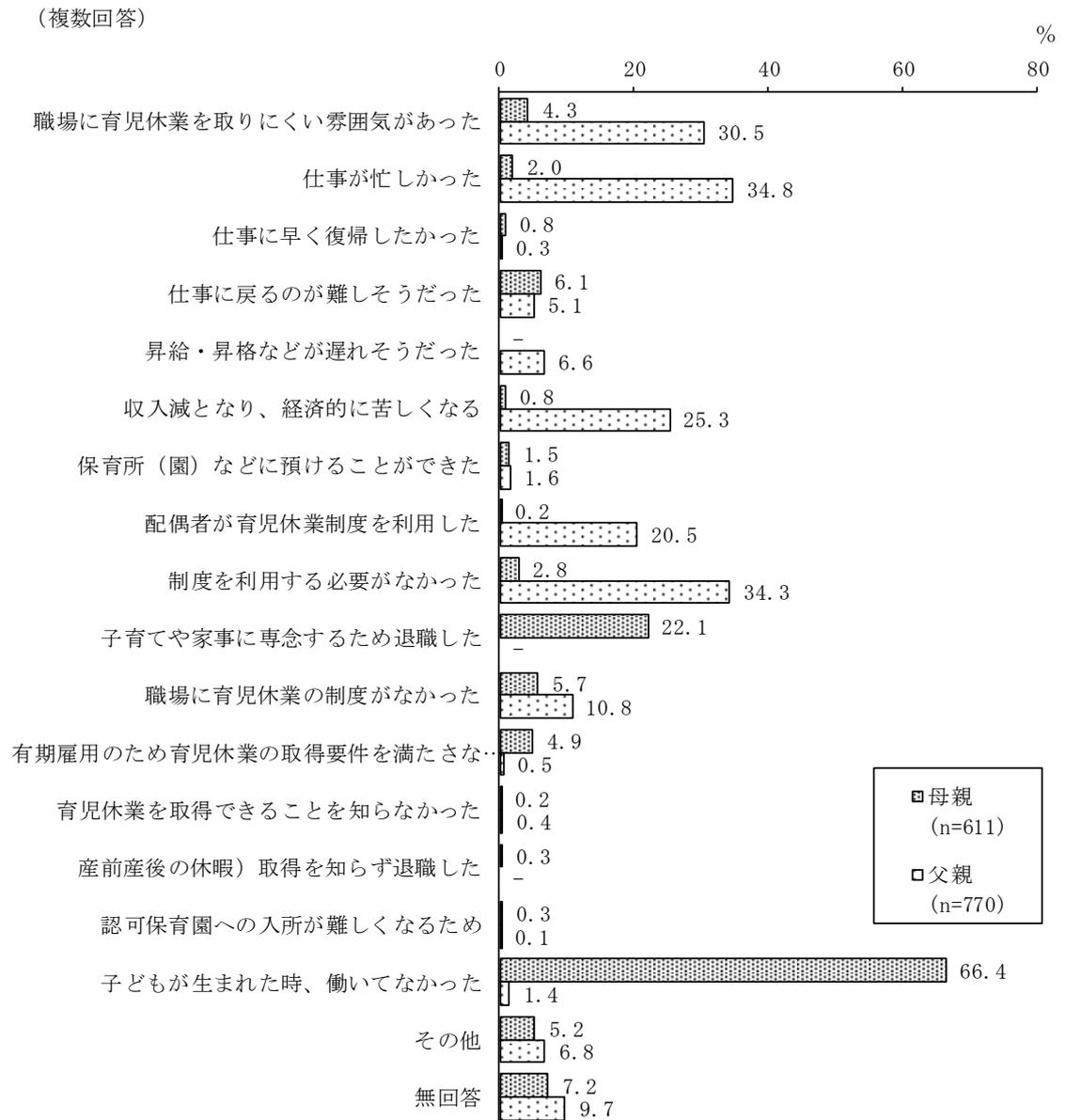
母親では「取得した（取得中である）」が28.4%、「取得していない」が68.3%となっています。父親では「取得した（取得中である）」が2.6%、「取得していない」が86.0%となっています。



②取得していない理由

母親では「子どもが生まれた時、働いてなかった」が最も多く、66.4%となっています。次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が22.1%と続いています。

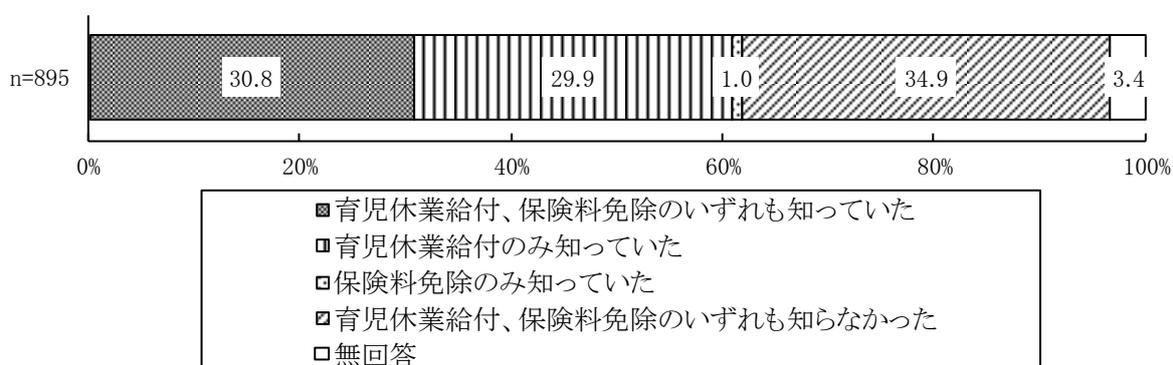
父親では「仕事が忙しかった」が最も多く、34.8%となっています。次いで「配偶者が無職、祖母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が34.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が30.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が25.3%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が20.5%と続いています。



(2) 育児休業給付・保育料免除の認知状況

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が最も多く、34.9%となっています。次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が30.8%、「育児休業給付のみ知っていた」が29.9%、「育児休業給付のみ知っていた」が29.9%と続いています。



(3) 育児休業取得後の職場復帰

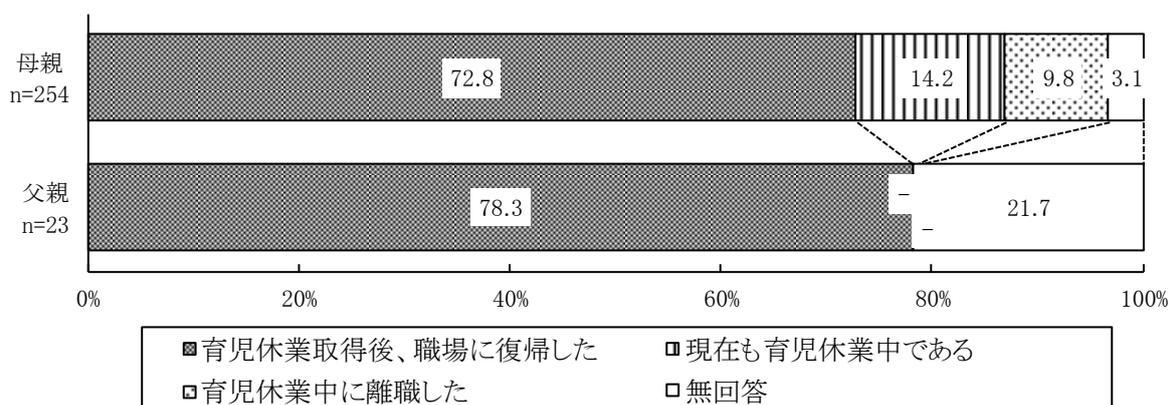
※問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいました。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、72.8%となっています。次いで「現在も育児休業中である」が14.2%、「育児休業中に離職した」が9.8%と続いています。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が78.3%（23人中18人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(4) 職場復帰の時期

※問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

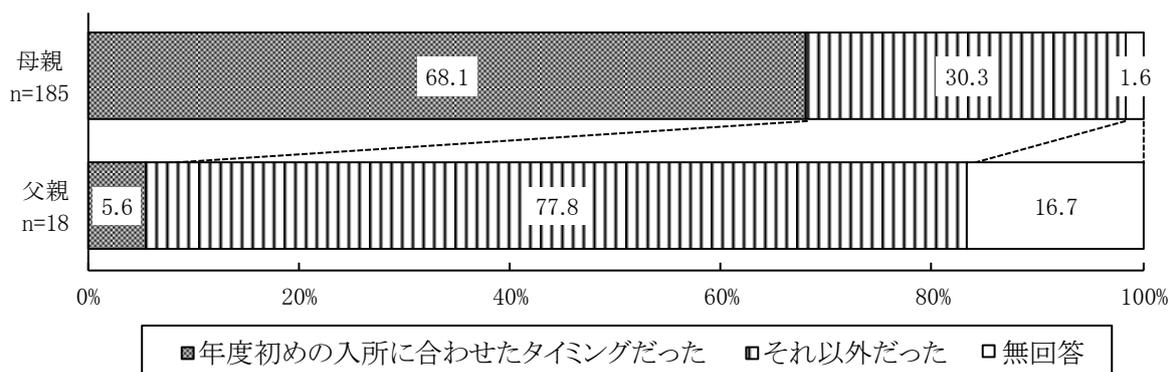
問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1つに○ をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 68.1%、「それ以外だった」が 30.3% となっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 5.6% (18 人中 1 人)、「それ以外だった」が 77.8% (18 人中 14 人) となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(5) 職場復帰時の子どもの年齢と希望時期

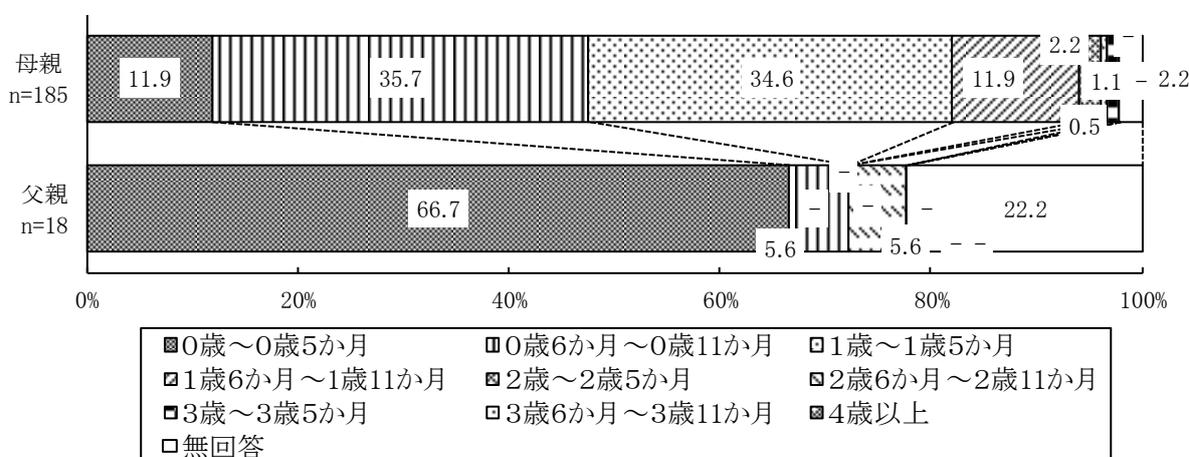
※問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。下線部に数字でご記入ください。

①職場復帰時の子どもの年齢

母親では「0歳6か月～0歳11か月」が最も多く、35.7%となっています。次いで「1歳～1歳5か月」が34.6%、「0歳～0歳5か月」と「1歳6か月～1歳11か月」が11.9%と続いています。父親では「0歳～0歳5か月」が最も多く、66.7%（18人中12人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

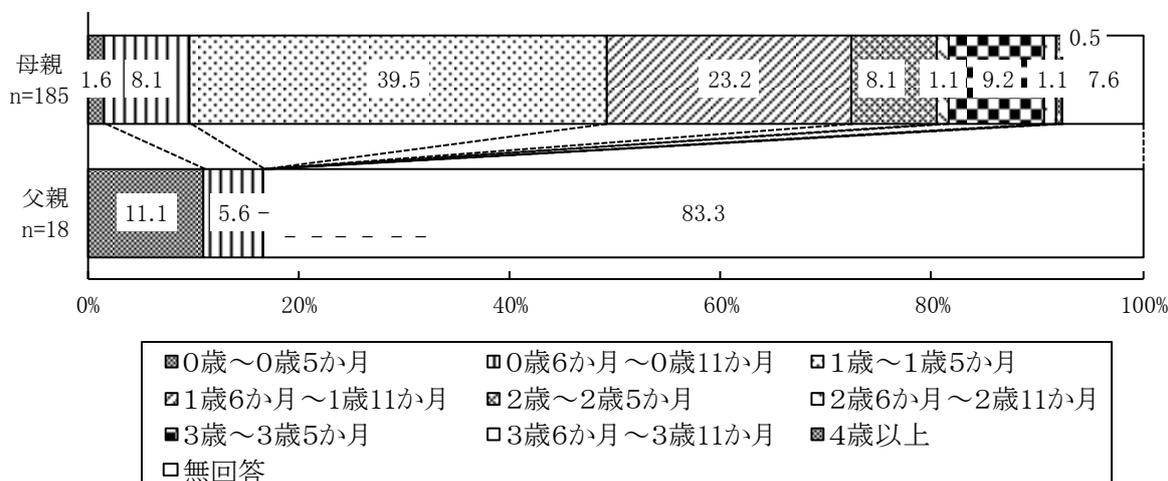


②希望時期

母親では「1歳～1歳5か月」が最も多く、39.5%となっています。次いで「1歳6か月～1歳11か月」が23.2%、「3歳～3歳5か月」が9.2%と続いています。

父親では「0歳～0歳5か月」が最も多く、11.1%（18人中2人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

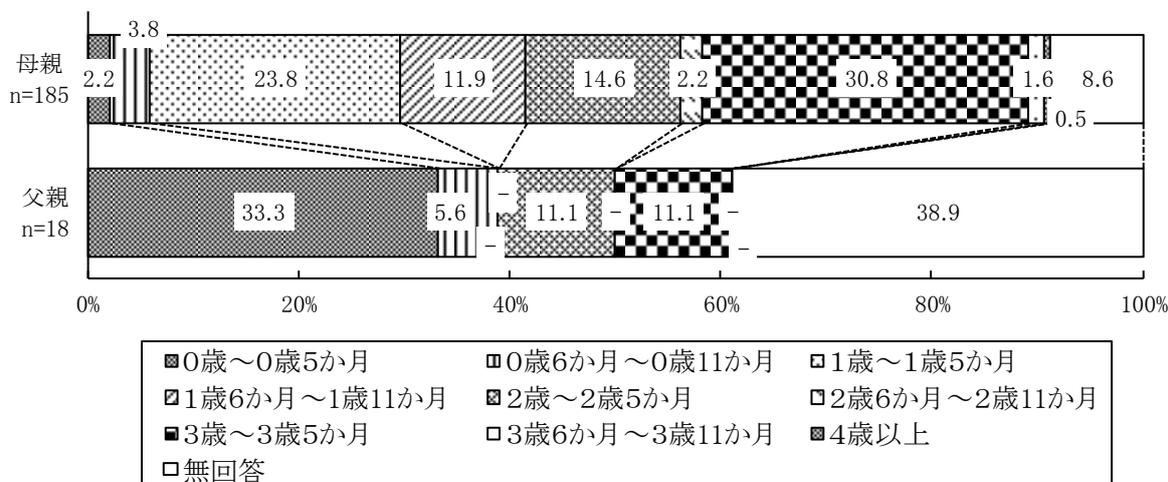
※問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字をご記入ください。

母親では「3歳～3歳5か月」が最も多く、30.8%となっています。次いで「1歳～1歳5か月」が23.8%、「2歳～2歳5か月」が14.6%、「1歳6か月～1歳11か月」が11.9%と続いています。

父親では「0歳～0歳5か月」が最も多く、33.3%（18人中6人）となっています。次いで「2歳～2歳5か月」と「3歳～3歳5か月」が11.1%（18人中2人）と続いています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(7) 希望の時期に職場復帰できなかった理由

※問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいました。

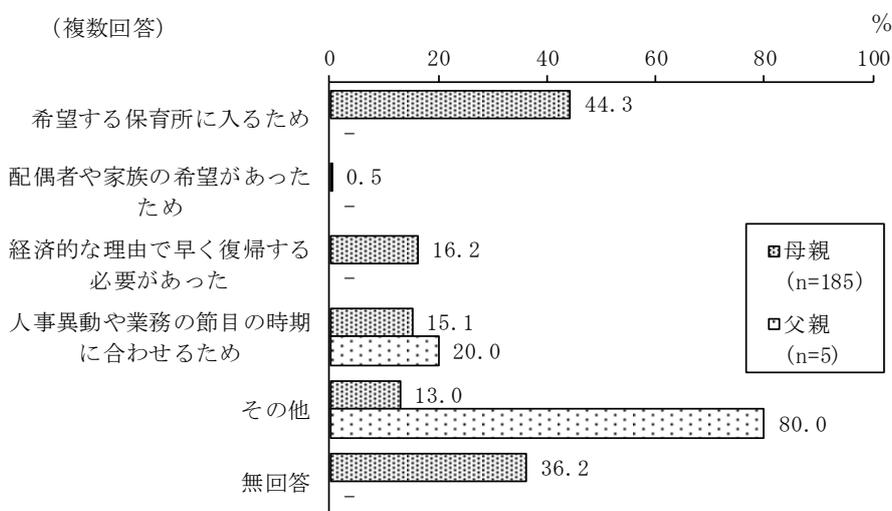
問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①希望より早く復帰した理由

母親では「希望する保育所に入るため」が最も多く、44.3%となっています。次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が16.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が15.1%と続いています。

父親では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が多く、20.0%（5人中1人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

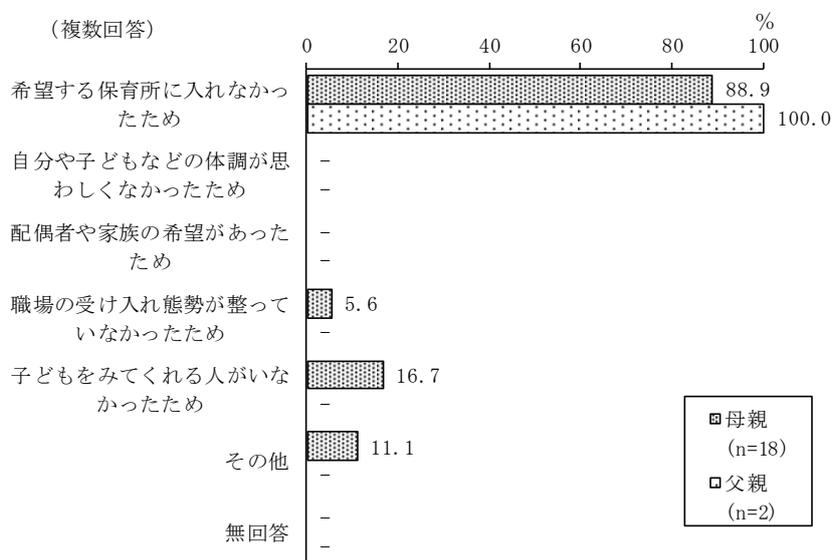


②希望より遅く復帰した理由

母親では「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く、88.9%となっています。次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が16.7%、「職場の受け入れ態勢が整ってなかったため」が5.6%と続いています。

父親では「希望する保育所に入れなかったため」が100.0%（2人中2人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(8) 短時間勤務制度の利用の有無

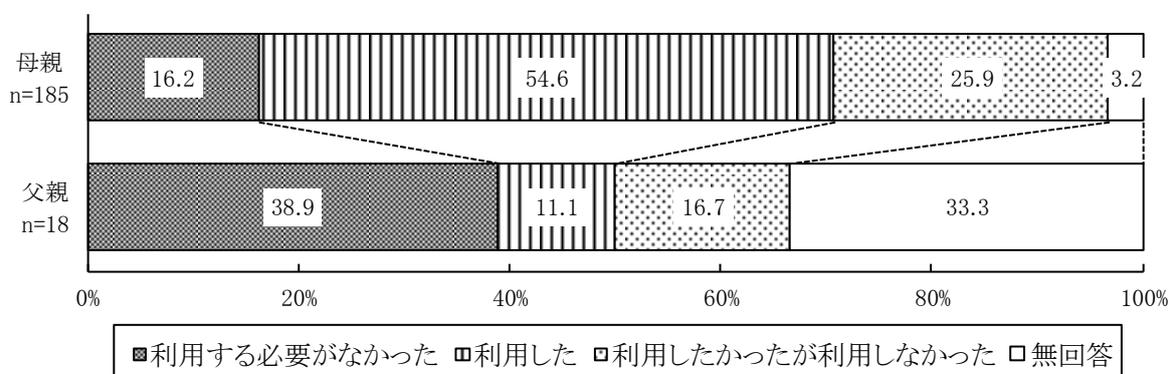
※問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「利用した」が最も多く、54.6%となっています。次いで「利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）」が25.9%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が16.2%と続いています。

父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が最も多く、38.9%（18人中7人）となっています。次いで「利用したかったが利用しなかった（利用できなかった）」が16.7%（18人中3人）、「利用した」が11.1%（18人中2人）と続いています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(9) 短時間勤務制度を利用できなかった理由

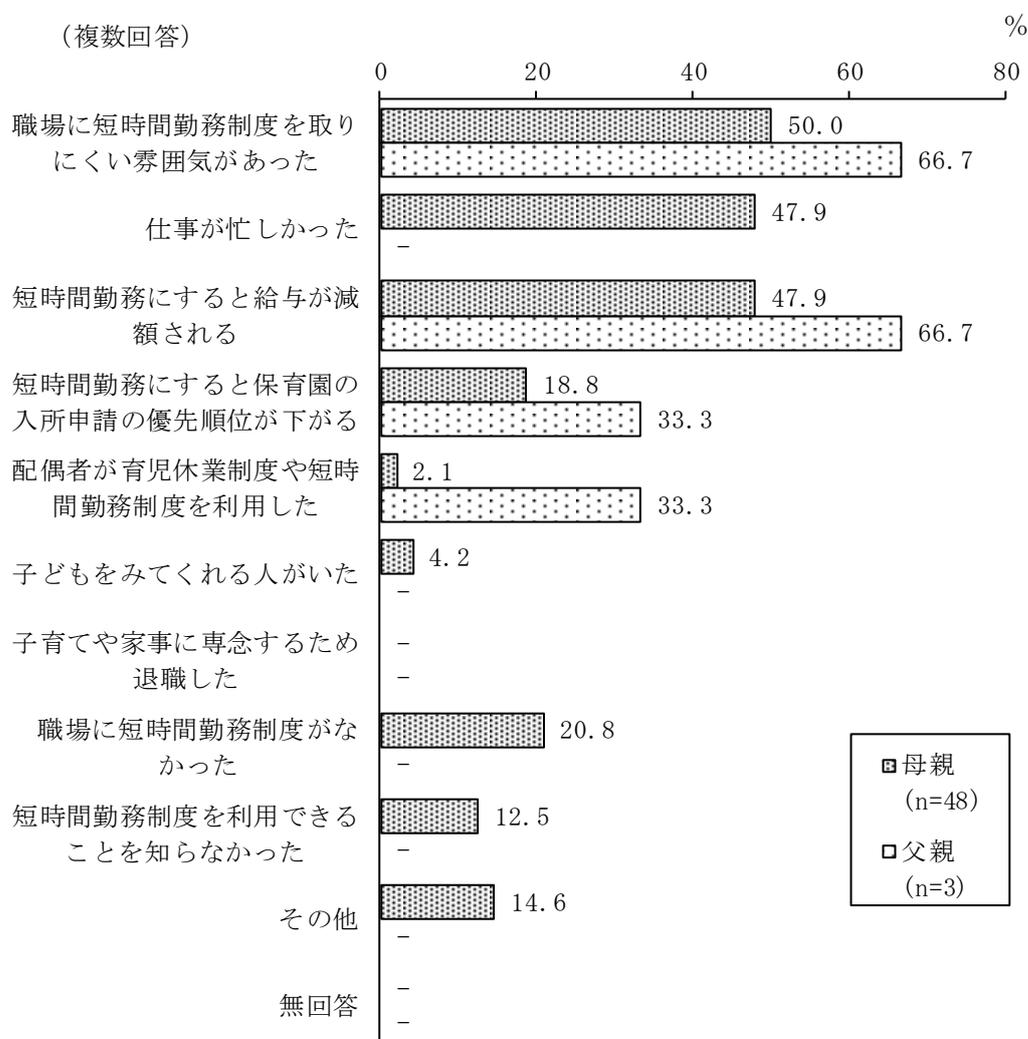
※問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」に○をつけた方にかがいました。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く、50.0%となっています。次いで「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」が 47.9%、「職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」が 20.8%、「短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる」が 18.8%と続いています。

父親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」が最も多く、66.7% (3人中2人) となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



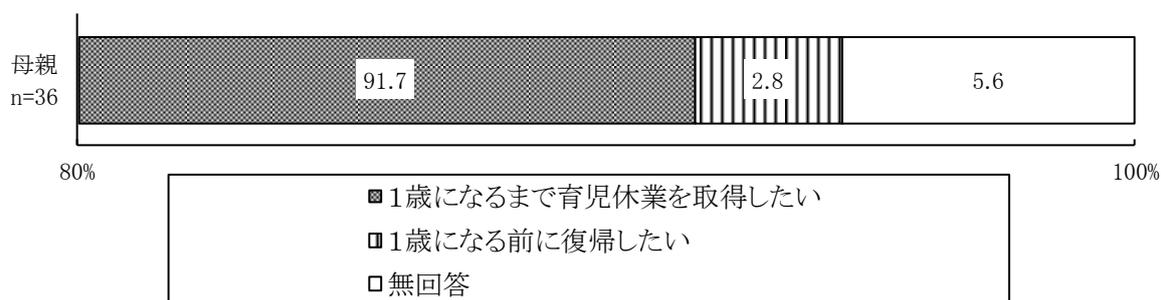
(10) 必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したか

※問30-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいました。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.7%、「1歳になる前に復帰したい」が2.8%となっています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。

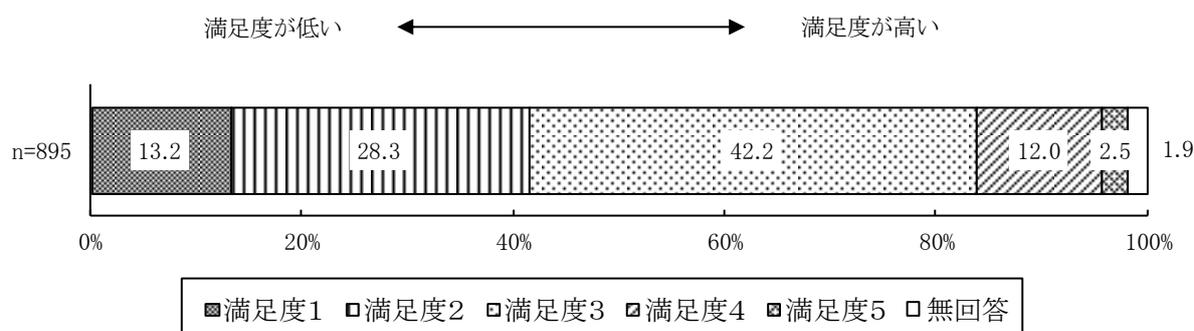


12. 子育て支援への満足度やご意見について

(1) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問31 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

「満足度3」が最も多く、42.2%となっています。次いで「満足度2」が28.3%、「満足度1」が13.2%、「満足度4」が12.0%、「満足度5」が2.5%と続いています。



(2) 自由意見

問 32 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

574 名の方から自由意見が寄せられました。主な意見を掲載します（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

【幼児教育に関する意見】

- ・幼稚園のプレで、預かりがあればいいと思う。幼稚園後、園内でプールや英語等、習い事ができるようになったらいいと思う。長男はそれを希望していたので清瀬の幼稚園へ入園です。夏期休業中も預かりがあり利用したいと思っても遠く利用できません。東久留米にもそのような幼稚園ができたらいいなと思っています。
- ・公立の幼稚園がなく、私立に入園せざるをえない。保育料も制服代など高く、痛い出費となります。
- ・幼稚園の費用が高く、なかなか生活が厳しい状況が続くと思う。二人目がもうそろそろ欲しいとも思うが、やはり経済面のことを考えて躊躇してしまっているのが現状です。働き始めたいという気持ち強いが、延長保育（幼稚園の）も1学年で40名しか利用できないというのも少なく、希望通りに物事が進まないなあと日々感じています。月1万円程でまとまった時間、幼稚園でそのまま預けられるシステムで、人数をもっと増やせるよう頑張してほしいと思います。
- ・私が通わせている幼稚園では、仕事をしているお母さん達が沢山いらっしゃいます。保育園から幼稚園へ移動（転入）した方もいます。保育園の方が長く預かってもらえるし、働きやすいのに、どうして幼稚園にするのかと聞いたところ、教育の面や、お友達同士の関係で、子どものために幼稚園に入園させたとおっしゃっていました。自分は確かに少し働くのに大変なことも増えるけれど、小学校入学前の幼児期の教育もとても大切で、子どものために必要だと考える親が増えているのだと思います。現状では、私立幼稚園の月に払う金額が高すぎると思います。保育園よりはるかに高いです。2人兄弟通わせていますが、本当にきついです。保育園ばかりに目を向けるのではなく、幼稚園にも充実させて頂きたいところが沢山あります。保育園を増やすのも大切ですが、保育園的な機能をもつ幼稚園をもっと増やして、支払う金額も少なくなれば、保育所を増やさなくても子育ての環境は充実していくのではないかなと思います。

【保育に関する意見】

- ・フルタイムで両親が働いている中、3年育休の制度があるうち1年10ヵ月で復帰した。1才児で入れず、2年も無認可に預けた。3才児クラスからやっと認可園に入れた。次の子の出産を控え、その子の保育園入所を考えると今から心配。大きな拡充を望む。
- ・働く親を支えるための施設、保育園等の充実が望まれます。様々な家庭の状況はあるのですが、働く環境がととのえられれば、市の経済の活性化につながるのですから、待機児0を成しとげた行政の例などを参考に、保育施設拡充が必須と思われま。働きたいという思いを抱えながら働けないという状況は、主に子育て中の女性に多いと思います。女性の社会進出がすすむことは、市民一人一人が自分らしい暮らしを送ることもつながります。子育て支援の具体策を行う企業には何らかの優遇がなされる、など、「東久留米市」ならではの独自の政策があってもよいのではないのでしょうか。市をあげてのポジティブアクション、行政では行われはじめていますが、民間にもその輪が広がることを期待しています。

- ・現在、待機児童になっているのですが、12月の新年度の保育所の入所申請では、4月入所ができない早生まれ（1～3月）の児童は、定員の空き待ちを余儀なくされます。定員は4月入所出来る児童でいっぱいになってしまうので、早生まれは、不利です。早生まれ分の定員の確保をしておく等の配慮があっても良いのではないかと思います。
- ・日頃は市立の保育園でお世話になっております。先生方には必ずしも一定ではない家庭の状況や、子供の体調にもお気遣い頂き柔軟に対応を下さっています。東久留米市での子育ての良い所は、個々の先生方の経験に基づいた保育だと思っています。園舎の古さに対する不安は先生方との関わりですぐにぬぐえました。
- ・保育園については、とても子どもひとりひとりについて理解し、ていねいに対応してくれてよいと思っています。ただ、終業時間が（お迎えが）18時半までだと夫婦2人とも間に合わず、上の子は夫がいったんお迎えし、母が帰るとバトンタッチして仕事に戻ることもしばしばです。延長がある園はわずかなので入園の倍率が高く、現実的ではありません。入れないとそれこそ困るので泣く泣く延長のない園に通っています。待機児解消が大きくかかげられ、それは大事なことだと思いますが、就業形態により広く選べる保育をと願うばかりです。
- ・保育園に入れないので、働く事ができない。働いていないと、保育園に入れないし、保育園に入れないと就職への行動もできない。入れる所は高い（金額）。増やす事はできないのでしょうか？
- ・2人目現在1歳1ヶ月。職場復帰希望ですが、保育園がなく、困っています。認可保育園以外の認証保育園や家庭福祉員も定員オーバー。そして東久留米は認可外施設に預けた場合の補助もなく、認可に預けた場合より、保育料の負担が大きいです。1歳で復帰して働くというスタイルが多くなっているため、1歳・2歳で預けることができる大型施設を希望します。

【時間外保育に関する意見】

- ・保育園は朝早くから、夕方遅くまで預かってくれているので、共働きの我が家では本当に助かっています。しかし、時短勤務が終了すると、都内から帰宅するのが夜7時ぐらいになり、学童も6時までなので心配です。小学校の学童保育がもう少し遅くまでになれば…というのが希望です。また夏休み等の長期休み、小学校4年生からは、学童もないので心配です。学童保育の充実を願います。時間延長、学年延長（長期休みだけでも…）。よろしく願います。
- ・近所に通勤している方ばかりではないので、延長保育を19時まで行って頂けると、育休後の復職もしやすく、子どもを出産する方も増加するのではないかと思います。また、共働きの方々の、父親が土曜も出勤のご家庭の方の用事をすませるためや、共働きでなくとも、夫婦で二人の時間を取るため、土・日の一時保育があると助かると思います。保育園では正規の職員が不足しているので、先生方と保護者との交流時間（コミュニケーション時間）が減ってきており、誤解が生じることも増えているので、是非正規職員数を元に戻して頂きたいです。充実した子育て環境を提供することで、若い世代を呼び込み、今後もますます発展した東久留米になってほしいです。
- ・現在、保育園の延長時間が平日18:30、土曜18:00なのですが、もう少し遅くまでやっていると、働いている人達は助かるのではないかと思います。実際、私は現在育短を使っているのですが、フルタイムに戻ると間に合わず、ファミサポなどの利用も考えていますが、やはり慣れている保育園で子どもを見てもらう方が安心です。保育園によっては遅くまでやっている所もありますが、通勤のことなどを考えると、選択肢も少なくなり…。今回、このような調査が今後の保育環境の充実につながることを期待しています。

【学童保育に関する意見】

- ・保育園では、7時～19時まで保育してもらえたが、学校に行くと学童の保育時間が8:15～18:00と短時間。子供を1人で自宅に置くか、サポートを依頼するしかないが、朝は短時間なので、利用しにくい。また、毎日依頼すると負担が大きい。4年以降の学童保育がなくなり、不安。都内では、放課後児童教室など、就労してない場合でも保育をしてくれる環境が整っているのでは、同じようなサービスが受けられると良いと思う。
- ・下の子の出産後、職場への復帰を考えていたが、上の子が小学生になり、学童の時間が短く、またなかなか入れない等により、復帰をあきらめた。職場の時短制度、学童保育の時間の延長等を充実させれば、仕事と育児を両立しやすい環境になるのでは、と思います。
- ・小学生の長期休暇（夏休みなど）の時だけ預かってもらえる事業があると助かる。パートで働いている人は、学校がある日は問題なく働けても、夏休みなどになると子供をどうするか困っている。高学年なら留守番させられるかもしれないが、低・中学年は心配。
- ・学童保育の延長を20時か19時くらいまでにしてほしい。18時までだとフルタイムで働くのが難しい。また、土曜も延長してほしい。祝日も実施してもらえると有難い。そして、6年生まで預かってほしい。
- ・保育園がおおむね18:30まで、中には20:00までの預かりを実施しているのに学童保育所が18:15までしか保育をしてくれないと聞き、今から心配です。18:15に暗くなってから、女兒ひとりで帰宅しろということ？朝も学童が開くまで車道沿いで待っている子供たちを見かけますが、せめて学校の敷地に入れてあげてほしいです。不審者情報なども時々出ているのに、小学生になったら十分な保育が提供されないことを知り、仕事を続けられるのか不安です。
- ・府中市の様に学童保育以外で、登録しなくても気軽に長期休暇（夏、冬、春休み）に、自分の通う小学校で、子供を預かるシステムがあってほしい。府中市では、昼は一旦帰り、自宅で食べるというシステムだが、東久留米市はそこを改善して昼も弁当持参OKでみてほしい。やはり、働く母親が多く、長期休みの時非常にこまっている人がたくさんいる。夏休みなど母親が仕事（パート）父も仕事となると子供だけで家にいる家庭がとても多いので、安心して親子共々長期休みをすごせる様にしてほしい。夏休みのみの預かりの場合、お金が多少かかっても良いと思う。預かる方は地域のシルバーさんやボランティアでもいいし、学校で見てもらうという方法がベストだと思う。朝早くから仕事に出る事もあるので、その辺も改善して下さい。6時～預かり可など。
- ・現在、幼稚園は延長保育があり、利用出来ますが、小学校に入学するなり働いていない親は預ける先がなくなります。用事がある時に預けたいニーズは多いと思います。学童保育所に一時預かりの様なシステムを作る等の対策を考えて頂きたいと思います。

【乳幼児家庭全戸訪問に関する意見】

- ・産後訪問や4ヶ月健診の際は助産師さんが親身に相談に乗ってくれた。
- ・新生児訪問等で大変お世話になりました。その後もいろいろな不安に対して電話や育児相談等で対応していただき、とても助けていただきました。ありがとうございました。

【地域子育て支援拠点に関する意見】

- ・1人目の時は児童館やわくわくをたくさん利用させていただきました。たくさん友人ができ、相談もでき、今でも利用してよかったと思っています。
- ・子育て支援センターや児童館を利用する際、自宅から遠いこともあり車を利用するのですが、駐車

場がなく利用したくても出来ない場所もあるので、駐車スペースを作ってくれると今まで以上に利用しやすくなると思います。子どもの支援ですが、0才児までは色々とサポートしてくれると思うが、1才児になると広場的なものがなくなり、体重測定などもなくなってしまうので、行ってけるとありがたい。他の市の子育て支援センターでは手形・足形もとってくれるので、東久留米市でもやって欲しい。

- ・仕方のないことですが、現在住んでいるところから児童館が遠いので、行きにくいです。もう一つぐらいあると思います。市の会報でいろいろイベントがあるのをみるのですが、遠いので、あきらめがちになってしまいます。
- ・第1子を出産して、初めての事だらけで不安な毎日を送っていました。助産師さんや健康プラザ内の乳児の集まりなどで不安を打ち明ける事ができ、大変助かりました。地域の方々が声をかけて下さるので、安心して子育てできる環境だと思います。
- ・近くに上の原の支援センターがありますが、ただ行って遊ぶだけなので、いつもイベントや行事製作などをやっている、清瀬や新座の児童館や支援センターに行っています。もう少し施設の運営内容を変えればみなさん集まるのではないかと思います。せつかくきれいな支援センターができたのにもったいない。
- ・幼稚園に通っている子達の（平日）15時～17時位の「つどい」（児童館で）のようなものをしてもらいたい。園から15時位に帰宅してからダラダラしがちなので。知っているのは「おはなし会」のみ。六仙公園にもっと遊具を増やしてほしい（これから増える予定はあるのか…）。犬の散歩ばかりであまりきれいに感じない（椅子におしっこ、芝にフンなど）。
- ・くぬぎ児童館の幼児のつどいに毎週参加していますが、職員の方のアイデアがすばらしく、毎回親子共に楽しませてもらってます。閉館してしまうとのことで、非常に残念ですが、来年からは滝山児童館に通う予定です。しかし、（つどいが）隔週なうえに、くぬぎに比べてしまうと内容がいまいちなので、もう少し内容、日数を充実させてほしいです。2・3才児の働いていない母親は児童館等のイベントでお友達ができたりストレスを発散させている部分もあると思います。10小のなかよし広場にも時々参加させてもらっていますが、わくわくの職員の方が手作りのおみやげをくださって、娘は大喜びで、毎回楽しみにしています。ありがとうございます。

【一時預かりに関する意見】

- ・預かり保育ができる施設をもっと増やして欲しい。就労できても預かり先がないと結局働けなくなる。預かり保育の時間の拡大をして欲しい（週3日、9-17時まででは短すぎ）。預かり保育ができる保育園があっても、利用日の1ヵ月前から予約しなくてはならず、更に電話もつながらず、ほぼ予約不可能な所ばかり。→これでは、固定の就労は難しい。
- ・保育園での一時保育の枠が少ない。そして預ける理由を問わないとはいえ、就労のために利用されている方で埋まっているようで、それが不満。就労中の方が大変なのは分かるが、専業でもとても大変。逆に、就労していない分、預けることにも精神的負担がある。そのことから、就労以外での一時保育枠を拡充していただきたい。もしくは、就労中の方の保育料を拡充していただきたい。
- ・夫と私の実家が遠いこともあり、子供が学校や幼稚園に行っている間しか気軽に出かけたり、用事を済ませることができません。特に小学生は、親が働いていないと学童の利用もできませんし。小学生の一時預かりなどあれば大変助かります。
- ・以前は保育園の一時保育をよく利用していた。他の兄弟の用事で預ける事ができて大変よかった。あと自分のリフレッシュも大事だと思うので、とても良かったです。幼稚園も延長保育や夏休みなどの長期の休みのときも預かり保育があるが、小学校入ってからの方が心配だ。まだ低学年だと一

人で留守番はさせられないので困る。

- ・母親が体調不良のとき、金銭的にあまり気にかけることもなく、子供を安心して預ける先があるといい。
- ・一時保育できる保育園は何ヶ所かありますが、実際は1軒くらいしかすぐに預けられる施設がありません。いっぱいだったり、何日か前に連絡を入れないとだめなものなど。家から遠いなど使いたくても使えない人も結構います。しおんのはこぶね館では一時保育を利用できるみたいで、ありがたく思っています。今度利用してみようと思っているところです。

【病児保育に関する意見】

- ・病児保育を充実させてほしい。保育園、幼稚園、小学校の近くに併設してほしい（利用する対象者を考えると便利だと思います）。新川町など駅周辺に住んでいると、現在の市内の病児保育は利便性が良くなく利用したいと思いません。清瀬市の病児保育に登録していますが、市外だと利用料が高く、また預かり時間が短く、仕事に遅刻・早退をしなければならなくなり、結局なかなか利用できる機会がありません。その点を考慮した施設を希望します。
- ・私は昨年から、パートで働きはじめましたが、子供が病気の時が、一番困っています。「めぐのへや」の存在に助けられています（先生方もとても良くして下さいます）が、9:00～との事で、仕事を遅刻せねばなりません。専門職の為、代わりの人を立てないと休むことが（遅刻）できず（朝の1時間だけでも）その点でとても苦勞しております。もう少し早い時間から預ける事ができたら本当にありがたいです。両親は遠方であったり、高齢であったり、なかなか頼れません。仲の良い友人はいますが、丸一日子供を預けるとなると、ご迷惑になるのでは…と頼む事もできません（ましてや病気となると…）。
- ・東久留米市の病児保育は定員4名で市中の一ヶ所にしか施設がない為、遠くて車のない我が家は全く利用できなかった。病児シッターの派遣のサポートや、せめて病児保育施設の定員を増やす、他地域に拠点を設ける、等の対策は欲しい。結局別居の夫の両親に見てもらったりしたが、高齢で負担になってきている事や、子供の病気が伝染してしまう等のこともあり負担をかけていて、心苦しく思いつつも、仕事も簡単には休めないなので、お世話をお願いしている状態。何とかありませんか。

【子育て援助活動支援に関する意見】

- ・H25.4に引っ越してきたので、あまり周囲のことを知らないのですが、近所に子どもセンターひばり、ひばり保育園などがあり、心強く感じています（一時保育がとてもいい）。まだファミサポなどの利用はありませんが、今後もサポーターが近くにいてくれたら大変ありがたいと思います。幼稚園の質がやや低いように感じております（私立なので仕方がないかな？）。子どもセンターひばりはとてもよい施設だと思います（民営化されているのかな？）。とても楽しく利用させてもらっています。私自身は利用することが少ないかと思いますが、病児保育はもっと数が多いとありがたいと思います。小児科が併設してくれるとなお安心だと思います。また、私自身もファミサポに会員として登録したいと考えています。近所に沢山の協力できる人が増えることを願っています。
- ・ファミリーサポートさんの送迎サービスを利用しようかと思いましたが、講習会のようなものに出て、面接の上登録となり、手続きがわずらわしく、もっと簡単にできないものかと思いました。子供がまだ小さいので、長時間講習をうけるのは苦痛です。
- ・ファミリーサポートの登録をするにも、平日日中しか説明会が開催されていないので、そのために仕事を休まなくてはならず不便。改善を希望します。

【相談支援・情報提供に関する意見】

- ・子育てに関してまとめた広報紙が欲しい。気軽に読めて、情報をさらりと入手できるもの。堅苦しいものではなく、月1回とかで雑誌のような感じで。
- ・私の子供は1才10ヶ月になります。もう立って歩いて、お話もできる年齢ですが、まだお話すらできません。市の発達健診でリハビリをしたほうがいいという事で、武蔵村山の病院を紹介頂き、3ヶ月先まで診察ができないという事で、近くにそういう所がないかうかがったところ、週1回でわかき学園の外来で訓練して頂けるというお話をいただいて、とても助かりました。通園している保育園でもすばやく対処して頂き、ありがたいなと思っています。
- ・子育てセミナーをもっと頻繁に開催して欲しい。対象月齢が狭いのになにしか開催されないものはよく逃がしてしまう（歯っぴーベイビーなど）。ウェブで子育て支援関係や児童館の情報をもっと流して欲しい。先日児童館に行ったら急に休みだったことがあった（10月19日、中央児童館）。行く前にWEB上で休みかどうか簡単にチェックできると助かる。私は他県から引っ越して来たのですが、引っ越し（転入）して来た人に対する支援がほとんどなかったのでもろろ自力で調べました。転入者に対するサポートはもっとあっていいと思う（有料の子育てガイドブックも知らなかった）。
- ・子育てに対する制度の説明が少ない、足りない。特に市民側が得をする制度等の情報や説明、また、手続きの手間が大きい。書類や必要書類。市民が得をする情報等を産院など必要とされる場所に分かり易く示してほしい。
- ・子育てはゼロからのスタートなので、色々なサポートなどの説明がもっと詳細にあるといいと思います。子育てをしながら、調べていくことが難しかったり、わからないことが多いので、一覧できるものが出産時、手元にあたりすると嬉しく思います。引っ越してきたので、上記の事を思っているのかもしれませんが、様々なサポートや、身近な施設が多くあると安心します。又、隣の市内の情報もあると嬉しいです（病院や施設など）。

【その他の意見】

- ・わくわく子育て支援センターでしか行っていませんが、引っ越ししたばかりで3歳と0歳の子どもがいて、しかも駐車場が少ない為、公共の交通期間か自転車を使って利用してほしいとの事で、非常に便利が悪いと思った…遠すぎる！下の子がいて一人で沢山の荷物を持ってバスとかに乗るのは大変だと思う。
- ・良い点…1. 手当（子）（乳）などもらえること。2. 小学校にSC（スクール・カウンセラー）が配置されたこと。3. 小・中学校が近くにあること。改善してほしい点…1. 子育て施設は全て遠く、東久留米市のものは使っていない。児童センター、図書館など全て清瀬市。小山には公民館すらないのは何故かと思う。2. 公園・子どもの遊び場所が減らされている。小山五丁目に森があり以前はボール遊びなどできましたが、現在は歩道部分に杭が打たれて遊べなくなった。3. 上の子の学校行事に、下の子（乳幼児）を連れて行ける配慮を学校側にして欲しい。運動会などは学校の滞在時間が長いので、屋内の休憩場所を増やして欲しい。4. 小・中学校のメール連絡網の導入を希望。下の子がいると電話に出られないし、邪魔されて、落ち着いて話もできない。不在家庭も多い。各学校任せにしないで、市で導入して欲しい。
- ・子供たちが遊ぶ場所（公園）が草がのびたままだったり、木には毛虫がいっぱいいたり、タバコ等のゴミも落ちていたり汚い。安心して遊ばせることが出来ません。不審者が多くいるので、外にいる時も心配です。日常的に学校開放して小学生が安心して過ごせる場所を作ってほしい。東久留米は川の水がキレイと聞いていますが、水辺で小さな子供があそべるところもなく、あそび保育園

の近く川も草だらけで、ヘビが出そうな感じがして恐ろしいです。

- 公園（遊具のある）が少ない（八幡町、中央町）。歩道が狭かったり、なかったりと、危ない。特に前沢宿の交差点から駅の方に向かう道路が途中で歩道がなくなっている。トラックやバスが多数行き来しているのにも関わらず、第一小学校の通学路になっている。安全が確かでないのに、通学路になっているのもおかしいし、それを放置している行政にも不安を感じる。東久留米市内全てに「禁煙区域」に指定してほしい。
- 他の自治体のように、中学生まで、医療費が無料になってほしいです。予防接種で（ヒブ・肺炎球菌など）お金がかかるので、無料になるのが理想です。また、水ぼうそう、おたふくなどは任意接種ですが、ほとんどの子が接種しています。我が家は、上の子（長男）がダウン症なのですが、水ぼうそう、おたふくなどは重症化しやすいので、接種するよう言われています。そういった子どもたちには、助成などがあるとありがたいです。
- 横浜市から転勤で引っ越してきました。前の地域に比べ、とても育児がしやすい環境だと実感しています。親子で参加できる無料の体操や習い事も多いし、人々もみんな協力的で優しく、とても助かっています。何かとお金がかかるので、とにかく色々な助成は増やしてもらいたいです。直接、お金をもらえるシステムじゃなくても、無料で色々なことができると本当に助かります。よろしく願います。それと、南町の所沢街道に歩道がなく、渡るのが、とてもとても困難で困っています。子供も多い地域なのに、あんなに危険なのに、どうしてほったらかしなのか信じられません!!!大きなトラックが通ることも多いし、イオンも出来て交通量も増えました。早急に対処願いたいです。
- 私は、ひとり親として一児の育児をしています。他の市区町村の知り合い（ひとり親）の仲間同志情報のやりとりがありますが、給付や、子育て支援の環境は、東久留米はとてもすばらしく、有難いと日々感じております。今は、子供が小さいので、子供を優先の勤務をしています。就学を機にフルタイムでの就業も考えている中、東久留米市民としてとても心強く思います。

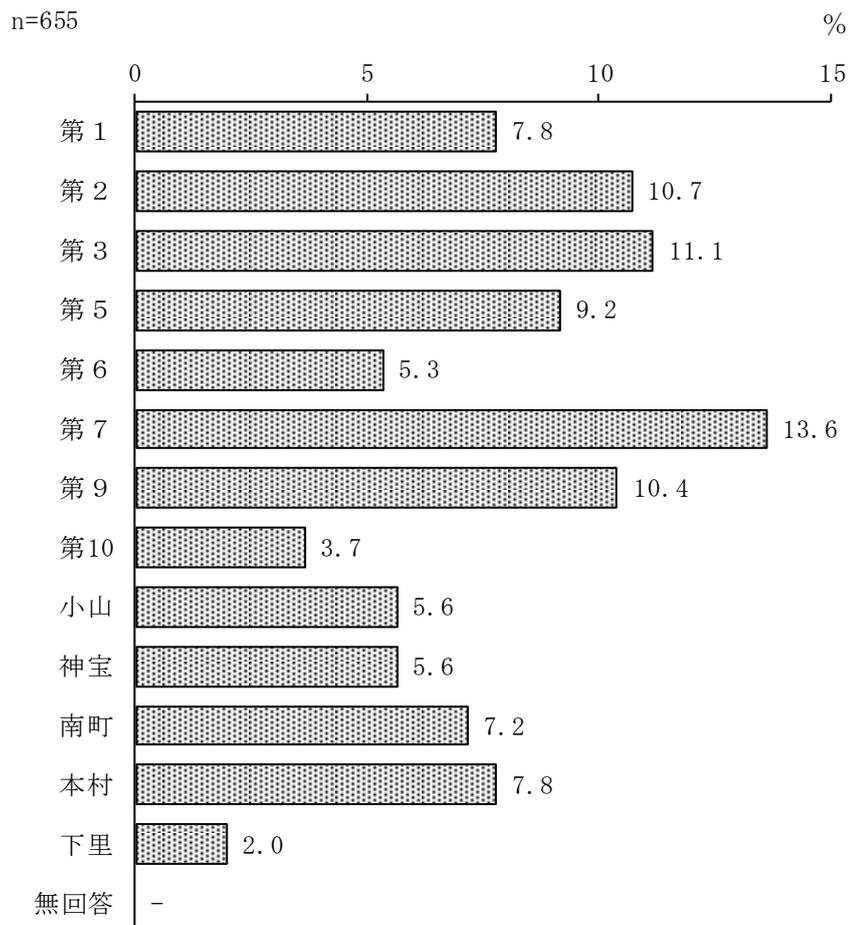
Ⅲ. 就学児童（小学校2年生） 調査の結果

1. お住まいの地域

(1) 通っている小学校

問1 お子さんが通っている学校名をご記入ください。

「第7」が最も多く、13.6%となっています。次いで「第3」が11.1%、「第2」が10.7%、「第9」が10.4%と続いています。



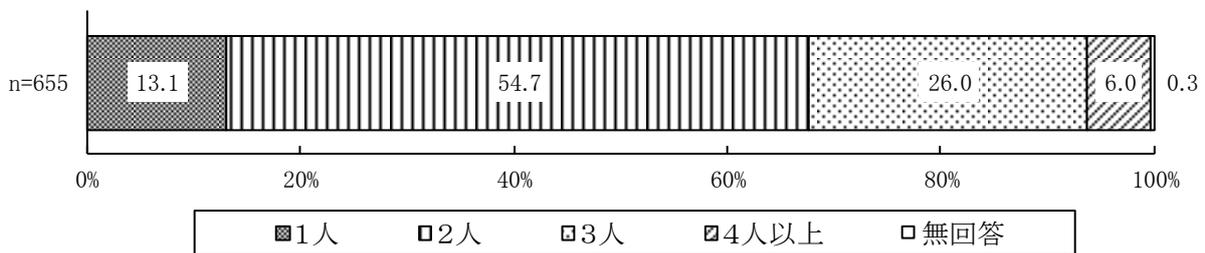
2. お子さんご家族の状況について

(2) きょうだいの数・末子の年齢

問2 小学2年生のお子さんは何人きょうだいですか。小学2年生のお子さんを含まれた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

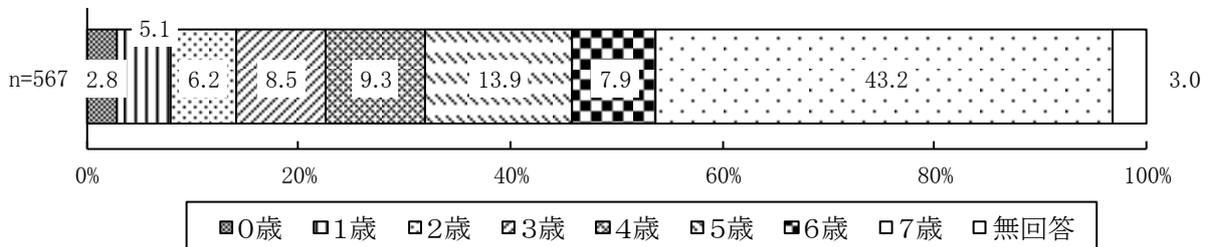
①きょうだいの数

「2人」が最も多く、54.7%となっています。次いで「3人」が26.0%、「1人」が13.1%、「4人以上」が6.0%と続いています。



②末子の年齢

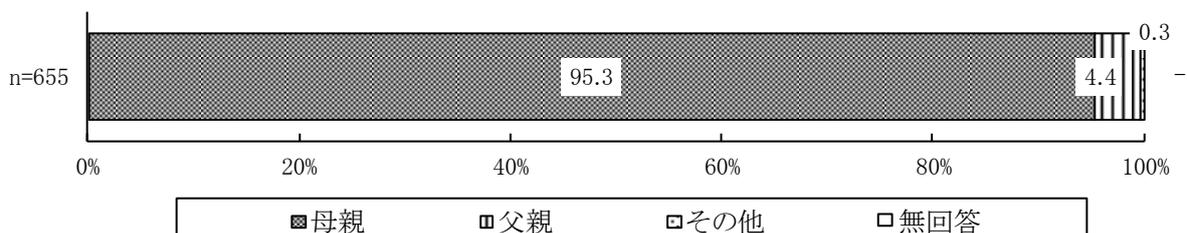
「7歳」が最も多く、43.2%となっています。次いで「5歳」が13.9%、「4歳」が9.3%、「3歳」が8.5%、「6歳」が7.9%と続いています。



(3) 調査票の回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。小学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

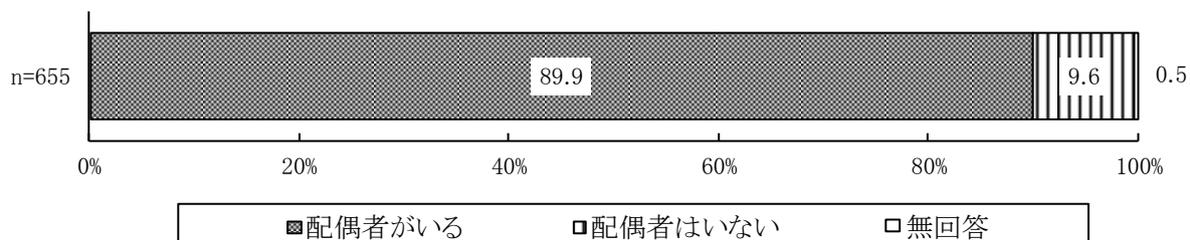
「母親」が95.3%、「父親」が4.4%となっています。



(4) 調査票の回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

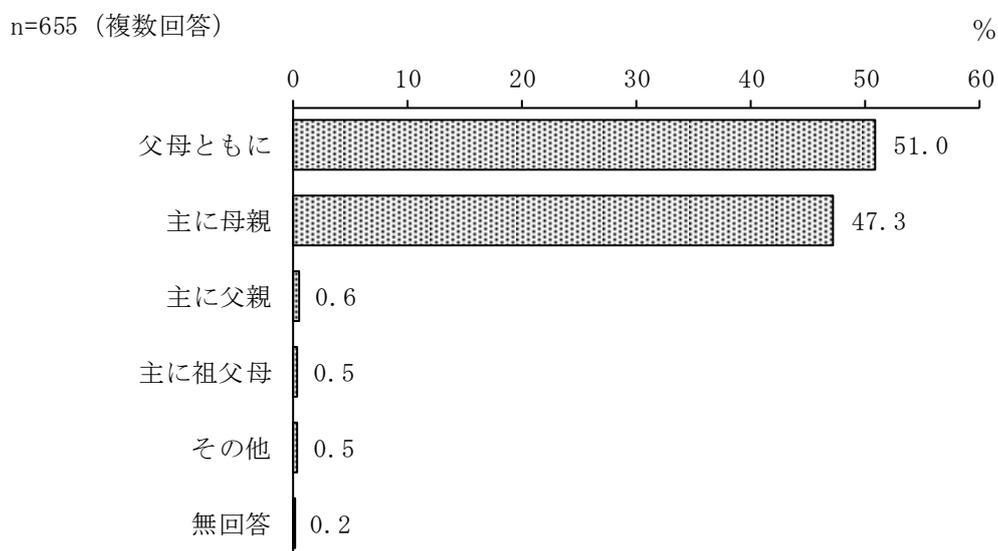
「配偶者がいる」が89.9%、「配偶者はいない」が9.6%となっています。



(5) 子育てを主に行っている人

問5 小学2年生のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、51.0%となっています。次いで「主に母親」が47.3%と続いています。



3. 保護者の働き方について

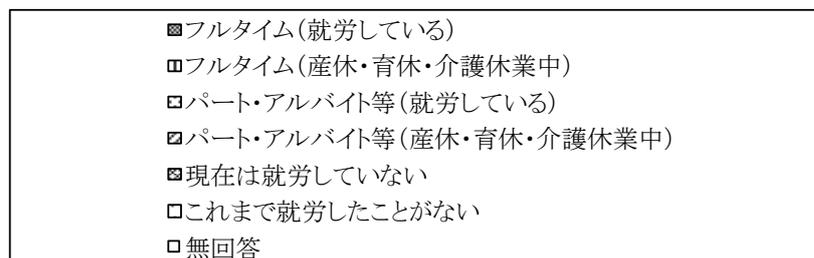
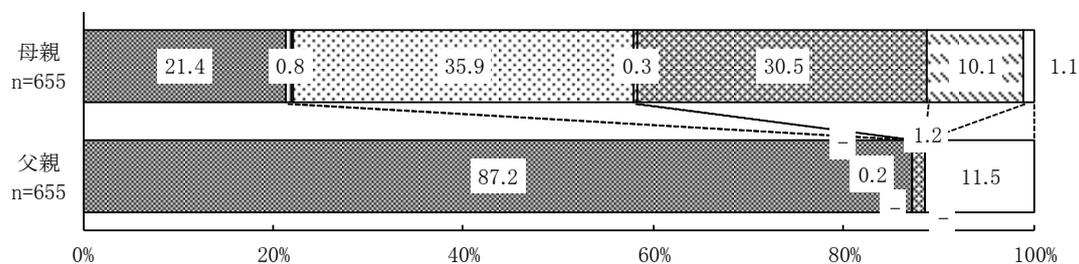
(1) 保護者の就労状況

① 就労状況

問6 小学2年生のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等で就労している」が最も多く、35.9%となっています。次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.5%、「フルタイムで就労している」が21.4%、「これまで就労したことがない」が10.1%と続いています。

父親では「フルタイムで就労している」が最も多く、87.2%となっています。



②就労日数・就労時間

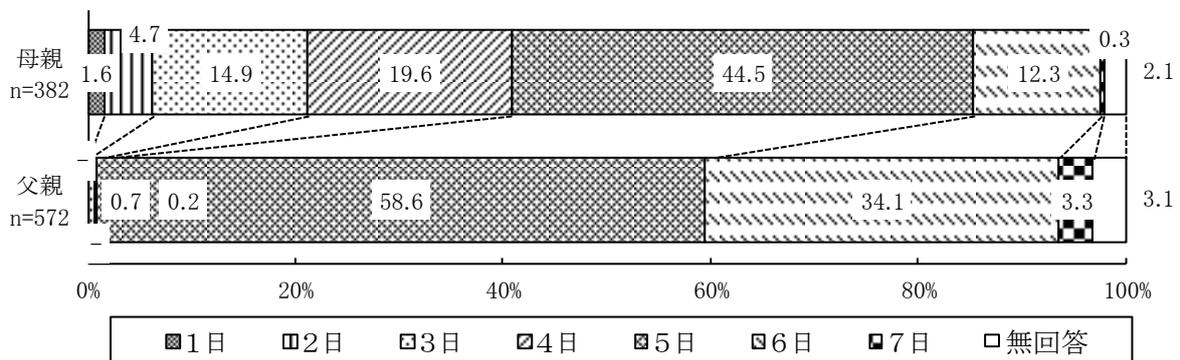
※問6で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

問6-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【1週当たりの就労日数】

母親では「5日」が最も多く、44.5%となっています。次いで「4日」が19.6%、「3日」が14.9%、「6日」が12.3%と続いています。

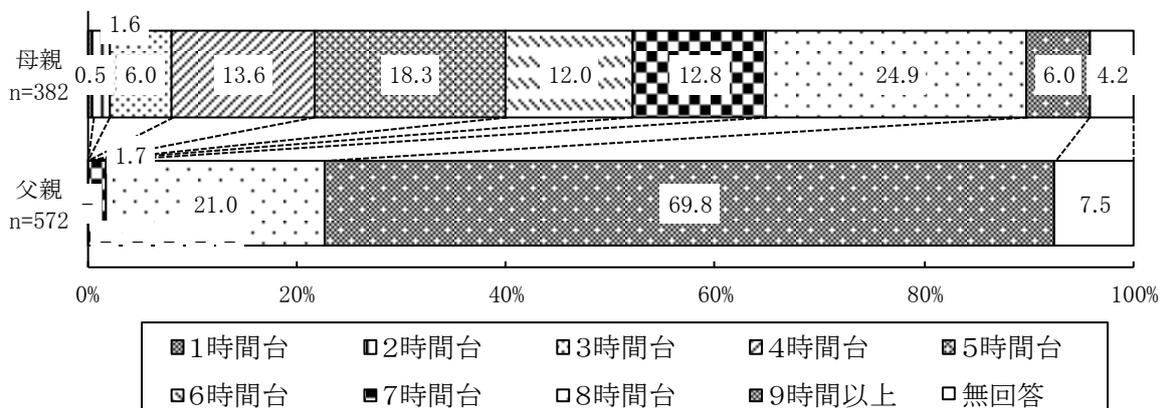
父親では「5日」が最も多く、58.6%となっています。次いで「6日」が34.1%と続いています。



【1日あたりの就労時間】

母親では「8時間台」が最も多く、24.9%となっています。次いで「5時間台」が18.3%、「4時間台」が13.6%、「7時間台」が12.8%、「6時間台」が12.0%と続いています。

父親では「9時間以上」が最も多く、69.8%となっています。次いで「8時間台」が21.0%と続いています。



③家を出る時間と帰宅時間

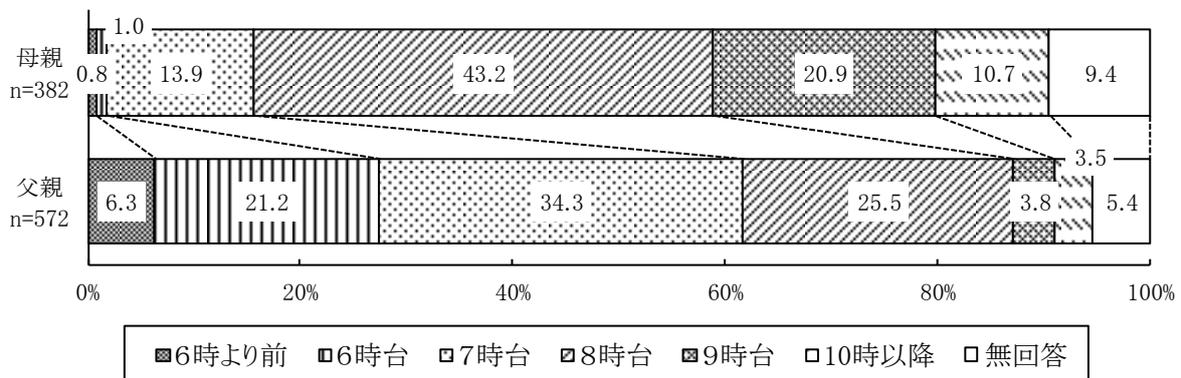
※問6で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

問6-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように、24時間制でお答えください。

【家を出る時間】

母親では「8時台」が最も多く、43.2%となっています。次いで「9時台」が20.9%、「7時台」が13.9%、「10時以降」が10.7%と続いています。

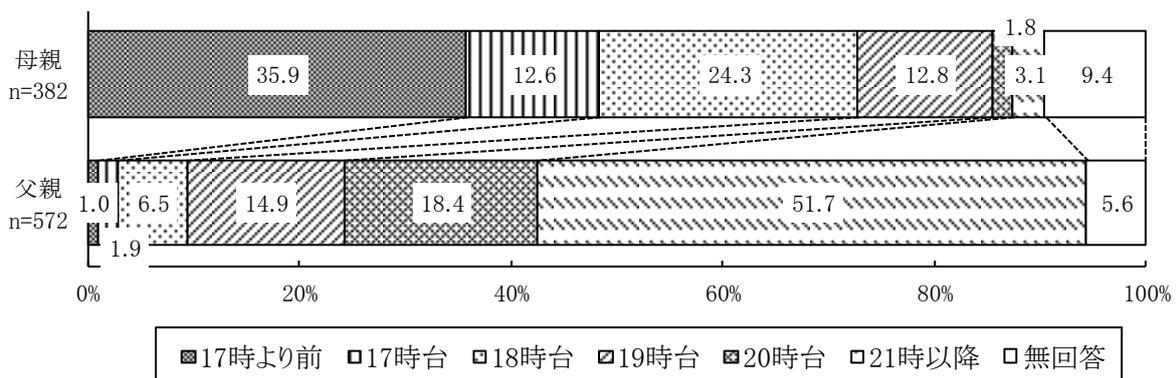
父親では「7時台」が最も多く、34.3%となっています。次いで「8時台」が25.5%、「6時台」が21.2%と続いています。



【帰宅時間】

母親では「17時より前」が最も多く、35.9%となっています。次いで「18時台」が24.3%、「19時台」が12.8%、「17時台」が12.6%と続いています。

父親では「21時以降」が最も多く、51.7%となっています。次いで「20時台」が18.4%、「19時台」が14.9%と続いています。



(2) フルタイムへの転換希望

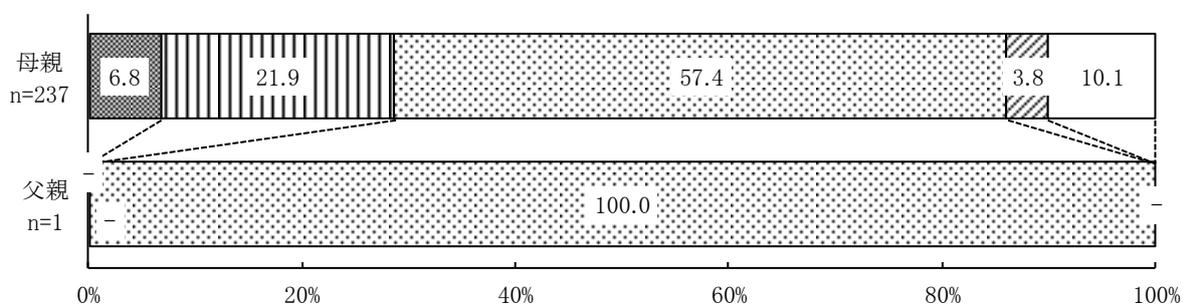
※問6で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中」に○をつけた方にうかがいました。

問7 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、57.4%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が21.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.8%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が3.8%と続いています。

父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が100.0%（1人中1人）となっています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▩ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(3) 就労希望

※問6で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいました。

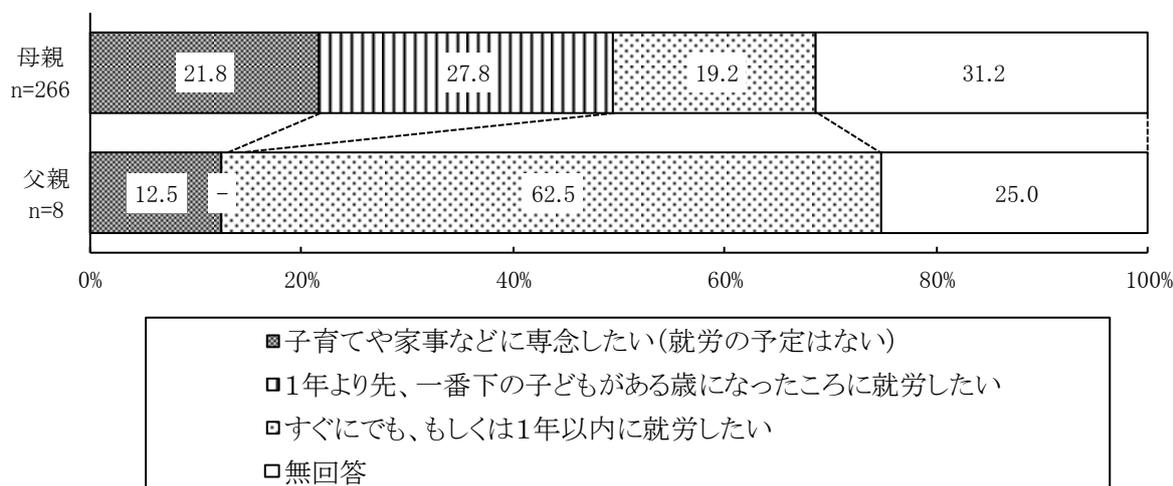
問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

①就労希望

母親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」が最も多く、27.8%となっています。次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が21.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.2%と続いています。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、62.5%（8人中5人）となっています。次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が12.5%（8人中1人）と続いています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

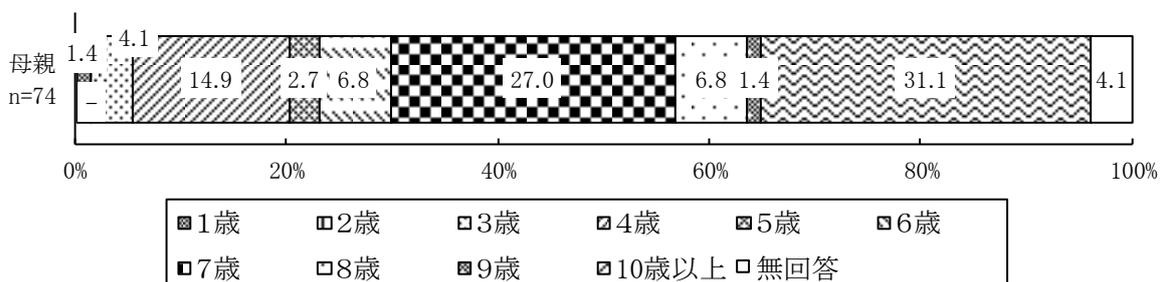


【一番下の子どもが何歳になったころに仕事に就きたい】

※①で「1年より先、または一番下の子どもがある年齢になったころに仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「10歳以上」が最も多く、31.1%となっています。次いで「7歳」が27.0%、「4歳」が14.9%、「6歳」と「8歳」が6.8%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。

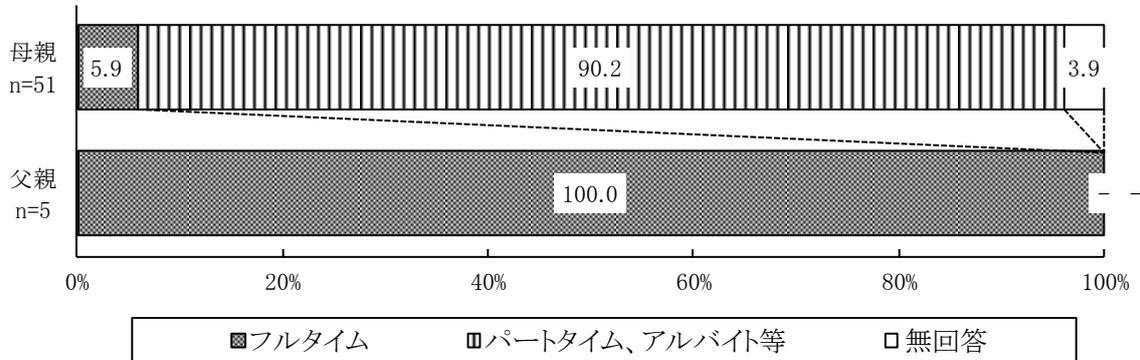


②就労形態

※①で「すぐにも、もしくは1年以内に仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、90.2%となっています。
父親では「フルタイム」が100%（5人中5人）でした。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

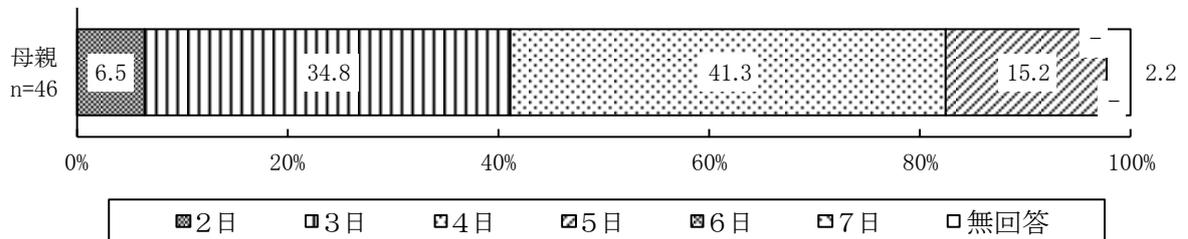


【パートタイム、アルバイト等の1週当たりの就労日数】

※②で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「4日」が最も多く、41.3%となっています。次いで「3日」が34.8%、「5日」が15.2%、「2日」が6.5%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。

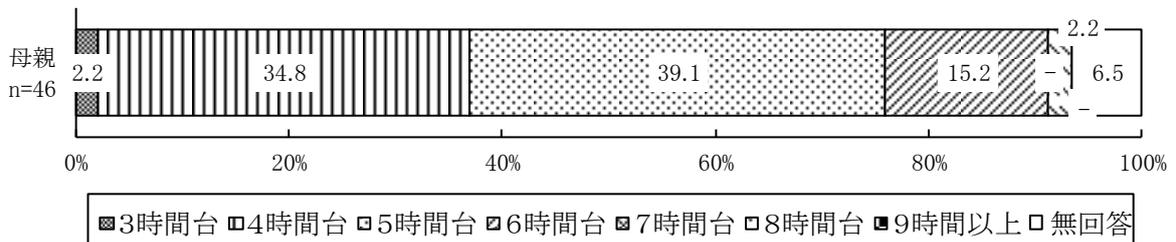


【パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間】

※②で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

「5時間台」が最も多く、39.1%となっています。次いで「4時間台」が34.8%、「6時間台」が15.2%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。



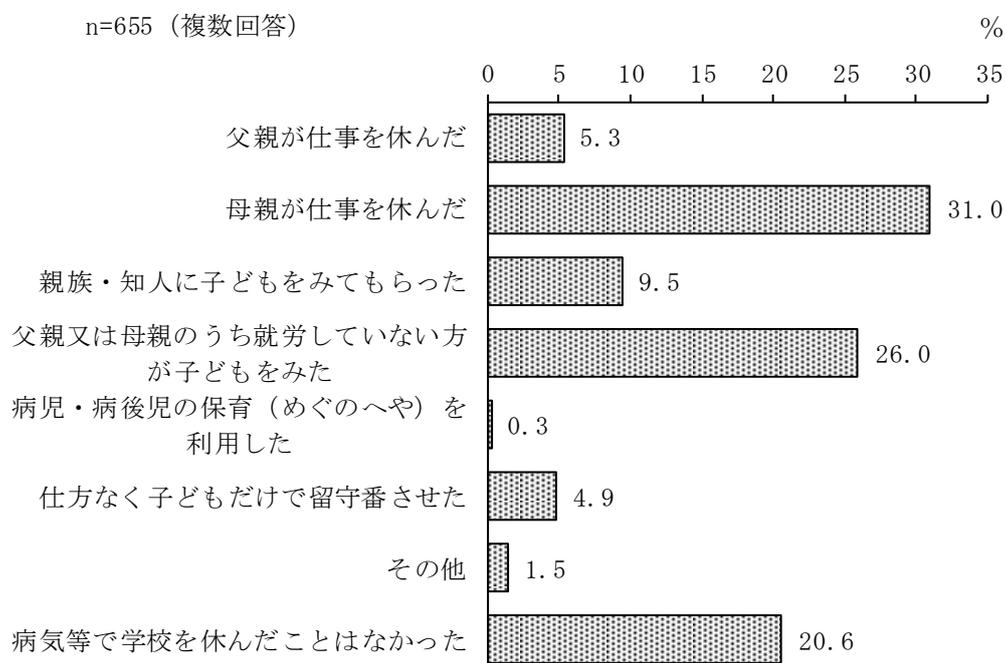
4. お子さんの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法と日数

問9-1 この1年間に、小学2年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

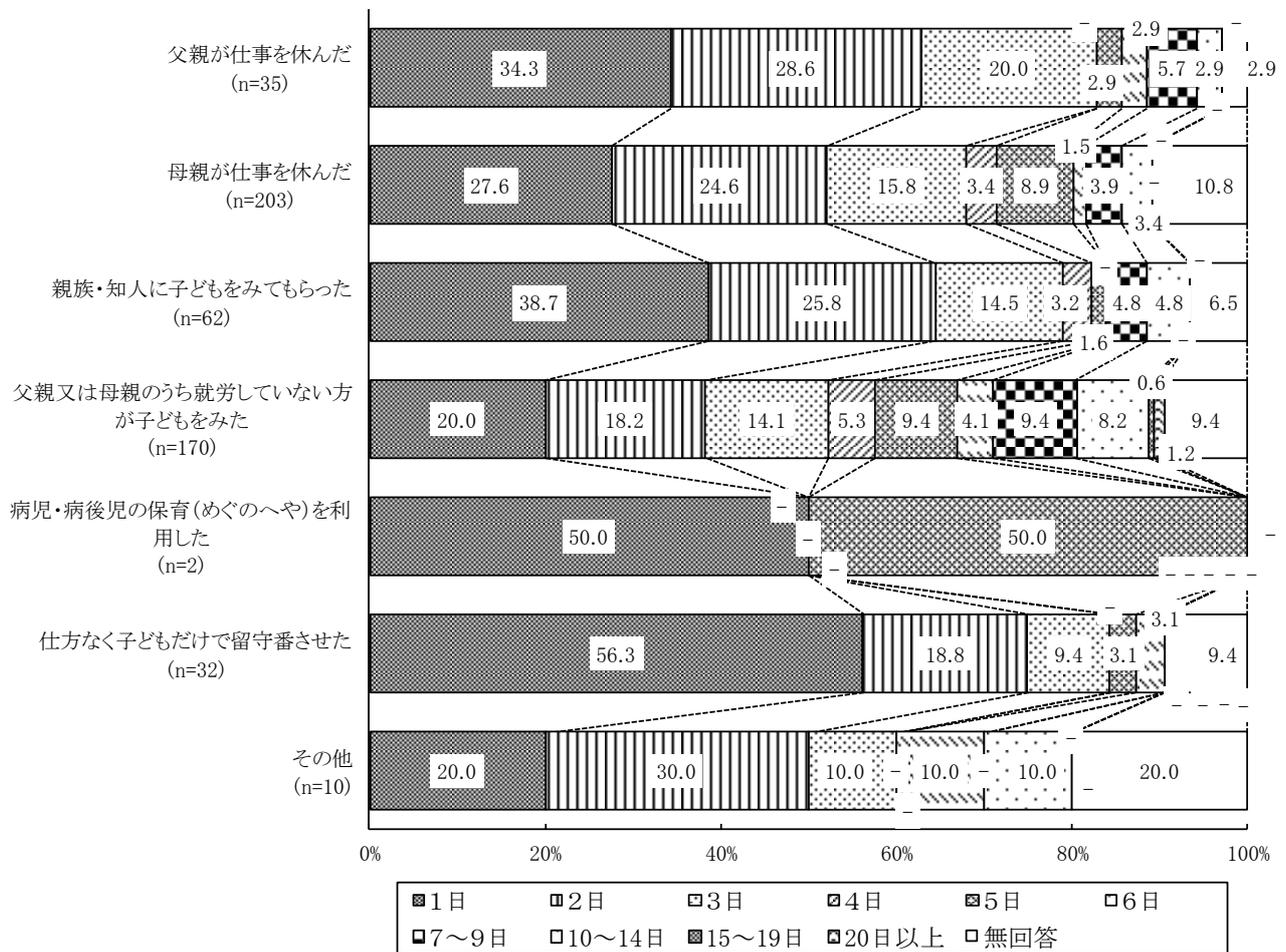
①対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く、31.0%となっています。次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が26.0%、「病気等で学校を休んだことはなかった」が20.6%と続いています。



②1年間の日数

いずれの項目も「1日」が最も多く、「仕方なく子どもだけで留守番させた」では56.3%と半数以上となっています。次いで「2日」、「3日」と続いています。



※ “病児・病後児の保育（めぐのへや）を利用した” は回答者数が少ないため、参考値となります。

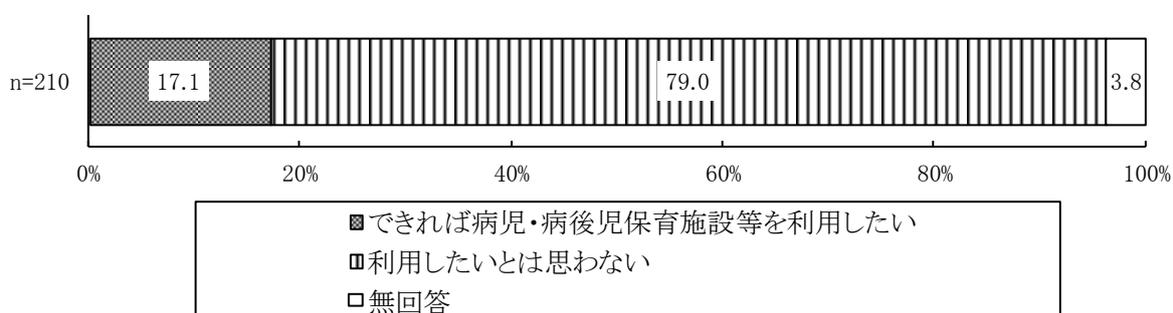
(2) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

※問9-1で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」に○をつけた方うかがいました。

問9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

①利用意向

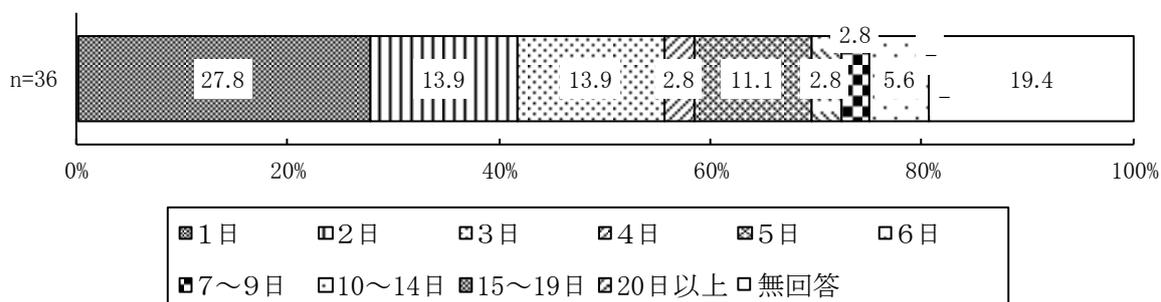
「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が17.1%、「利用したいとは思わない」が79.0%となっています。



②利用希望期日数

※①で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方うかがいました。

「1日」が最も多く、27.8%となっています。次いで「2日」と「3日」が13.9%、「5日」が11.1%と続いています。

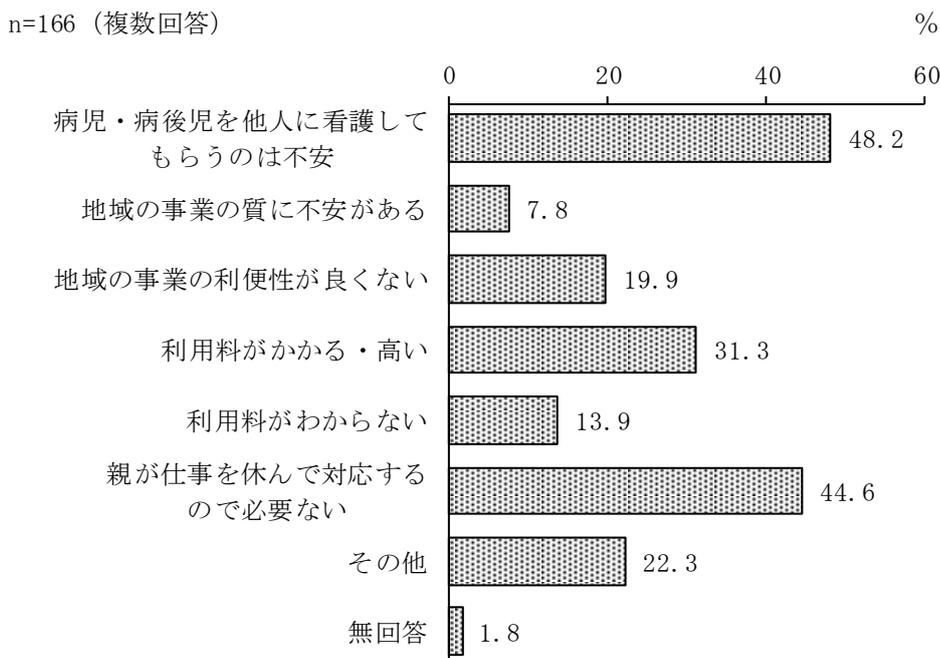


(3) 病児・病後児施設等を利用しない理由

問9-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいました。

問9-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が最も多く、48.2%となっています。次いで「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が44.6%、「利用料がかかる・高い」が31.3%と続いています。



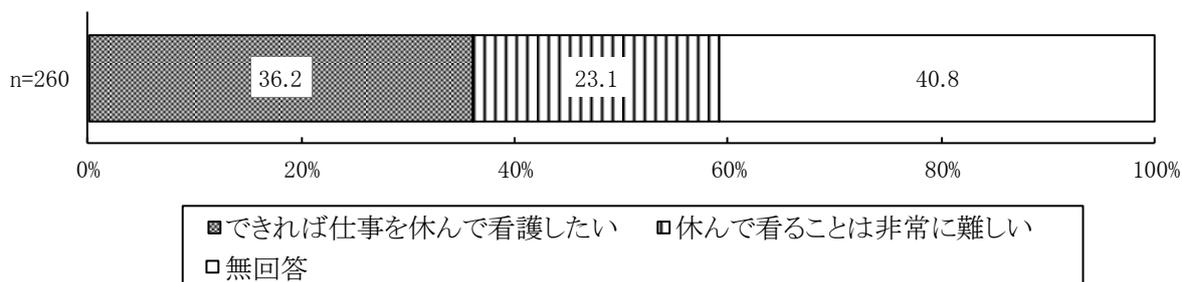
(4) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

※問9-1で「ウ」から「キ」のいずれかに回答した方にうかがいました。

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。

①休暇取得希望

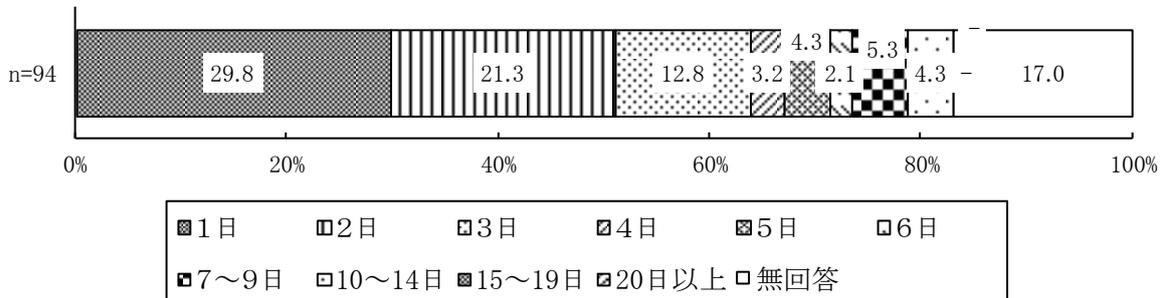
「できれば仕事を休んで看護したい」が36.2%、「休んで看護することは非常に難しい」が23.1%となっています。



②日数

※①で「1. できれば仕事を休んで看護したい」に○をつけた方にうかがいました。

「1日」が最も多く、29.8%となっています。次いで「2日」が21.3%、「3日」が12.8%と続いています。

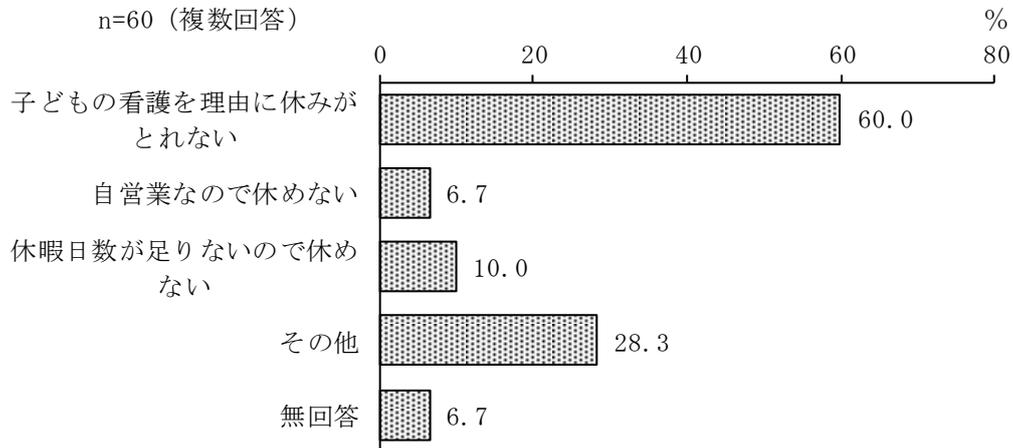


(5) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

※問9-4で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいました。

問9-5 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、60.0%となっています。次いで「休暇日数が足りないので休めない」が10.0%と続いています。



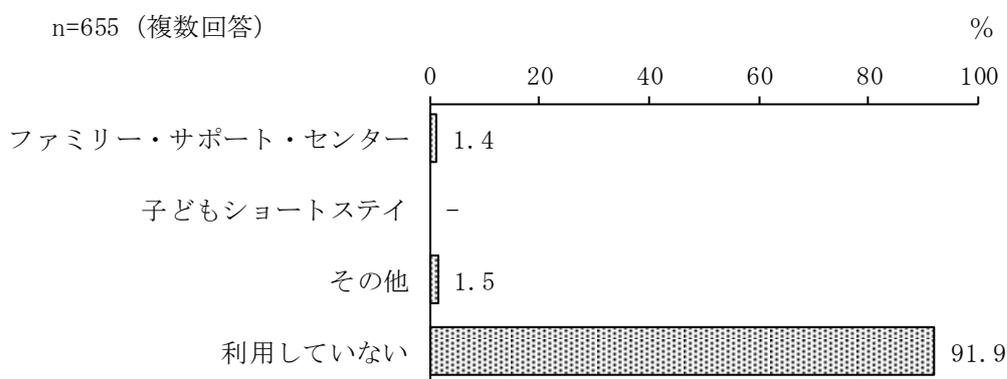
5. 一時預かり等の利用状況について

(1) 一時預かり等の利用状況と日数

問10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

①利用状況

「利用していない」が最も多く、91.9%となっています。次いで「ファミリー・サポート・センター」が1.4%と続いています。

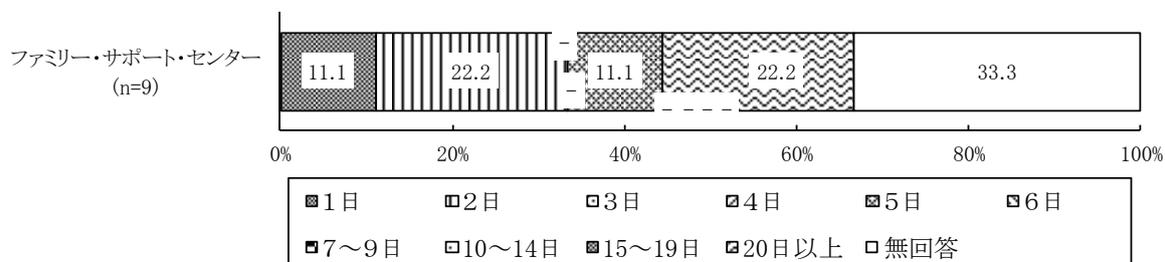


②日数

“ファミリー・サポート・センター”の利用日数は「2日」と「20日以上」が最も多く、22.2%（9人中2人）となっています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※子どもショートステイは、回答対象者がいませんでした。

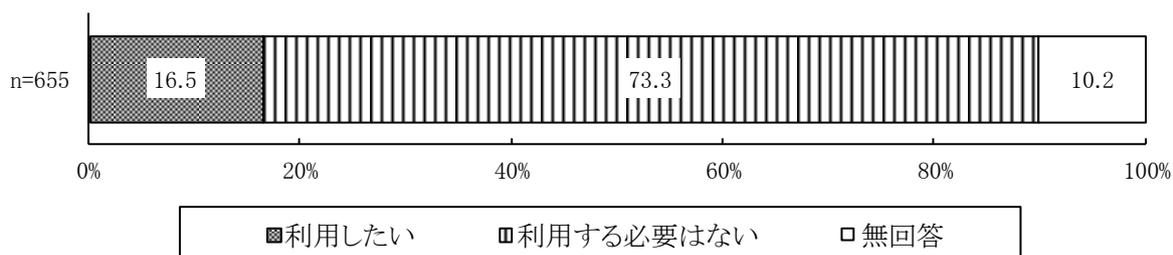


(2) 一時預かり等の利用希望と日数

問 11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

①利用希望

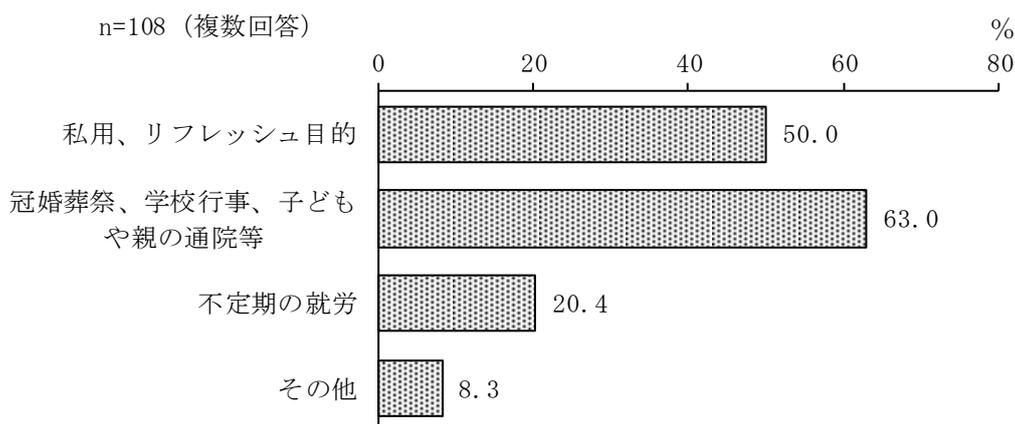
「利用したい」が16.5%、「利用する必要はない」が73.3%となっています。



②利用目的

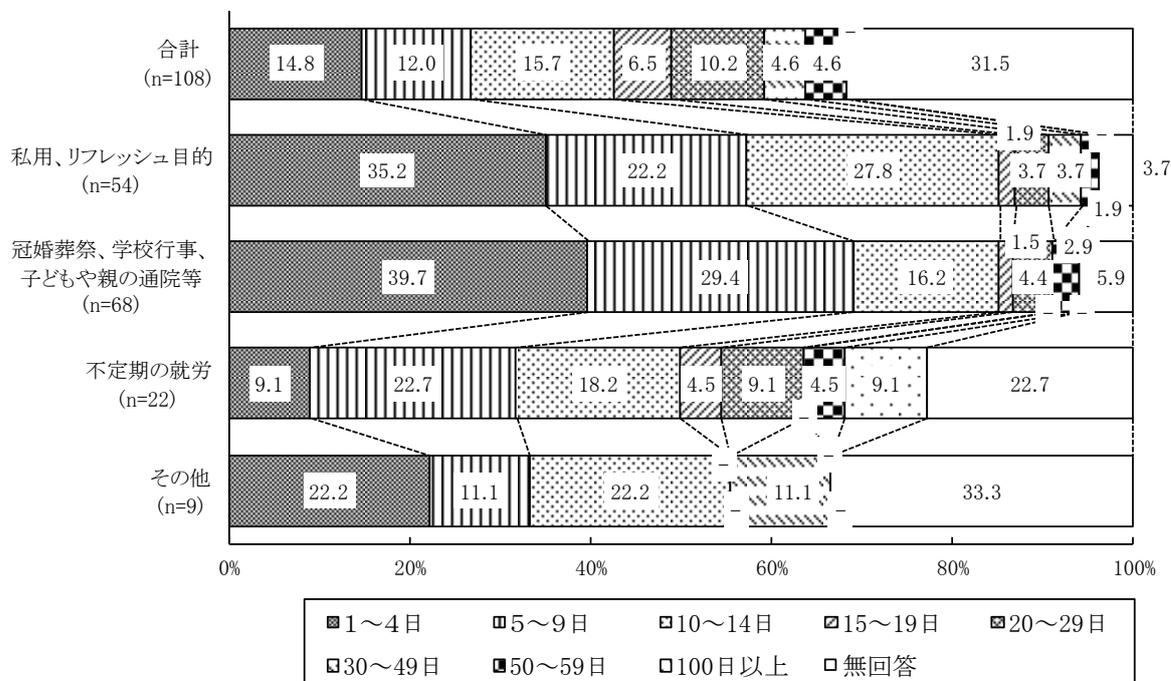
※①で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が最も多く、63.0%となっています。次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が50.0%、「不定期の就労」が20.4%と続いています。



③日数

“合計”では「10～14日」が最も多く、15.7%となっています。次いで「1～4日」が14.8%、「5～9日」が12.0%と続いています。“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的”では「1～4日」が最も多く、35.2%となっており、「10～14日」が27.8%、「5～9日」が22.2%と続いています。“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等”では「1～4日」が最も多く、39.7%となっており、「5～9日」が29.4%、「10～14日」が16.2%と続いています。



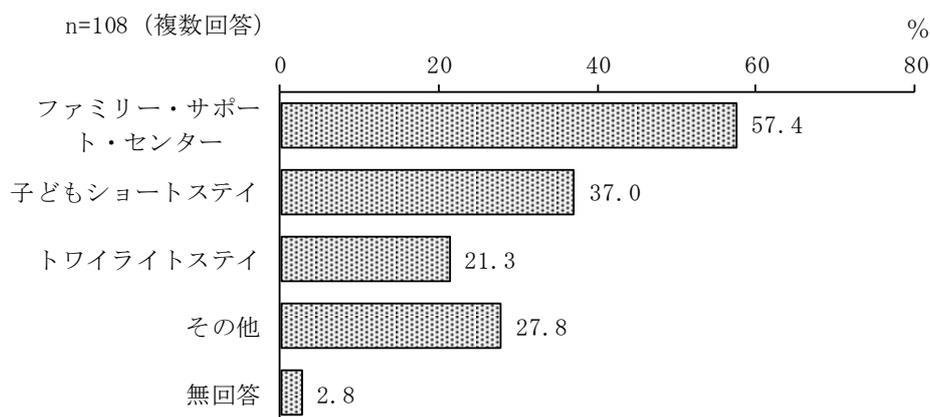
※“不定期の就労”は回答者数が少ないため、参考値となります。

(3) 一時預かり等の事業形態

※問 11 で「1. 利用したい」に○をつけた方がうかがいました。

問 11-1 問 11 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ファミリー・サポート・センター」が最も多く、57.4%となっています。次いで「子どもショートステイ」が37.0%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が21.3%と続いています。

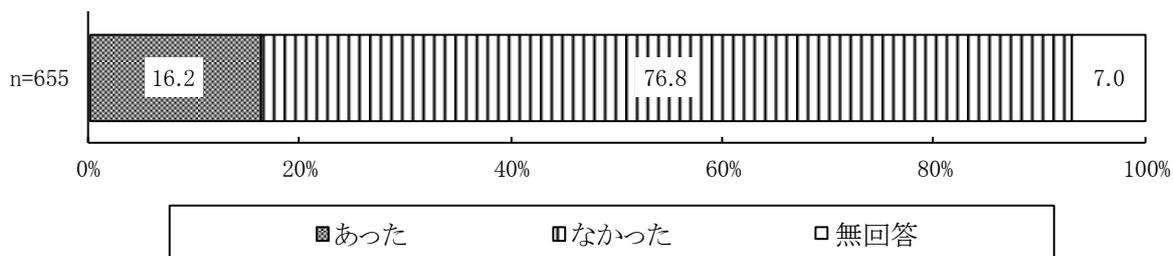


(4) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、小学2年生のおさんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてアからカの当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

①一時預かりの有無

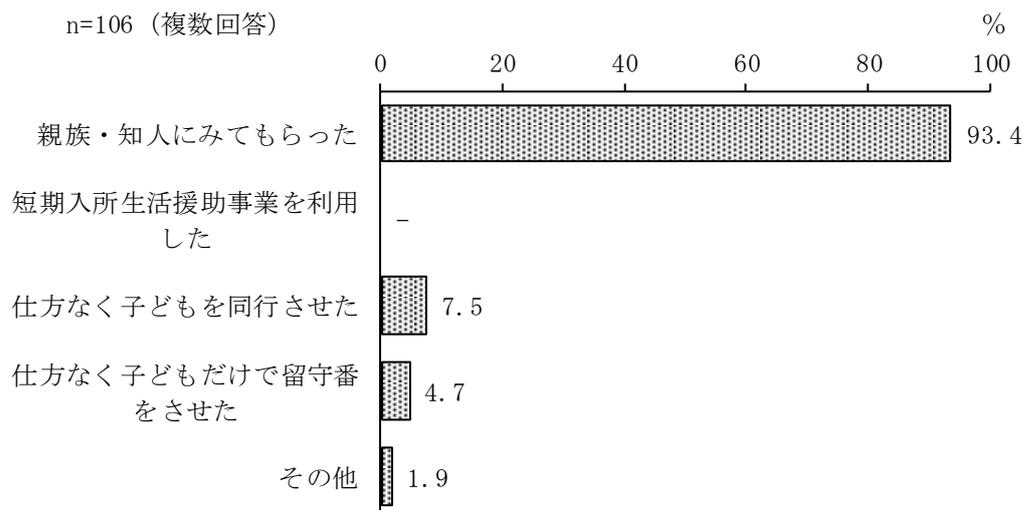
「あった」が16.2%、「なかった」が76.8%となっています。



②対処方法

※①で「1. あった」に○をつけた方にかがいました。

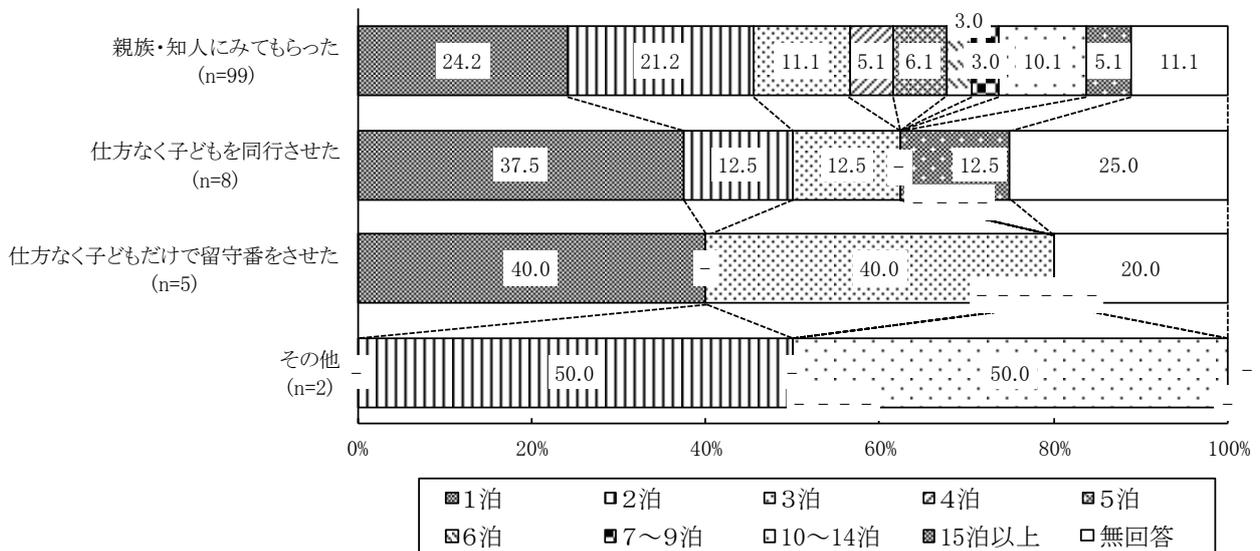
「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も多く、93.4%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が7.5%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が4.7%と続いています。



③泊数

“(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった”では「1泊」が最も多く、24.2%となっています。次いで「2泊」が21.2%、「3泊」が11.1%、「10～14泊」が10.1%と続いています。

※ “短期入所生活援助事業を利用した”は、回答対象者がいませんでした。



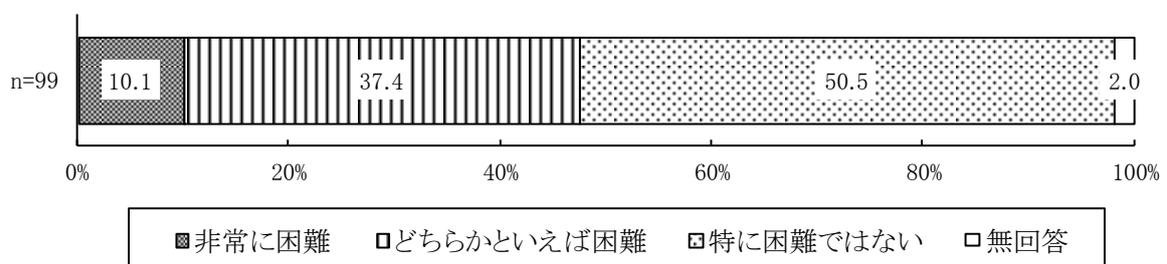
※ “仕方なく子どもを同行させた” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。

(5) 親族・知人に預ける困難さ

※問12で「1. あった」の「ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいました。

問12-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、50.5%となっています。次いで「どちらかといえば困難」が37.4%、「非常に困難」が10.1%と続いています。



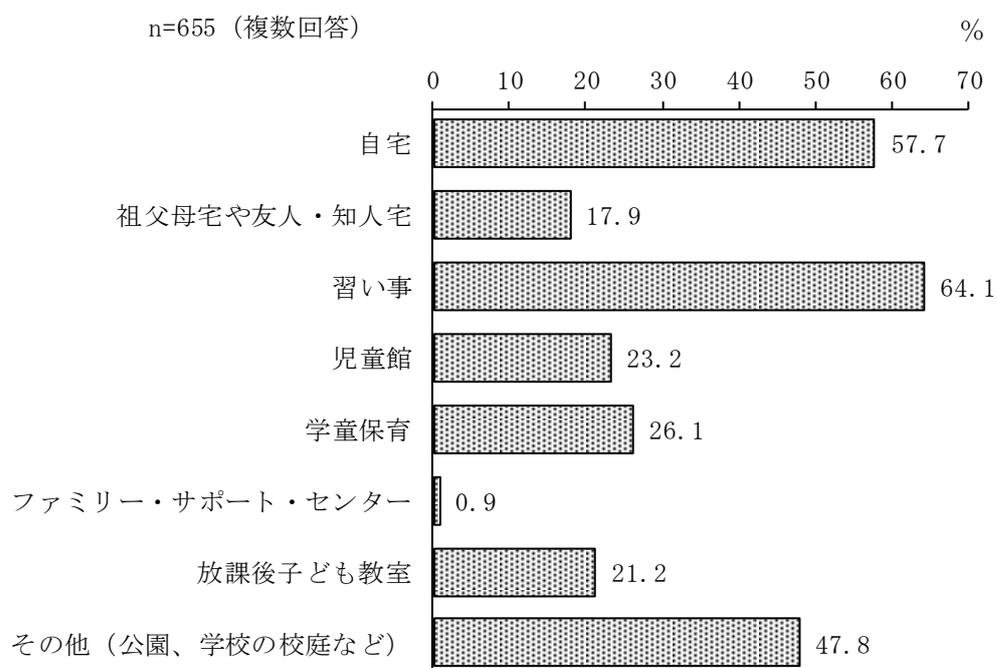
6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する放課後の過ごし方と日数

問13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年（3年生まで）のうちは、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

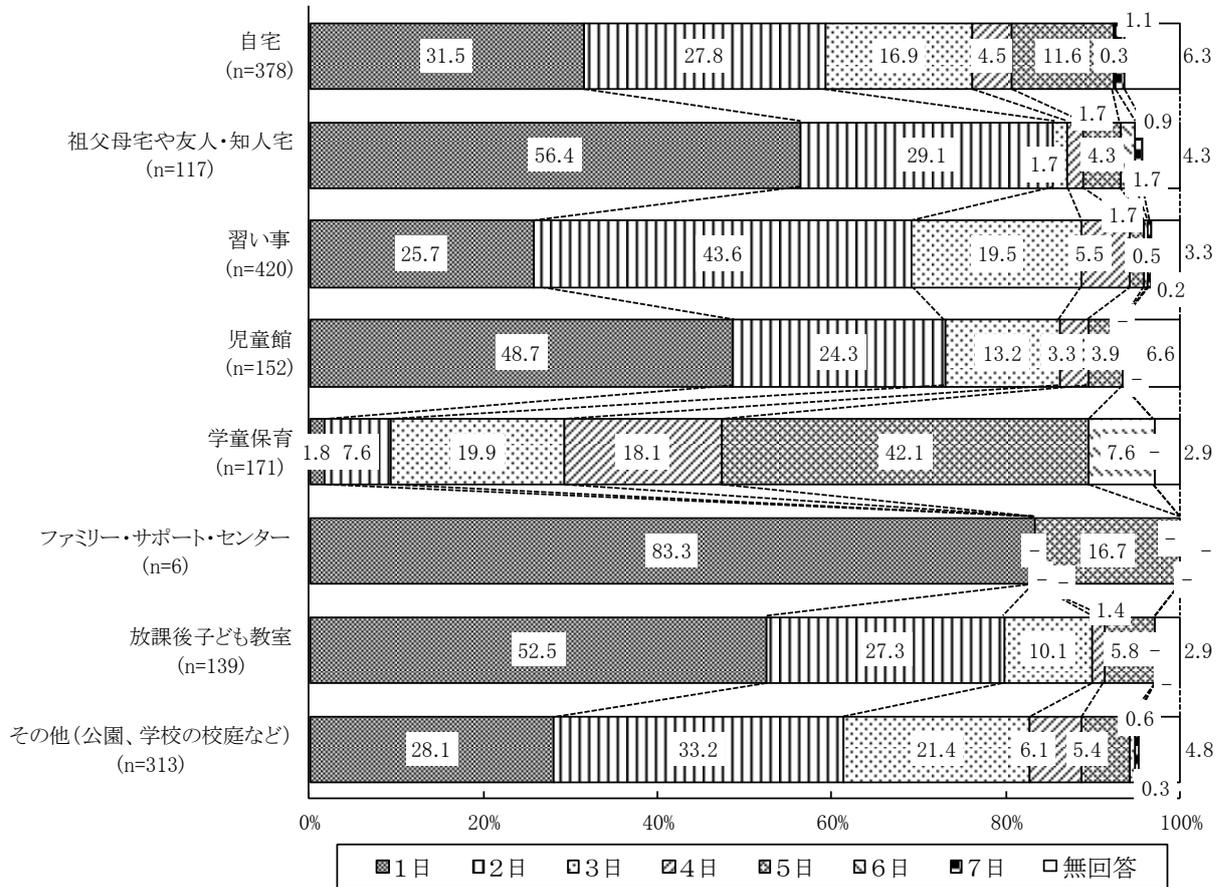
①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、64.1%となっています。次いで「自宅」が57.7%、「その他（公園、学校の校庭など）」が47.8%、「学童保育」が26.1%と続いています。



②日数

“自宅”“祖父母宅や友人・知人宅”“児童館”“放課後子ども教室”では「1日」が最も多く、特に“祖父母宅や友人・知人宅”“放課後子ども教室”は50%台に達しています。“習い事”“その他(公園、学校の校庭)”では「2日」が最も多くなっています。“学童保育”は「5日」が最も多く42.1%となっており、次いで「3日」が19.9%、「4日」が18.1%と続いています。

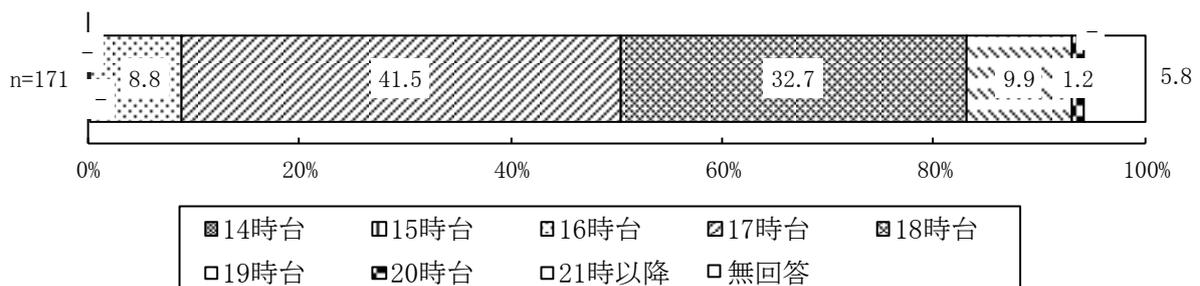


※ “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※②で「5. 学童保育」に○をつけた方にかがいました。

「17時台」が最も多く、41.5%となっています。次いで「18時台」が32.7%、「19時台」が9.9%、「16時台」が8.8%と続いています。

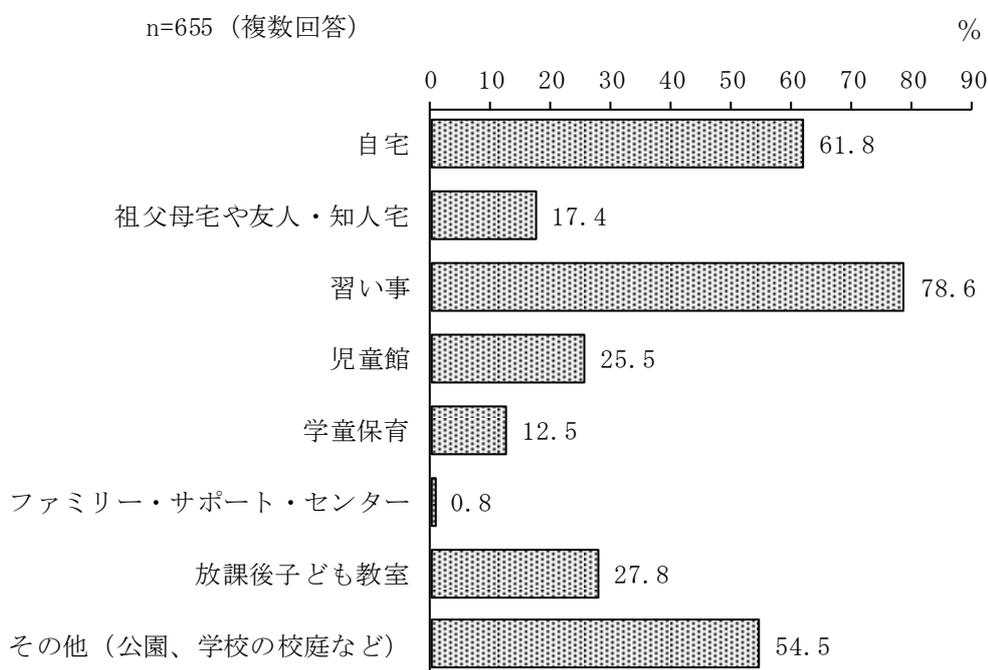


(2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問 14 小学2年生のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日(月~金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

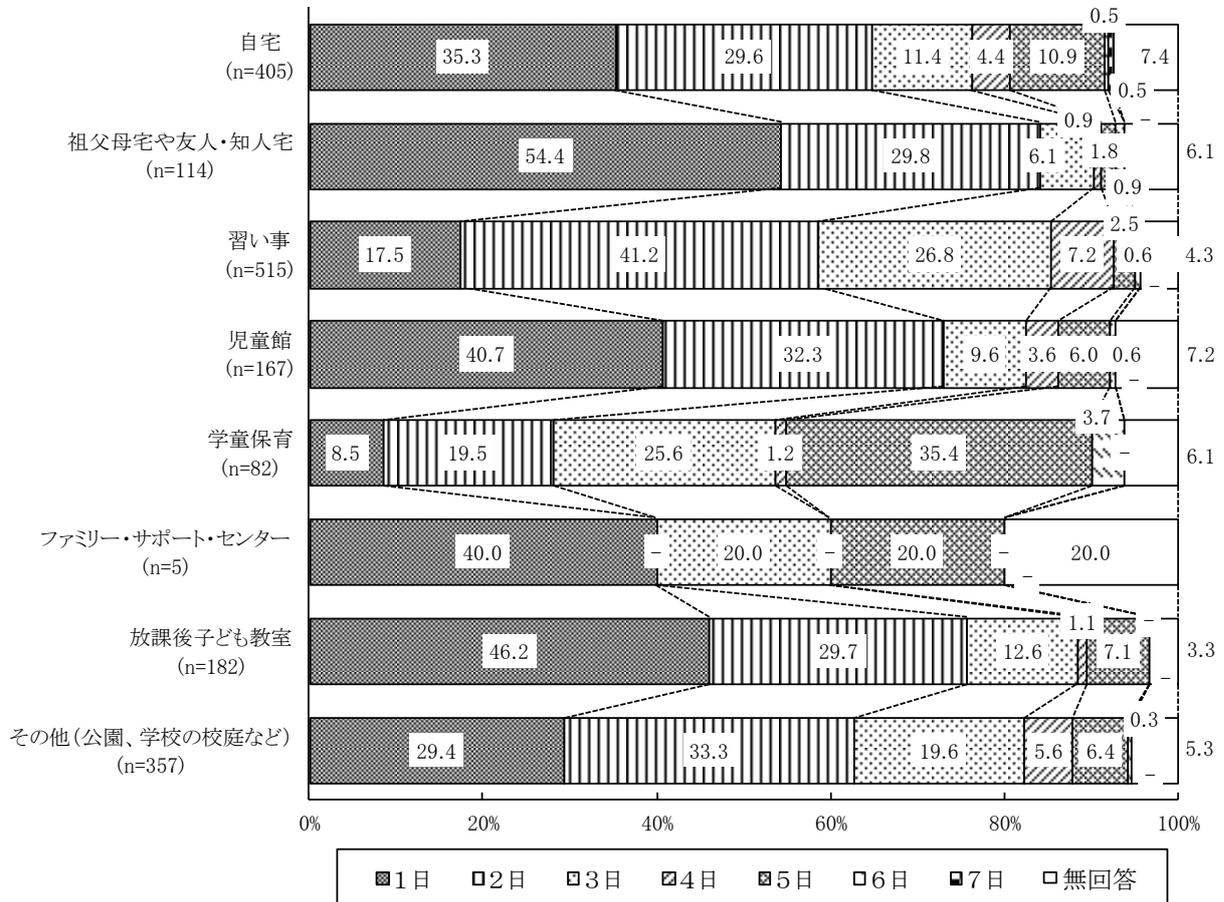
①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、78.6%となっています。次いで「自宅」が61.8%、「その他(公園、学校の校庭など)」が54.5%、「放課後子ども教室」が27.8%、「児童館」が25.5%と続いています。



②日数

“自宅”“祖父母宅や友人・知人宅”“児童館”“放課後子ども教室”では「1日」が最も多く、特に“祖父母宅や友人・知人宅”が54.4%と50%に達しています。次いで「2日」が30%前後が続いています。“習い事”“その他（公園、学校の校庭など）”は「2日」が最も多くなっています。“学童保育”は「5日」が最も多く、35.4%となっており、「3日」が25.6%、「2日」が19.5%が続いています。

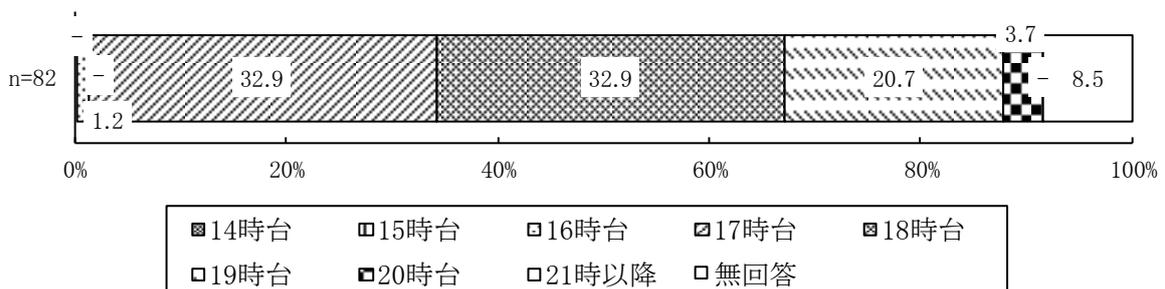


※ “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※②で「5. 学童保育」に○をつけた方がうかがいました。

「17時台」と「18時台」が最も多く、32.9%となっています。次いで「19時台」が20.7%が続いています。



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望と利用時間

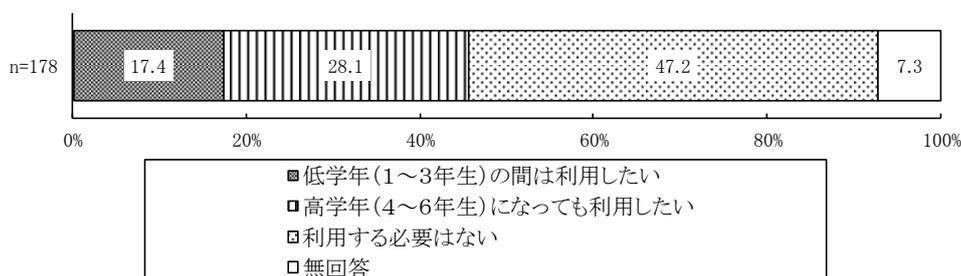
※問 13 または問 14 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

問 15 小学2年生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。①土曜日、②日曜日それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

①土曜日

【利用希望】

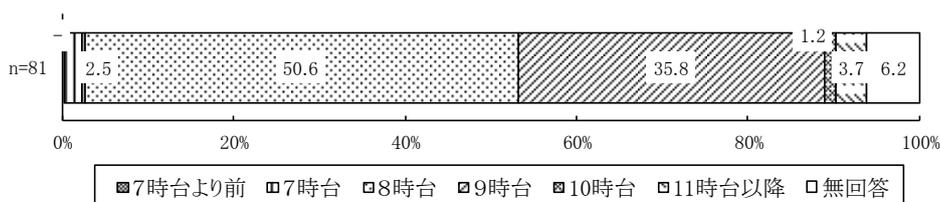
「利用する必要はない」が最も多く、47.2%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が28.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が17.4%と続いています。



【利用開始時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

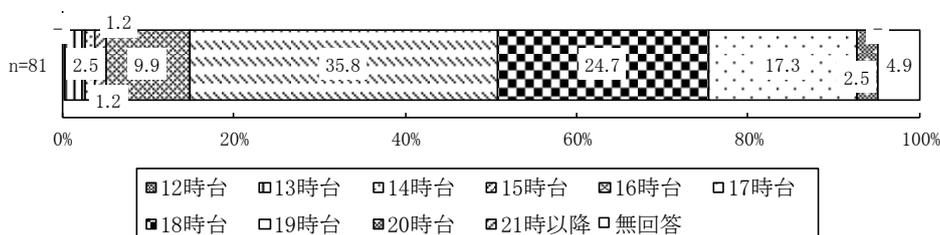
「8時台」が最も多く、50.6%となっています。次いで「9時台」が35.8%、「11時台以降」が3.7%と続いています。



【利用終了時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

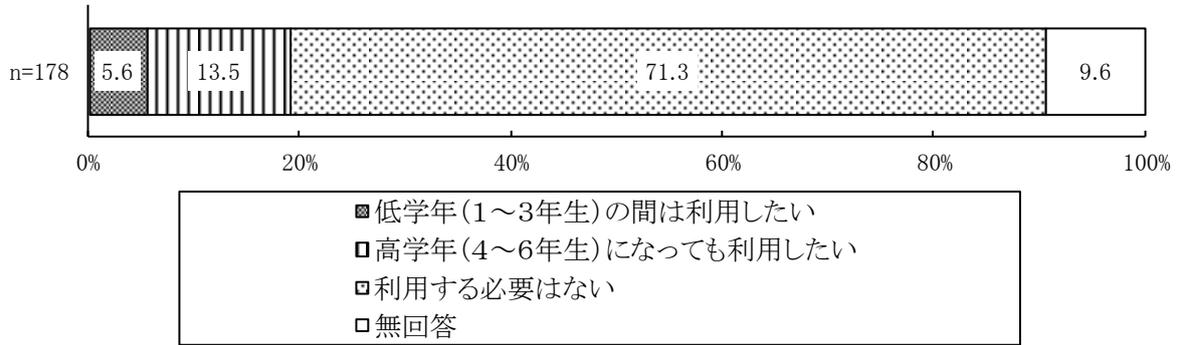
「17時台」が最も多く、35.8%となっています。次いで「18時台」が24.7%、「19時台」が17.3%と続いています。



②日曜日

【利用希望】

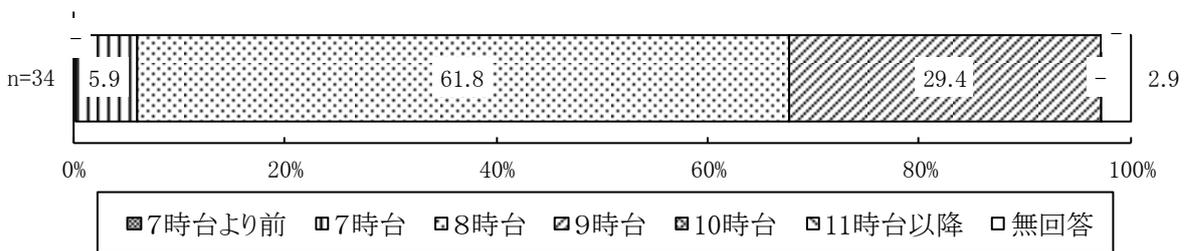
「利用する必要はない」が最も多く、71.3%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が13.5%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が5.6%と続いています。



【利用開始時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

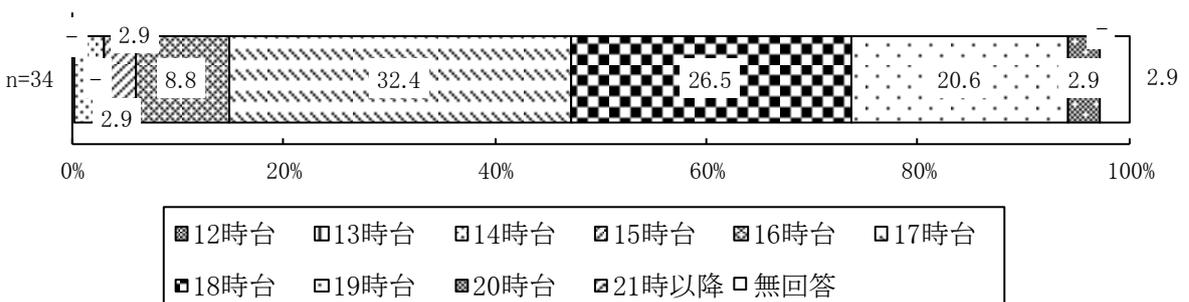
「8時台」が最も多く、61.8%となっています。次いで「9時台」が29.4%、「7時台」が5.9%と続いています。



【利用終了時間】

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「17時台」が最も多く、32.4%となっています。次いで「18時台」が26.5%、「19時台」が20.6%と続いています。

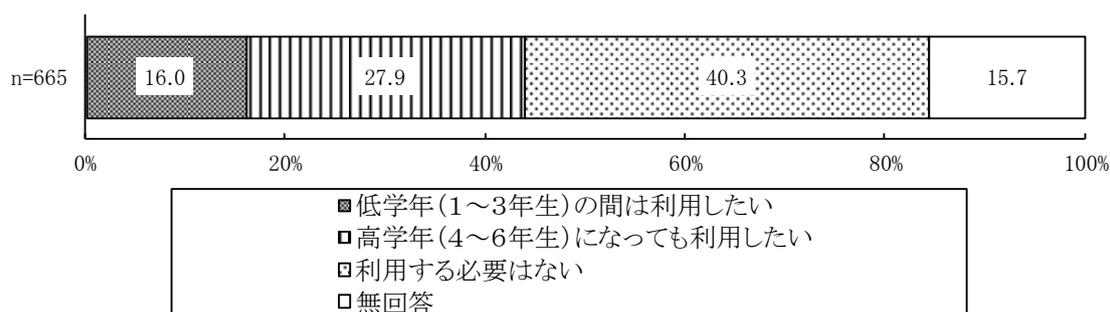


(4) 長期休暇中の学童保育の利用希望

問 16 小学2年生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

①利用希望

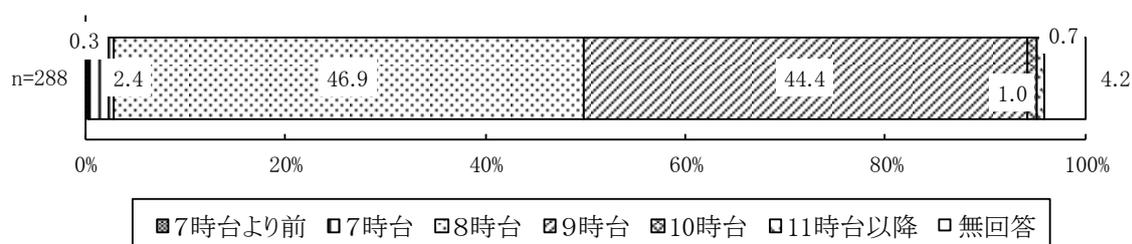
「利用する必要はない」が最も多く、40.3%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が16.0%と続いています。



②利用開始時間

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

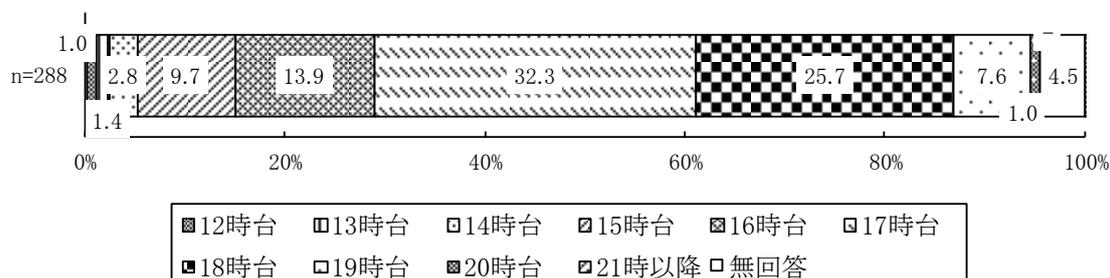
「8時台」が最も多く、46.9%となっています。次いで「9時台」が44.4%と続いています。



③利用終了時間

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、32.3%となっています。次いで「18時台」が25.7%、「16時台」が13.9%、「15時台」が9.7%と続いています。

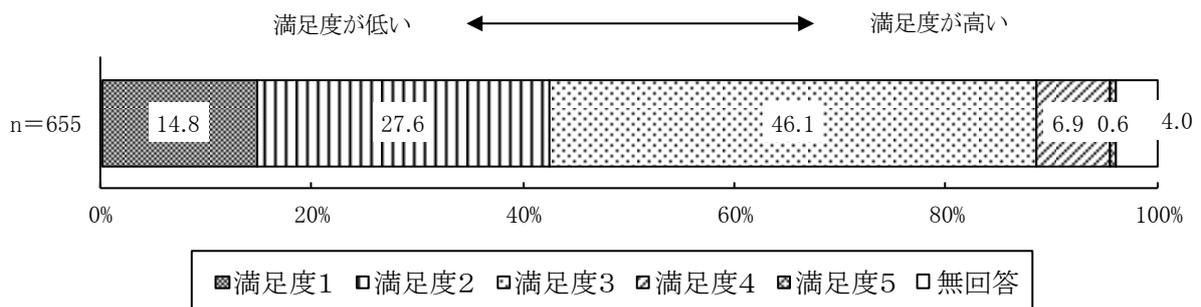


7. 子育て支援への満足度やご意見について

(1) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問 17 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

「満足度3」が最も多く、46.1%となっています。次いで「満足度2」が27.6%、「満足度1」が14.8%、「満足度4」が6.9%、「満足度5」が0.6%と続いています。



(2) 自由意見

問 18 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

313 名の方から自由意見が寄せられました。主な意見を掲載します（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

- ・児童館に行くには途中交通量の多い道路を横断したり、通行する必要があるため、子どもだけで行かせるのは心配です。地域センターで放課後子ども教室など、身近な場所で実施してもらえたらよいと思います。
- ・一時預かりを利用したかったのですが（下の子）、予約が前の月迄でいっぱいになっていて利用出来ませんでした。今現在6か所ありますがもっと増えてくれると良いですね。子育て事業とは別かもしれませんが…小学生が遊べる遊具が有る公園が少ないと思います。外で遊びたいと思える場所が欲しいです。
- ・子どもが4人いますが、3年間利用したのは1人のみです。他3人については2年、半年で辞めています。人数が多く居心地があまりよくなかったり、先生との折り合いがいまいちだったり。結局は、子どもたち自身で留守番をする等の手段を選びました。ただ公園でもあれこれと決まり事が厳しく、遊具もない中気の毒だと思います。自分たちが子どもの頃は近くの公園で思いっきり遊べたものですが…。
- ・フルタイムで（母子家庭）働いているので、4年生以降の長期の学校のお休みを一人で過ごさせるのがとっても不安です。学童が6年生まで見てもらえると安心して仕事ができる。ですが、東久留米では児童館に行かせるくらいしかないと聞きました。近所の児童館は、お弁当を持たせても一回家に帰らせてると聞きました。それでは意味がないのでは??子どもが安心して過ごせる親が安心

して働ける、そういう環境を作ってほしいです。

- 11 年前から 9 年前の 3 年間（上の子が幼稚園から小 1 までの間）、母親方（子供から見て）の祖父母とも病気になり介護・通院付添い・入院で育児と重なり大変な日々がありました。小さな子がいる親世代でも、子供たちの祖父母世代の介護と重なる親世代がいる事を忘れないで下さい。仕事を持たない母親でも、緊急的に市として対応できる事が望ましいと思います。土曜は（私立幼稚園でしたが）保育が無く、午前保育の平日も、延長保育が出来ず、下里の保育園の一時預かりにお願いしましたが、平日は可能でしたが、土曜は不可で、知人に預けました。ファミリーサポートセンターは、講習も受け、手続きはしましたが、1 時間あたりの金額が 800 円ほどするので、結局、1 度も使えませんでした。お友達のお母さん方に、だいぶ、お世話になりましたが、気を使いました。
- アンケートの中では、4～6 年をひとつにまとめて回答をもとめられていますが、4 年と 6 年では、全くちがいます。4 年では、平日放課後の時間も短くなり、1 人で留守番することにもなれていなくてはならないと思いますが、長期の休暇、1 日 1 人ですごし昼食を食べることは、本人も保護者も不安です。長期休暇の時だけでも安心して過ごせる場所があると良いと思います。以前震災の後行われた計画停電の際、停電が実施される 1 時間前に学童は閉所するという連絡がありました。暗い中家で一人ですごせということなのかと思うと怒りや悲しみで胸がいっぱいになりました。そんな時こそ、支援していただける環境作りをお願いしたいです。
- 急な用事が出来た時などに一時的に預けられる施設が小学生でもあると助かります。
- 夏・冬季休校時期は、保育時間を保護者のニーズに柔軟に対応して頂けたら有難いです。仕事・出勤もあるため 8 時から学童が開いていると、子供が 1 人でのいる時間も少なく、登所時も通勤の人の目があり安心感をもてます。
- 清瀬市のコロポックルのような広くて安全な遊び場があると良い。清瀬市のまなべを東久留米にも作って欲しい。見守り、学習アドバイザー、安全管理員を配置して、遊びや宿題の支援を行ってくれるので、とても良いと思う。
- 小学生の預かり保育が希望です。急な用事や、体調不良などの時に助かります。父母の実家が遠いため、自分たちで（主に母が）見えています。留守番は、やはり心配（本人も不安なため）でさせたことがありません。
- 現在、学童保育所を利用して頂いて大変有難く思っております。3 年生まで利用させて頂いて、退所後は主に児童館を利用するようになるのではと思います。今のところ児童館は 17 時に閉館となってしまいますが、学童と同じ 18 時まで開館してほしいと思います。また、放課後、子ども教室などもあれば是非利用してみたいです。例えば、児童館にないようなもので、補習、児童合唱、絵画、サッカーなどをお楽しみ程度でも良いかと思えます。
- 週 1 回中央児童館を子供が利用しています。工作などもできてとても楽しんでます。先生に名前をおぼえてもらえてさらにいきたい気持ちが高まっているようです。
- 引越して来て半年ほどですが、そろそろ復職予定です。学童が低学年のみと聞いて、心配になっています。家での留守番もそうですが、近所に出来た複合商業施設などで放課後の時間を過ごしている子供が多くいると聞いています。親が家に居るのが一番だとは思いますが、就労しなければならないこともあるので、健全な子供の居場所を作っていただけると安心できます。
- 市内の児童館をよく利用します。夏休み冬休みなどの長期休暇中の昼休み時間に子供たちが持参したお弁当を食べられるようになると大変ありがたいです。低学年の子供に鍵を持たせ、家で一人食事を取るのはまだ難しい…。仕事を持つ保護者は長期休暇中の子供の昼食で頭を悩ませています。学童保育でない場所で、日中の子供を安心して遊ばせることができる場所ができれば…と思います。

未就学児は保育園の一時保育があるので学童保育に入っていない小学生にも一時保育のような支援施設があれば利用したいと思います。

- 児童館が遠い。図書館も清瀬の方が近いので、そっちに行っている（但し、学校からは学区域より出ないように言われているので、どこの図書館へも子供たちだけでは行けない）。近くにあれば夏休みも利用できるし、安心して過ごせると思います。

IV. 資料（調査票）

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査
報 告 書

発行年月 平成 26 年 3 月
発 行 東久留米市子ども家庭部子育て支援課
〒203-8555 東久留米市本町3-3-1
電 話 042-470-7735
FAX 042-470-7807